

# 社協だより



(社協シンボルマーク)

No 3



笑って笑って健康体操——福祉センターで

## 健康は体操から



講師

森岡 一平

昨年四月の熊野市社会福祉センター開館に伴い、社会福祉協議会の主催で、毎月二回健康体操教室を開いております。

広々とした真新しい会場で講義を聞きながら、体操をし、時々爆笑するゲームなどを一時間を過ごした後は、全身がスーッと洗った後、清められたようになります。

参加者も開講当初は二十名程でしたが、回数を重ねる毎に増加し、現在では約五十名程の方々が、木本、井戸、有馬をはじめとして、遠くは、大又や久生屋、金山方面からも参加され、熱心に行っております。

健康づくりは、いろいろの方法がありますが、四肢五臓六腑(胴の中にある肺・肝・胃・腸等その他の全部の器管)を、適度存分に運動させ、健康な身体づくりをするのがこの健康体操の目的であります。

毎朝歯を磨くように、朝起きたら身体中の関節を動かす体操をしないと気がおさ

まらなくなるよう、みなさんもこの教室に来て御一緒に勉強してみませんか。

若い方も精々——人間二十五歳から老化が始まると言われていますが、若さにかまけて体操をしないのが常ではないでしょうか。

老人は暇があるだけでなく、必要性や効果を自覚しているので、今のところ参加者のうちでは老人が多数を占めていますが、若い方、中年の方も可能な限り参加して下さい。

健康は買うことも、借りることもできません。

薬にのみ依存するのはもうハヤラナイ。

やはり、積立貯金のようにコツコツと毎日、一回三分から五分位ずつ、何回かやれば必ず健康体となりさわやかな毎日が送れます。

一日の疲れを翌日へ持ち越さないよう、官庁、会社、商店その他で働く方々は、今日の疲労を拭い去るため、同僚と協力して、疲労回復のための体操をすることを強く強くおすすめいたします。

健康づくりは、いろいろの方法がありますが、四肢五臓六腑(胴の中にある肺・肝・胃・腸等その他の全部の器管)を、適度存分に運動させ、健康な身体づくりをするのがこの健康体操の目的であります。

毎朝歯を磨くように、朝起きたら身体中の関節を動かす体操をしないと気がおさ



56年度  
評議員会

# 地域福祉の強化!!

## 事業費は一般会計の48% セク1

昭和五十六年度の社協評議員会は、三月三十日午後一時から社会福祉センターにおいて、評議員三十五名の出席により開かれました。

### 新年度の主な事業

社協の発足以来三十年目を迎え、増加するさまざまな福祉の要望に対応してゆくため、本年度は「国際障害者年」にあたり、各評議員のとりくみは例年にも増して熱心なものがあり、事業計画や予算などの諸事項について慎重に審議をしたあと、任期満了による役員の変更をして会議を終了しました。

### 重点目標

(一)明るく健康で住みよい町づくりの推進 (二)社協機能の強化としてのセンターの活動強化 (三)福祉調査と広報活動の充実強化



56年度の評議員会

- ▽地域福祉活動の推進
- ▽社協体制の強化
- ▽地区懇談会等の開催
- ▽福祉関係団体の事業協力と育成強化
- ▽民生(児童)委員の研修会の開催
- ▽障害者年としての国、県、市の行事への協力と参加
- ▽手話サークル活動への協力
- ▽四友愛のつどい(未婚の障害者と、障害者に深い理解をもつ未婚の健全者に触れあいの場を提供し、幸福への早みちをつかんでもらおうとするもの)
- ▽老人クラブへの助成と育成強化
- ▽老人福祉大会の開催
- ▽母子福祉会への助成と協力
- ▽遺族会への助成
- ▽青少年の健全育成
- ▽みんなに愛される福祉センターの運営
- ▽心配ごと、結婚相談の実施
- ▽各種運動の実施
- ▽共同募金、歳末助け合い募金の実施
- ▽社協活動の理解、力を得

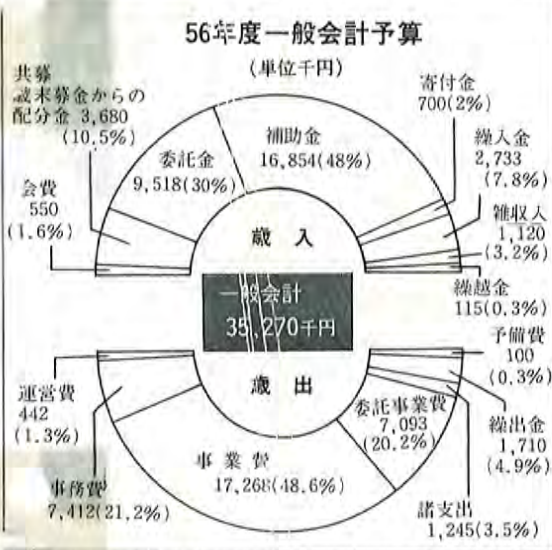
るための広報の発行  
▽健康体操の実施

### 新役員のみなさん

- 会長 吉田 晴雄(飛鳥)  
副会長 足立 祥典(木本)  
理事 山本 祇夫(有馬)  
藤田 利輝(有馬)  
波戸吉二郎(二本島)  
山本 磯平(新鹿)  
浜地 大三(木本)  
森岡 一平(井戸)  
山川 勇(有馬)  
榎本奈良一郎(金山)  
津本 昇一(神川)  
山下 弘之(五郷)

- 理事 林 孫一(飛鳥)  
山本伝一郎(磯崎)  
竹内長四郎(二本島)  
監事 大久保友吉(久生屋)  
森本 実(木本)

五十六年度の一般会計予算は、三千五百二十七万円。主な歳入では、市補助金及び委託金が二千五百二十万六千円で歳入総額の七一・四%となっており、この他に会費、共同募金、歳末助け合い募金の配分金その他で一千六万四千円、二八・四%となっております。歳出では、事務費、事業費その他となっており、そのうち事業費は一千七百二十六万八千円で、全体の四八・六%となっております。



### 福祉資金貸付等の12案内

- 世帯更生資金**  
▽目的 低所得者世帯の経済的な自立を助ける。  
▽貸付条件 資金貸付と適切な援助と指導により自立自活可能と認められる世帯。  
▽資金の種類  
(一)更生資金  
生業運転必要経費(店舗改修、設備費等)又は、就職支度経費及び技能習得費。  
(二)住宅資金  
住宅の増改築や、補修などに必要な経費。  
この他に、生活資金、修学資金、福祉資金、療養資金、災害援護資金等があります。
- 老人居室整備資金**  
▽目的 老人と家族との間に好ましい家族関係を保つようにする。  
▽貸付条件 六十歳以上の老人と同居し、老人専用居室を増築するための資金が必要な方。  
▽貸付金額 十万円単位で最高百万円まで。  
利息は年八・五%ですが、うち五%は県が負担、本人負担は三・五%です。
- 市助け合い金庫**  
▽目的 低所得者が急に必要となった生活資金を援助する。  
▽貸付条件 市内に住み経済上困っている方。  
▽貸付金額 一件につき最高十万円が限度額で、無利子。据置期間は三か月。償還期間は十二か月、償還方法は月賦、一括どちらでもよい。保証人が一人必要。  
**高額療養費資金**  
▽目的 高額療養費の支払いが困難な方への必要な療養資金を貸付ける。  
▽貸付条件 市内に住所を有し、かつ国民健康保険の被保険者。  
▽貸付額 一人あたり月十万円までとし、療養費の額に相当する額以内。
- 心配ごと相談所**  
地域住民の日常生活におけるあらゆる悩みごと相談に応じ、助言や指導を行う。無料、秘密厳守。  
相談日は毎週水曜日、水曜日が祝祭日の時は翌日に社会福祉センターで開設します。  
なお、貸付の手続きなど詳細は本会事務局(福祉センター内)まで。



国際障害者年を迎えて



ボランティアを発掘—市社協  
記念講演や映画など—市福社務所

国際障害者年とは、五年前の一九七六年、国際連合において全会一致で決議された「完全参加と平等」をテーマとする世界的な行事です。「完全参加と平等」とは、地球上に住んでいるすべての人類が一般社会の中で、目の見えない人も見える人も、耳の聞こえない人も聞こえる人も、声の出せない人も出せる人も、手足の不自由な人も不自由でない人も、知恵の少ない人も普通の人も、五体が完全でない人も完全な人も、共に生きる事が保障され、生

活を楽しむ権利を有するべきであり、平等の人間であり社会の一員として参加する資格をもっているということです。そこで、地域住民と行政とのパイプ役を果たすべき立場に置かれている社会福祉協議会としては、国際障害者年への対応策をどのようにとっているのか、また、福祉行政面からの対応策はどうなのかを、社協会長と福祉事務所長に聞いてみました。

市社協会長 吉田 喆 雄  
数年前紀南市町村で推進してきた精神施設が出来る事になり、「ひかり学園」の分園誘致に成功した。恰も本年は国際障害者年に当り誠に奇しき因縁で、記念事業としてこれ以上のものはあるまい。私達は、充実準備した施設が一日も早く建設されるよう努めたいと思っている。これは「手をつなぐ親の会」等障害者多年の悲願が実ったわけで、更に授産場設置の推進も大切と考える。

若し人達の多くのグループ活動の中で私の心を強く打つたのは、熊野手話サークル「竹の子」創立二周年記念集会であった。彼等の周りには明るく、その目は清らかに輝いていた。まさにボランティアの御手本だと感じた。こうした人々が障害者福祉に寄せるボ

ランティア精神を更に高揚させ、福祉の輪が大きく広がっていくであろう事を思う時、一層支援の度を厚くし、健やかに成長させねばと思った。昨年社協大会で視力障害者の訴えを聞かれた黒田氏が、多くの私財を投じて音の信号機を直ちに記念通り横交差点に設置された。黒田氏はさきに多額の運営資金を市社協にお寄せ下さった奇偉の人である。市内にはかかる人間愛に燃えるグループや人々の在る事は殊の外うれしい。

障害者年に当って手話と並んで点字点訳の奉仕者の生まれることを期待したい。社協はこのような方々の発掘と啓蒙運動を強く展開したい。その第一歩として、福祉調査を行う所存なので市民各位のお力添えを御願います。社協に結婚相談所を開設しており、特に本年度は隣接市町村に呼びかけ賛成を得られれば障害者の方の集団見合いの場をつくる計画なので大方の協力参加を得たい。波戸所長さんのお力による「雑草の広場」を始め、多くの障害者福祉向上の団体があり、その発展にも一段と力を致さねばと考えている。

市福社務所長 波戸吉二郎  
社会的弱者の福祉増進、特に身体に障害を負う方達の福祉充実、国連で取上げられるまでもなく前向きな姿勢で対処しなければならぬ訳であります。当市では従来、個々にほそぼそと活動していた障害者の会や或はまた、未結成の会づくりを推進して「視覚障害者福祉会、雑草の広場、傷夷軍人会、手をつなぐ親の会、手話サークル竹の子会」等の連合会を結成し、更にこれを支援する「むつび会」を組織し、毎年「むつび会・社協・福祉事務所」が支援して、総会を兼ねた大きな催しをしております。

また、この他に下部の組織毎にも「運動会、演芸会、ハイキング、みかん狩り、遠足、キャンプ」等々を実施して福祉の増進に努めております。県当局では、国際障害者年を記念して十二月九日を障害者の日に想定しているやに聞いておりますが、定期的に聞ても、障害者になじめない季節でもあり、また最も危惧すべき点は、一時的な単なるお祭り行事に終わってしまうこととあります。従いまして「名より実」をとる必要がある

うかと考えております。ところで、当市は国際障害者年を記念に手をつなぐ親の会の積年の願望でありました「精神薄弱者更生施設」を南郡と相提携して愛知県犬山市の「ひかり学園」の分園を誘致することになりました。

この施設が出来ると、引続いて授産施設なども増設されるはずで、障害者の方々にとって大きな福音であり、期待されるどころ大なるものがあるろうかと存じます。

一方、市単事業といたしましては、黒田隆一郎さんからご寄付されました「視覚障害者用音の信号機」設置のための附属施設や、市民会館の「手すり」及び、「点字プロック」の設置、聾啞者の方々のための「ビデオテープレコーダー」の購入、そしてこの他記念講演、映画、家族ぐるみレクリエーション「作文、絵

画、作品展」等々を計画いたしております。



手話で集う仲間

成人式への出席



かんざしと振袖のはなやかなムードあふれる成人式会場に、あなたというちよつぷりやっかいな恋人といっしょに出席した私。もしあなたがいやがらなかつたら、私はみんなにあなたを紹介するつもりだったよ。ねえ、あなたは どうしてあの時あんなに頑固だったの？ いいえ私にはわかっていません。

あの席へあなたをつれて行くことに反対した私の大事な人の事をかんがえてくれたのね。でも私は少しも後悔などしていません。あなたといっしょに出席したことを……。私はずっと誇りたい気持ちです。この平凡な事を決心し、実行した自分自身を……。

中村みち子 (雑草の広場会員)



# 善意の寄金五百六十万円

## ご協力に感謝いたします

昨年十月一日から十二月三十一日までの三か月間実施いたしました「国民たすけあい共同募金運動」も皆様の深いご理解と暖かいご支援、ご協力により募金総額、五百六十余万円という前年度を上回る多額の義援金が寄せられました。ここに、職員一同この募金運動のため御尽力下さいました各地区の協力をはじめ関係者の方々に感謝いたすとともに厚く御礼申し上げます。高、共同募金、歳末たすけあい募金運動の結果は次のとおりです。

これに市費二十一万円を加えた三百余万円が、市内の恵まれない方々を始め老人ホーム施設入所者、在宅心身障害児(者)、ねたきり老人などに配分いたしました。また、この期間中、市福祉事務所と市社協主催により開かれた第六回歳末チャリティバザーにおいて、市民の方々の御協力により三十六万九千五百二十二円の売上げを得ることが出来、歳末たすけあい募金に繰り入れられました。

No	地区別	共同募金	歳末助け合い募金
1	須野	5,300円	7,800円
2	甫母	35,000	20,000
3	二本島	134,400	53,000
4	遊木	65,641	12,000
5	新鹿	224,000	50,900
6	波田	45,320	20,000
7	磯崎	84,160	40,000
8	大泊	38,530	295,195
9	大木	566,655	260,750
10	井戸	320,910	318,750
11	有馬	398,223	44,450
12	久生	68,350	35,000
13	金山	60,507	68,000
14	飛鳥	217,831	69,550
15	五郷	133,694	145,000
16	神川	71,150	122,600
17	育生	93,195	29,500
小計		2,562,866	1,592,495
その他		48,695	1,414,191
合計		2,611,561	3,006,686

共同募金・歳末助け合い募金実績表

## 延べ一万二千人が利用

共同募金実績額は、表のとおり、二百六十一万五千五百六十一円で前年度を四十四万円余りも上回りました。これらの募金は、県共同募金会に送金し、百七十余万円が還元され市社協を経て、低所得者および社協各支部に配分し、それぞれ福祉活動費として役立てることにしています。

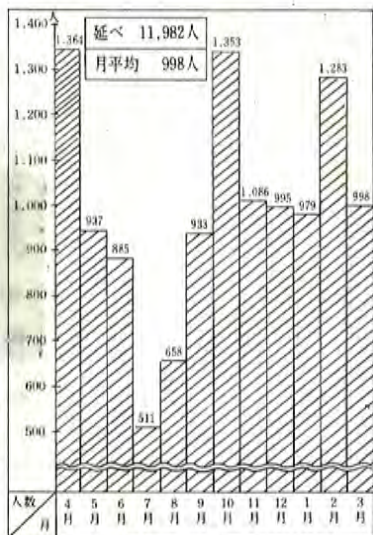
市民の福祉向上と増進を目指し設立された、熊野市社会福祉センターも昨年四月開館以来、一周年を迎え、この間

延べ一万二千人以上の方々が当センターを利用されました。そして憩いの場として、又、人の方々の学習、運動、相談関係団体、民間諸団体等の会議や研習会、児童、一般、老

「みんなそろって明るいお正月を」をスローガンに展開しました歳末たすけあい募金運動では、二百七十九万六千六百八十六円の募金があり、

## 歳末たすけあい募金

社会福祉センター利用者数(昭和55年度)



当センターは、市内の福祉関係団体、民間諸団体等の会議や研習会、児童、一般、老人の方々の学習、運動、相談そして憩いの場として、又、身体障害児(者)の機能回復訓練の場として小規模ながら幅広く活用していただいております。特に、当センターは各部屋に冷暖房を完備し、最適な条件で会議等が行われるよう配慮しており、「ここならゆつくりと会議ができ、かつるげる」と市民の方々の評判が高く、これからも、市民の方々のより一層の御利用を待ちしております。尚、申請手続き等はお早目に当センター事務局までお申し込み下さい。

## 社協支部だより



### 美化運動を推進(有馬)

有馬支部(支部長山川勇さん)では、「お互いが助け合い励まし合って、健康で明るく住みよい町づくり」を目標に、町内美化運動を進めてきた。そのひとつとして町内の各バス停留所周辺の汚れが著しいため、ゴミ箱の設置を計画、実施したところ、バス停とその周辺の汚れはめっきり少なくなり、一応の効果も上がっている。

このほかにも、「有馬婦人会」や「有馬青年団」などの地域美化運動をますます強化し、住民全体による明るく住みよい町づくりへの協力を呼びかけている。

熊野市社会福祉協議会では「昭和五十六年度事業の一端として、福祉調査を計画しております。この調査は、市内各地区に



住んでいる方々を対象にして行うもので、地域住民のみならず、日常生活において社会福祉協議会と社協活動に對して、どの程度の理解、関心を持っているのか、また、よろしくご協力をお願いします。



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

No 4

## 授産所が欲しい

### 障害者の声を聞く「現状を語る会」

市社会福祉協議会は六月二十六日、市社会福祉センターで障害者と市議会議員の懇談会「私たち障害者の現状を語る会」を開きました。

この会は、ことしの国際障

害者年を記念して、市議会の教育民生常任委員会の提言で「障害者の生の声を聞き、でき得るかぎり行政に反映させたい」との主旨のもとに、初めて開催したものです。



手話で要望や悩みを話す身障者

参加者は、障害者側から市中心障害者連合会（嶋愛雄会長）に加入している「雑草の広場」、「視覚障害者福祉会」、「手をつなぐ親の会」、「傷夷軍人会」の四団体と、これら障害者を援助する「くまのむつび会」、「手話サークル」および市議会同委員会の陸地恒治委員長、桃井義信、西隆男

玉置吉蔵の四議員ら合計二十人でした。

懇談会は、山本社協事務局長の司会で打ち解けたふんい気のうちに進み、障害者からいろいろの要望が出され、議員からも「実現出来る限りの努力をしたい」と前向きな約束がなされました。

また、今後もこのような会合を開くことを申し合わせました。

懇談会で障害者から出された要望は次のとおりでした。

- ▽知的能力がありながら働けぬ、授産所設置を。
- ▽重度障害児（者）をもつ家族が、緊急な用務でその面倒をみられなくなった時のため、一時預り所の設置。
- ▽精神薄弱児（者）施設、「ひかり学園」の早期建設。
- ▽障害者が自動車免許を取得することに、福祉手当がカットされるためガソリン代の補助金制度を。
- ▽知的能力がありながら、義務教育の年限がすぎた障害者に訪問教育を。
- ▽視覚障害者が街を安全に歩けるように、歩道上に自転車や車等の放置取締りを。
- ▽特殊学級が閉鎖され、通学していた障害者の家族が困っている。この特殊学級の再開を。



市福祉事務所長

中田 芳宏

### 市民の福祉に努力

社協だより第四号を発行されるに当り、一言ご挨拶申し上げます。

本年四月の人事異動によりまして、再び福祉事務所にお世話になることになりました。

重要な行政の中で最も身近かな福祉行政の担当を命ぜられまして、その職務の重責であることを痛感しております。

す。幸い当市の社会福祉協議会が法人組織以来八年、民間福祉活動の中核として、社会福祉センターの完成と共に吉田会長さんを始め、役員の方々を中心に本格的な活動を展開され益々発展されておりますことは、私共、福祉行政に携わる者として衷心より感謝申し上げます。

社会の急激な変化、とりわけ高齢化社会の進む中において社会福祉をとりまく情勢は大きく変化しつつあり、住民福祉のニードも多種多様化し、その課題も拡大しています。

各種福祉団体のみならず、ボランティア活動に一層のご理解をいただいている方々の鞭撻を戴き、地域福祉の推進を図るために、どの様な実践を進めていったらよいかご叱責を受け、ご教示をお願い申し上げます。

市民の皆様のご指導を心からお願い申し上げます。



# 真夏の夜を満喫

## 雑草の広場キャンプ大会

### ゲームや花火大会で楽しい一夜

熊野市、南牟婁郡、尾鷲市を中心として、身体の不自由な仲間たちでつくっている「雑草の広場」(中田重顕会長)は、八月一日と二日、恒例のキャンプ大会を御浜町の阿田和小学校々庭でボランティアを含め五十余人の参加によって行いました。

熊野市、心に楽しみを持つことが大切と始めたこのキャンプ、周囲の理解とボランティアらの協力によってこととして七回目をむかえました。

前日までの豪雨とはうってかわって、この日はお昼ごろから快晴となり、市・県の福祉関係者らの車で送ってもらった会員はひさしぶりの顔合せにとどめうれしそうでした。もうなじみになったボランティアの方々と談笑のあと、

討論集会を行い、身障者の社会復帰のための授産所の建設要望などを話し合いました。

このあと、ボランティアの方々が腕によりをかけて作った夕食に舌つづみをうちなながら、会員やボランティアの方々のユーモアたっぷりの自己紹介で爆笑の後、キャンプファイヤーを囲んでゲームやカラオケ、花火などで楽しい一夜を過ごしました。



二日、恒例のキャンプ大会を御浜町の阿田和小学校々庭でボランティアを含め五十余人の参加によって行いました。



歌をひろうする会員(上)と楽しい食事の二コマ(下)

## 家族ぐるみでにぎわう

### 心身障害者連合会の総会

熊野市心身障害者連合会(鳴愛雄会長)は、五月二十四日、木本小学校講堂において総会と運動会を行いました。

あいにくの雨にもかかわらず、会員とその家族、それに市関係者ら約百人が参加しました。

総会は、会長のあいさつにつづき、坪田市長、山下県議、吉田社協会長らの来賓あいさつのもと、今年度の事業計画として、老人マッサージ奉仕、重度身障児(者)慰問、そして会員研修会などの他に、国際障害者年記念行事として、家族ぐるみレクリエーション、記念講演会、作文・ポスターの募集展示など、市福祉事務所と市社協との共催事業に積極的に参加することを決議しました。

ひきつづいて同講堂で第三回心身障害者運動会を行いました。

回を重ねるたびに参加会員も増加し、また、ことしは国際障害者年にあたることもあって、会員らは、玉ころがし、



総会のあとの運動会



市長らの訪問を喜ぶ瀧本はるさん(96歳)

敬老の日をひかえた九月十四日、坪田市長、吉田社会福祉協議会長らは、市内の九十歳以上のおとしより七人を慰問し、その長寿をお祝いしました。

(95) 井戸、のおじいさん おばあさんたちで、市及び社協から長寿さぶとんに添えて、シーツやお菓子を贈りました。坪田市長や吉田会長の「いつまでも元気で長生きして下さい」

## 赤さぶとんで祝う

### 社協会長ら長寿者を訪問

訪問したおとしよりは、百歳の植村ひささん(久生屋)はじめ、須藤ひの(99) 木本、福本善三郎(97) 有馬、須崎こまつ(97) 金山、瀧本はる(96) 神川、坪井ひら(95) 五郷、松田豊十郎

「顔をほころばせともうれしそうでした。このあと、老人ホーム松涛園と特別養護老人ホーム宝寿園を訪れ、百十一人のおとしよりに金一封を贈ってお見舞しました。」



寄付者氏名 敬称略 (昭和55年度)

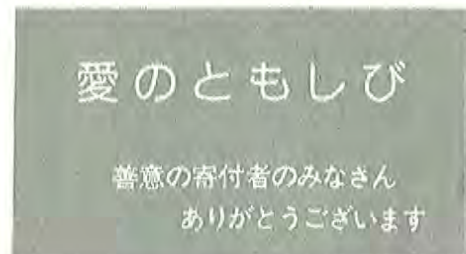
Table with columns: 受付月日, 住所, 氏名, 金額, 受付月日, 住所, 氏名, 金額. Lists donors and amounts for the 1955 fiscal year.

昭和56年度分 (8月末日まで)

Table with columns: 受付月日, 住所, 氏名, 金額, 受付月日, 住所, 氏名, 金額. Lists donors and amounts for the 1956 fiscal year up to August 31st.

Table titled '寄付金配分内訳 (五十五年度)'. Shows distribution of donation funds: 3,982,500円 total, with various categories like 協会連合会費, 福利金, etc.

進めてゆく事がより大切な事... (五十五年度) ...



社会を明るく、みんなが楽しく生きられることが私達の願いであります。市民のみなさんには毎年多少にかかわらず、善意の寄付をいただいております。

これは毎年市民の方々からいただく寄付金を社協特別会計として積み立てたものであります。みなさんの御協力を得てこの基金の目標を一億円としております。

善意を原資として積み立て、所得の低い市民の方々が急にお金が必要なき、貸付けいたしております。(最高十万円まで、三か月据置、一か月の月賦償還で無利子)五十六年八月現在原資額二百二十四万円。

社協では市民のみなさんの善意の寄付金については、これを全部一般会計に計上し、寄付者芳名簿を付して理事會、評議員会の議決を経ております。

国際障害者年にあたり「完全参加と平等」のテーマのもとに全国的に各種の催しが行われている中で、本当の意味での身障者の雇用とは何か、それは正しい理解と愛情により一人でも多くの身障者が自分に合った職に就くことである。身障者の雇用促進のため「身体障害者雇用促進法」があるが、この法律は事業主に對して身障者の雇用率を定め、この雇用率に沿って障害者を雇用した場合、事業主に対してその賃金の三分の一を一年間(重度障害者では賃金の二分の一を一年六か月間)にわたる国が助成するという法律であるが、この法律はいわゆる「ざる法」とも言われるものではないだろうか。

井戸町 谷川充人



# やさしさを隣人に

## 共同募金にご協力を

「赤い羽根」をシンボルとする、国民たすけあい共同募金運動が十月一日より全国一斉にスタートしました。

熊野市におきましても、この日に坪田市長はじめ社協関係者や婦人会の方が市駅前街頭募金を呼びかけ、市民より小さな胸コに火がついた



熊野市社会福祉協議会、十月二十七日(火)午後一時

の皆さんに共同募金への協力を、お願いしました。

この運動も、皆様の温かいご理解とご協力をいただき、社会福祉に対する関心を年々高めつつあります。この中で寄せられる厚い皆様の善意は、地域社会福祉施設の整備或は福祉団体の育成、また地域での福祉活動に大きな役割を果たすと共に、明るく住みよい社会を築くために実施されております。

同募金運動に一人でも多くの方々のご支援ご協力をお願い申し上げます。尚、今年の熊野市の目標額は、百三十四万二千円でこれらの善意の寄付金は、市内の福祉施設の充実や地域の福祉活動費として次のように使われています。

ねたきり老人見舞・高齢者の慰問・施設入居者の見舞・子供会の育成、交通遺児の激励・重度心身障害児(者)の見舞・その他地域の福祉活動。

**老人福祉大会**  
27日・市民会館

## 会への加入を

### むつび会

くまのむつび会(福山益雄会長)は、心身の障害にもめげず、明るく元気に未来に希望を託し、強く生きてゆこうとしている心身障害児(者)に積極的な協力態勢づくりをと、昭和四十九年十二月民間の有志によって、心身障害児(者)を守る会として結成されました。

以来、今日まで会員の皆さんのあたたかいご理解とご協力によってより充実した事業や各種障害者団体への助成などを行ってきました。

五十六年度総会は六月八日、社会福祉センターで開きました。

五十五年度決算報告、新年度事業計画、新年度予算、会員増強に伴う役員の増員等を審議可決しました。

五十五年度決算、五十六年

昭和55年度歳入歳出決算	406,848円
歳入合計	275,502円
歳出合計	131,346円
歳入歳出差引残額	144,296円
年55(156年度へ繰越し)	
昭和56年度歳入歳出予算	544,000円
昭和56年度事業計画	役員会・総会
6月	常任理事会
7月	重度在宅障害児(者)夏季見舞
8月	常任理事会
9月	重度在宅障害児(者)冬季見舞
12月	障害者の個人・団体への助成
その他	

## 親睦を深める 身障連

熊野市中心身障者連合会は、昭和五十三年四月に結成され、障害者福祉の向上の趣旨のもとに現在、障害者福祉団体・5、会員数三百名余りが加入しており、障害者の相互の親睦と連携を保ちつつ、各種事業を行いながら精進しております。

このことは、障害者の方々が自分の立場を理解して、お互いが懸命の努力をしているからであります。

本年は、「完全参加と平等」をテーマに障害者の方々の中心とした多彩な催し物がとり行なわれ、障害者に対する関心を高めつつあります。

熊野市におきましても市と市社協が共催で、障害者年行事を計画しその準備が着々と進められております。

尚、連合会におきましても五月に総会及び運動会、八月には、重度在宅障害児(者)夏季見舞等を実施し、会員のより一層の親睦を深めました。

## 社協支部だより

### 住民参加で清掃作業

本本支部(浜地大三支部長)は、「住みよい地域社会を築きあげるため、住民の自主的参加を求めて、みんなで明るい町づくり」を目標に、煙霧消毒や海岸清掃などを実施してきました。

▼煙霧消毒は七月十三日から八日間にわたって、役員やアルバイト学生らの協力により行いました。

この煙霧消毒は、各家庭の保健衛生上欠くことのできないものとして、毎年実施しているものです。

▼また、八月二日には、木本海岸や町内を流れる河川の清掃作業を早朝五時から住民の参加によって行いました。

海岸清掃では、市衛生課の協力を得て、回収車二台分のゴミ類が回収され、中にはリヤカー、自転車などの大きなゴミもありました。

海岸をいつでもきれいに、九月には国道沿いの二丁目バス停に、燃焼物、不燃物、空きかん類と三種類のゴミかごを設置、住民や観光客等の協力をお願いしています。

▼また昨年設置完了した掲示板は、当支部はじめ婦人会、会など、営利を目的とし



(よろこばれています)

## 編集だより

社協では年内に皆様方から、福祉に関する御意見を何らかの方法でお聞きしたいと思っております。

その節はどうかよろしく御協力下さい。



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

No. 5



頼りにされる

ホームヘルパー

雨

わたしは、雨がだいきらいだ  
 おばちゃんの訪問日は  
 ふしぎに雨が多い。  
 外出の約束しても雨でだめになる。  
 おばちゃんに悪いが、  
 雨のおばちゃんとあだ名をつけた。  
 今日の訪問日……また雨だ。  
 もうそろそろ  
 雨のおばちゃんの来る時間だ。  
 足音が  
 雨の音のように聞こえる。

とみ子

とみ子ちゃんが待ちこがれるのは、市社会福祉協議会から派遣するホームヘルパー(家庭奉仕員)のおばさんです。

ホームヘルパーとは、身体障害児(者)の話し相手及び、身の回りの世話、ねたきり老人の看護や掃除・洗濯等に努める人のことです。

市社協には、現在、身障児・身障者及びねたきり老人を対象としたヘルパー各一名、計三名がおり、毎日、市内のいたる所へ派遣しています。

おばさん達は、すっかり頼りにされ、訪問先の人々と仕事を通じて心までかよい合い、なくてはならない存在となっています。



# 住民参加の福祉を！

## ～57年度評議員会～



57年度の評議員会

昭和五十七年度の市社協理事會評議員会は、三月二十六日午前十時から社会福祉センターにおいて、理事、評議員三十三名の出席により開かれました。

人間の平均寿命が延び、高齢化社会へと移行し、福祉問題が複雑多様化する現在、地域福祉を進めてゆくためには住民の参加をどのような方法で促進させてゆくかが大きな課題となっています。

評議員会では、前年度各地区住民の皆様の協力を得て行った住民アンケート、これからの地域福祉のために「住民参加の福祉」をテーマに新年度事業計画並びに予算などの諸事項を審議しました。

### 新年度の主な事業

- ▼地域福祉活動の強化(一)住民一人一人が自らの問題として福祉をうけとめて、地域社会においてその解決のため、社協と住民とが協力して明るい町づくりに取り組む。(二)ボランティア活動の推進(善意銀行の設立と趣旨の啓蒙・社会奉仕活動(ボランティア)センターの設立と運用)。
- ▼社協体制の強化(一)役員研修会。(二)支部会員(地区住民)との懇談会等の開催。
- ▼支部活動の強化と推進。(三)広報活動の強化と推進。発行、ピラ配布、話し合いの会等の開催。
- ▼福祉関係団体への協力と育成強化(一)民生児童委員協会の事業に協力。(二)心身障害児(者)家庭への慰問と激励。(三)車椅子の貸付け事業。(四)敬老会の開催、ねたきり独居老人の見舞と慰問。(五)母子(寡婦)福祉会に対する助成と各事業への参加、協力。(六)父子家庭の調査実施とその対応検討。(七)慰霊祭への助成と協力(本年合同慰霊祭の開催)。
- ▼低所得者対策。世帯更生資金、高額療養費、老人及び障害者居室整備資金、市助け合い金庫(最高十万円)の貸付け業務、歳末助け合い募金等による見舞金配分。
- ▼青少年の健全育成(一)専門活動のための態勢づくり。(二)小、中高校及び関係機関との連携と協力(各活動費の助成)。
- ▼社会福祉センターの運営(一)住民センターとして愛され親しまれる運営管理。(二)利用について啓蒙強化。
- ▼在宅サービスの強化(一)地域性を活かした人間的、家族的な福祉活動の促進。(二)家庭奉仕員派遣事業の強化。
- ▼相談事業(一)心配ごと相談業務の充実強化。(二)結婚相談の実施。(三)障害者、老人、母子等の就職相談の実施。
- ▼各種募金運動の実施。共同募金、歳末助け合い募金、日赤運動等。
- ▼生活環境整備促進事業。町を明るくきれいにするための生活改善運動とごみを出さない運動。
- ▼その他。健康体操の実施、社会福祉大会の開催。

### 予算総額は

四千四十万円

昭和57年度 予算一覧表 (単位千円)			
一般会計歳入	会費	550 (1.4%)	
	配分金(共同募金・歳末募金)	3,860 (9.6%)	
	委託金	9,318 (23.0%)	
	補助金	21,271 (52.6%)	
	寄附金	800 (2.0%)	
	繰入金	3,270 (8.1%)	
	雑収入	1,130 (2.8%)	
	雑越	219 (0.5%)	
合	計	40,418 (100%)	
一般会計歳出	運営費	442 (1.1%)	
	業務費	8,717 (21.6%)	
	事業費	20,656 (51.0%)	
	委託費	7,381 (18.3%)	
	支金	1,261 (3.1%)	
	出金	1,850 (4.6%)	
	諸費	111 (0.3%)	
合	計	40,418 (100%)	
特別会計	心配ごと相談所	214	
	助け合い金庫	2,674	
	高額療養費貸付事業	2,005	
	職員退職給与金積立	1,839	
	市社協運用基本金積立	37,211	
	善意銀行	2,205	
合	計	46,148	



# 社協活動のPR強化を

## 住民アンケート要望いろいろ

市社協では、住民アンケート「これからの地域福祉のために」を昭和五十六年十二月四日から五十七年一月二十日まで、市内の二千五百世帯を対象に約一月半にわたって実施し、約四七割の回答が得られました。

Q 福祉センターは一般市民にも開放されているのですか。又、利用規定・制限等があれば教えて下さい。

A 簡単な手続きで、お気軽にご利用頂けます。又、利用規定・制限については、センターまで連絡して頂ければご説明いたします。

Q リハビリ室に指導員を設けてほしいが。

A リハビリ室に指導員を設

置することにについては、五十七年四月一日から（午前中に限る）桐本正男さんが指導してくれま

Q 社協活動の多種多様さをこのアンケートではじめて知りました。もっと社協活動のPRをしては

A 社協活動のPRについては、「社協だより」で活動状況等を掲載しています。又、各新聞紙上にて行事予定などを発表しております。それぞれの地域で、皆さんと一緒に、お互いの問題を解決してゆく民間の団体です。

Q 会員間の支部事業等の連絡を密にすると共に、住民

に周知してほしい。

A 支部会員（地区住民）との懇談会等の開催を、五十七年度事業として計画しています。

Q 明るく住みよい町づくりのために、定期的な美化運動の呼びかけをしては

A 生活改善運動、ゴミを出さない運動、道路、河川、溝、神社仏閣等の清掃など、生活環境の整備促進事業を計画しており、支部においても毎年定期的な計画、実施しておりますので、ご協力をお願い致します。

Q 校内暴力や青少年の非行防止のために、話し合いの場をつくったり、スポーツ

や趣味の奨励をして学校での厳しい指導をお願い致します。

A 青少年の健全育成のため①専門活動のための態勢づくり②小・中・高校及び関係機関との連携と協力（活動費の助成）等を五十七年度事業計画とし、民生委員や支部の方々と共に取り組んでゆきます。

Q 共同募金、歳末助け合い募金の使途はどうなっているのですか。

A 共同募金、歳末助け合い募金の結果及び配分先（使途）については、理事会、評議員会に諮り、「社協だより」や地方新聞等に毎回掲載しております。

Q 母子福祉と同様に、父子福祉についても考えてほしい。

A 父子家庭対象者の調査とその対応策を検討することも新年度事業として計画しています。

なお、この他にもさまざまなお意見、ご要望が寄せられましたので時間をかけて検討し、これからの社協活動の参考にして地域福祉向上のためさらに努力を重ねてゆきたいと考えております。

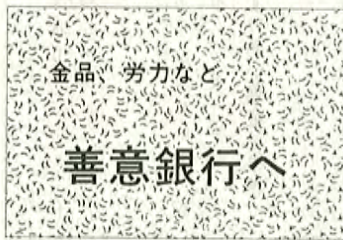
# 奉仕活動を してみませんか？

## 熊野市ボランティアセンター設立

各地域には機会があればボランティア活動に参加してみたいという潜在ボランティアが多く、どこに相談してよいかわからない。一方、ボランティアの援助を受けたいと思っている人が数多くいます。そこで市社協では、こうしたボランティア活動への参加希望の受け入れ相談や、ボランティア活動の基礎知識の普及、あるいは、ボランティアの指導、あっせんなどをする組織として、昭和五十七年四



月一日から、市社協内にボランティアセンターを設置しました。ボランティアとして社会奉仕活動に興味のある方は、市社協へお申し出下さい。



昭和五十七年四月一日から市社協内に善意銀行を設置しました。

善意銀行は、みんなの善意（金品でも労力でもひろく物・心いずれを問わず福祉活動に役立つものを提供して、奉仕するまごころ）をお預りして、これを、援助を必要とする人々や施設におくって、健康で明るい社会を築いてゆくことが目的です。

つまり社会奉仕、相互扶助の精神に基づいて提供される援助をあつめて、これを社会福祉のために活用して、その向上につくすのが善意銀行です。

### 五十七年度行事 のお知らせ

○熊野市戦没者合同慰霊祭  
4月28日（水）  
市民会館で

○理事会・評議員会（決算）  
5月27日（木）  
市福祉センターで

○熊野市社会福祉大会  
10月か11月  
市民会館で



# 共同募金と助け合い募金

## ご協力ありがとうございました

昨年末の「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」には、市民の方々から総額五百三十万円の多額の浄財が寄せられました。

これもひとえに皆様の暖かいご支援とご協力の賜ものと厚く御礼申し上げます。  
各募金運動の結果は、表Iのとおりでした。

### 共同募金

募金実績額は、二百五十四万九千五百五十円で目標額を百二十万七千五百五十円上回りました。このお金は県共同募金会に送金し、百六十余万円が市社協へ還元され、高齢

### 歳末たすけあい募金

者、ねたきり老人等の慰問、地区社協の福祉活動費などに使われることになっていきます。

募金額は百五十万八千七百四十八円で、これにチャリティーパーサーの収益金(三十六万円)や個人等の寄付金(九十六万円)などがあり、総額二百八十四万四千三百九十二円の寄付がありました。

市社協では年末に生活保護世帯、長期入院患者、重度身障児(者)世帯、ねたきり老人、施設入居者などに配分いたしました。(表II)



自慢の歌を披露する会員

## 会員の親睦深める

### 身心障害者連合会

熊野市中心障害者連合会では、昨年十一月

二十九日に、五郷町の「桃崎生活改善センター」において、会員研修会を開催し、会員とその家族、役員、来賓者など約八十名が出席し、相互の親睦を深めると共に有意義な一日を過ごしました。

午前中「我が心の持ち方」と題して、谷川義一氏の講演を聞き、その後会員からの要望や意見を聞く座談会を開きました。

午後からは昼食をとりながらのおたのしみ演芸会が始まり、歌や踊りなど会員自慢の

二十九日に、五郷町の「桃崎生活改善センター」において、会員研修会を開催し、会員とその家族、役員、来賓者など約八十名が出席し、相互の親睦を深めると共に有意義な一日を過ごしました。

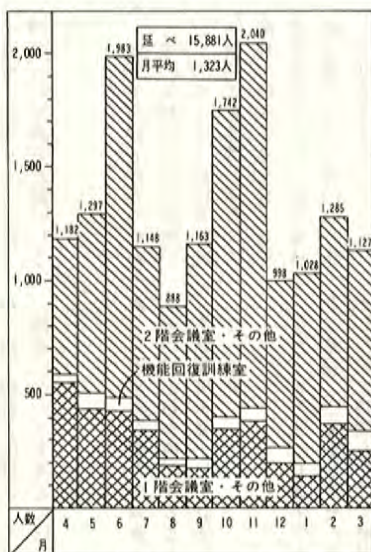
午後からは昼食をとりながらのおたのしみ演芸会が始まり、歌や踊りなど会員自慢の

(表I) 共同募金・歳末たすけあい募金結果表

区分	配分金
生活保護世帯	300,000 <sup>円</sup>
障害者世帯	941,000
ねたきり老人(者)	310,000
重度身障児(者)	48,000
長期入院患者	185,000
松涛園・宝寿園	159,000
市外特別養護老人ホーム	26,000
重度精薄児(者)	72,000
特別疾患患者	65,000
精薄施設入居者	51,000
児童	12,000
交通遺児	76,000
市助け合い金庫	143,900
老人クラブ連合会	10,000
母子福祉会	20,000
身障者連合会(5団体)	100,000
紀南手をつなぐ親の会	30,000
市社協運用基本費	200,000
事務	95,492
合計	2,844,392

(表II) 共同募金・歳末たすけあい募金結果表

地区	共同募金	歳末助け合い募金
須野	5,800 <sup>円</sup>	7,700 <sup>円</sup>
前母	28,200	19,300
二木島	122,806	33,600
遊木	68,402	12,000
新鹿	179,327	57,500
波田須	47,670	31,800
磯崎	78,506	38,950
大泊	37,867	24,200
木本	613,720	314,005
井戸	275,325	223,566
有馬	289,690	248,708
久生屋	67,200	36,890
金山	76,018	35,000
飛鳥	226,930	121,650
五郷	130,002	160,543
神川	76,950	58,750
育生	97,720	84,586
その他	127,417	1,335,644
合計	2,549,550	2,844,392



福祉センター利用者数(昭和56年度)

この作業を通して、郷土を愛し、自然を守ろうとする気持が児童達自身の中から生

この作業を通して、郷土を愛し、自然を守ろうとする気持が児童達自身の中から生

この作業を通して、郷土を愛し、自然を守ろうとする気持が児童達自身の中から生

この作業を通して、郷土を愛し、自然を守ろうとする気持が児童達自身の中から生

# 社協支部だより

## 稚鯉二万匹放流(井戸)

▽井戸支部(森岡一平支部長)では、五十六年度事業のひとつとして、井戸川の美化を目的に昨年十月、稚鯉約二万匹を井戸川に放流しました。

この事業は毎年行っているものですが、今回からは特に「五か年で十萬匹の稚鯉の放流」を目標にしています。

昨年八月、役員らの手によって十匹から二十匹の稚鯉を水田に放ち、稚鯉の成長を待つて稲刈り前に集め、井戸小学校児童らも手伝って井戸川に放流しました。

この作業を通して、郷土を愛し、自然を守ろうとする気持が児童達自身の中から生

まれてくればという願いも込めて行ったものです。

今では、四十から五十にも成長した色とりどりの鯉が町民の目を楽しませています。

▽また、その他の事業として「生活改善アンケート」を今年二月に行いました。

このアンケートの結果は、生活改善部会で検討し、新年度の支部総会にはかり、実行し易い事項から推進してゆくことになっていきます。

「福祉向上のためになると思われることはどんどん進め進めるべきであり、それを進めてゆく方法を考えるのが社協の役目だ」というのが森岡さんの考えです。







# 健康づくり体操教室

## 今後は各地区で開催

「だれでもできる体操で健康な身体づくりをしよう」と福祉センター開館と同時に毎月二回、森岡一平さんのご指導により市協が主催になり「健康体操教室」を開いてまいりましたが、このたび、県社協より地域福祉活動の推進事業の一つとして指定されま

した。この体操教室は現在、木本、井戸地区の一般、老人の方々が中心に参加して、毎回約五十名が森岡さんの指導をうけていますが、体操だけでなく歌やゲーム、ダンスなどして誰もが楽しみながらできる体操として好評で人気があります。これを機会に市協では、さつそく森岡先生にお願いして、この体操教室を各地区に出向き、みなさんに楽しんでもらうことになりました。第一回目は、十一月二十日



社会福祉センターでの健康体操

に飛鳥、日進地区の「母と教師の集い」に講師として招かれ健康体操を指導しました。今ところ、詳細な計画は作成中ですが決まり次第、関係機関を通じてご連絡しますので宜しくご協力下さい。



### 講師は森岡一平氏

講師の森岡一平さん（井戸町）は、慶応大の故三橋喜久雄教授の指導を受け、三十五年から大人を対象とした健康

体操に取り組んでいま

現在、井戸老人クラブ会長、市協井戸支部長、市協理事、どこでも、だれでもやれる体操の必要性を訴えています。

## 高齢者や施設を慰問



敬老の日を前に九月十一日、坪田市長と共に吉田社協会長らは、市内の満九十五歳以上のお年寄り七人を慰問し、その長寿をお祝いしました。訪問したのは、最高齢者で百一歳の植村ひささん（久生屋）をはじめ、福本善三郎（98）有馬、須崎こまつ（98）金山、瀧本はる（97）神川、松田豊十郎（96）井戸、平石栄吉（95）二本島、尾崎長五郎（95）井戸、の方々でみなさん元気に坪田市長や吉田社協会長らを迎えてくれました。

そして、市及び社協から長寿さぶとんやお菓子、シーツを添えて贈り、「いつまでも元気で長生きして下さい」との市長らの励まし言葉に「あ

### 各地区で敬老会を開催

市協支部（十八支部）では、婦人会や区などのご協力により満七十五歳以上のお年寄りたち（今年は市内で千三百七十九人、この内満八十八歳以上の方は百五人）を招待

### 所得税の課税世帯にもヘルパー派遣

熊野市社協では、本年の四月から熊野市の委託事業として老人及び心身障害児（者）の家庭奉仕員（ヘルパー）の派遣事業を行っています。この程、この事業の制度が改善されることになり、市では只今検討中ではありますが改善がきまりますと、今までは所得税の非課税世帯のみの低所得者対策であったものが所得税の課税世帯にも派遣されるようになり、所得税の課税世帯からは、それぞれ一部受益者負担が導入されることになりました。

派遣は原則として時間制（一時間当り大抵五百円から五百八十円）となっております。尚、詳しいことは市の方針がきまり次第（予定十二月末）ご連絡申し上げます。

し、十月から十一月にかけて敬老会を開きました。

満八十八歳以上の方々には、市と市協から長寿さぶとんを贈り、坪田市長や山下県議らのお祝いのことばをいただきました。

このあと、用意された心のこもったごちそうに舌つづみをうちながら、婦人会や有志による歌や踊りなどの余興に盛んに拍手を送り、楽しい一日を過ごしました。



めぐまれないかたに  
**あなたの真心を**  
 25日まで 歳末たすけあい運動

十二月一日から暮れの二十五日まで「歳末たすけあい運動」が始まっています。  
 この運動は、被保護家庭、老人、障害児者や貧しい方々などにささやかながらも楽しんでお正月を迎えていただくために市民が真心こめて贈る愛情のこもった募金として、毎年みなさんのご協力をいただいています。  
 昨年は二百八十四万四千三



百九十二円の募金が寄せられ、市社協では年末に生活保護世重度身障児(者)世帯、ねたきり老人、施設入居者、交通遺児などに配分し、たいへん感謝されています。  
 年末をまえに何かとたいへんなときですが、地区の社協支部や婦人会、町内会の方々が伺いますので、ご協力下さいませようお願いします。  
 また、十月一日から始まっており、赤い羽根共同募金運動もみなさんのご支援とご協力により、目標額百六十一万一千円に対し、現在二百万円を越す義援金が寄せられています。尚、募金がまだ届いていない地区もありますので、できるだけ早く社協事務局までお持ち下さるようお願いいたします。

いたる姿に接し何とも言えぬ感銘を受けました。事務的な公立の施設等では到底見られない素晴らしい施設、それは園長先生の人格識見とその手足となり一丸となって真剣に取り組



**孫太郎へバス遠足**  
 雑草の広場

雑草の広場では、十一月三日「文化の日」に紀伊長島町にある、レクリエーション都市「孫太郎」へ秋のバス遠足を実施しました。  
 当日は、今にも降りだしそうな天気心配しましたが、参加者全員が曇り空を吹き飛ばさんばかりに元気いっぱい出発し、楽しい一日を過ごしてきました。  
 現地では、ボランティアが作るお好み焼きに舌つづみをうち、風船割りゲームや野球などをして、笑い声や声援が広場いっぱい響き、会員とボランティアの一層の親交を深めました。  
 中田重顕会長は「天候には恵まれませんでしたが、いつもながらの人々の温かい心に分れることができ、誠に有難い一日でした。協力して下さいました全ての方々に心からお礼申し上げます」と感謝の言葉を述べていました。

ことごとくづく感じました。熱心な質問も出て総員のお見送りを得て園を辞したのは暮色が車窓に迫る頃。すぐに犬山城を見る木曾河畔の旅館に到着き園長先生御父子を囲んで、福祉について更には人生について秋の夜の深まりを忘れ語り合いました。  
 翌十一日は園長代理(御子息)のご案内で名古屋守山区の親愛館(更生施設五十名)と併設されている授産施設一進舎を見学しました。ここは名古屋市中から時価三十億円と言われる土地の無償提供を受けて、昭和五十四、五年にか

**ひかり学園など訪ねて**

くまのむつび会会長 福山 益雄

「くまのむつび会」では、更に充実した会活動を展開する為に研修視察の実施を計画していましたが、時恰も「紀南ひかり園」の建設が関係各位の御尽力によりその実現の日を迎えたこともあって、先づこの方面についての理解を深めようと本家本元の「ひかり学園」その他の見学を実施することになり、秋色深まる十一月十、十一日の両日天理教飛鳥分教会系川会長の御厚意により運転手付きで同教会のマイクロスバスの提供を頂き、費用の殆んどを参加者負担の手弁当で総員十五名が出かけ

十月は午前七時熊野市駅出発、大山市に向い、午後二時「ひかり学園」に到着し園長川崎先生や御子息(紀南ひかり園々長予定)はじめ諸先生

生方の温情溢れる御案内御説明により園内を隅々見学させて頂きました。  
 園内に侵透した家庭の雰囲気の中で入園者五十四名が落ちついて楽しそうに生活して

り組んでいる先生方の情熱によって築きあげられた世にも素晴らしい作品であると改めて痛感させられました。このよ

けて設立された社会福祉法人恵泉会が経営されている施設で理事長舟橋先生からいろいろ卓見を拝聴し園内を見学しました。この園は国の基準を遙かに越える広々とした建物と敷地を持ち(設計は紀南ひかり園と同一者)明るく美しく羨しい限りの施設でした。入園者も非常に落着いて規律正しく、そしてみんな夫々の作業に取り組んでいる姿がよくもこれまでと感心させられました。

大変有益な研修視察ができましたので近く理事会を開き参加報告と今後の取り組みに



親愛館の視察



現金預託

Table with columns: 住所, 氏名, 金額, 住所, 氏名, 金額. Lists various individuals and organizations contributing to the cash fund.

技術、労力預託

Table with columns: 住所, 氏名, 摘要. Lists technical and labor contributions from various members.

物品預託

Table with columns: 住所, 氏名, 摘要. Lists items donated to the fund, such as clothing and household goods.



館組合員のすし奉仕(松涛園で)

現金預託は九十万円

善意銀行七か月の実績

この四月一日より、市社協内に設置いたしました「善意銀行」は、市民の皆様のご協力により社会福祉活動に必要な金銭、物品、労力などの貯蔵庫として、多くの方々より預託していただき、援助を待ち望んでいる方々に払い出しをし、役立たせていただいております。社会のために、人のためという奉仕の精神で明るく、健康で、しあわせな社会を築いていくための橋渡しをする当銀行は、これから

も益々市民に密着したものでありたいと考えています。尚、十月三十一日現在、預託していただいた方々は、左表の通りです。
——現金預託——
篤志寄付、香典、祝儀などのお返しにかえての寄付、バザーの収益金等のお金が百四件、金額九十一万九千五百七十五円で、各福祉団体や社会福祉基金などの指定先へ払い出しをしています。特に、長崎、三重両県の中豪雨による災害では計六十七万二千五百円の見舞金の預託があり、さつそく関係機関を通じて両県へ送金いたしました。
——労力・技術預託——
現在、五団体と十五名の方々に預託していただき、施設奉仕や障害者団体などにボランティアとして奉仕活動に参加、協力しています。
例えば、老人ホーム入居者に給食組合では、すしの無料奉仕や視覚障害者福祉会では、マッサージなどとして大変喜ばれています。
——物品預託——
衣料品や日用品等の預託があり、県内の諸施設に入所している恵まれない人たちに払い出しをしています。

社協支部だより

十二月十五日野菜即売会

金山支部

金山支部(榎本奈良一郎支部長)は、十二月十五日午後一時から金山会館で野菜の即売会を開き、その売上金を歳末たすけあい募金などに当てることにしています。当日は、区や婦人会の協力でみかんや大根、白菜、米などを多数出品、区民のご協力をお願いしています。

うなぎやあまご放流

両又支部

両又支部(林孫一支部長)は、環境美化整備のひとつとして、来年三月ごろ大又川へうなぎやあまごの稚魚を放流する予定です。予算は約十万円。年々減る一方の川魚を増やし、大又川に自然をみながら楽しんでもらおうと、五年前から始めています。

盆踊りの保存と振興へ

五郷支部

五郷支部(下和田進支部長)は、年々すたれてゆく郷土芸能の盆踊りを保存し、振興させようと支部役員らは積極的に援助、協力をして地元民らに参加を呼びかけました。そして、支部ではこれからも助成金を出して協力していくことにしています。

交通安全の映画と講話

大泊支部

大泊支部(阪井武一支部長)は、十二月下旬に大泊公民館で町内の老人や一般の人を対象に、交通安全の講話と映画会を催します。協力は熊野警察署と交通安全協会。多数の参加を呼びかけています。



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

No. 7

## 新会長に足立祥典さん

### 吉田前会長は顧問として尽力

一身上の都合により退任の吉田結雄・前会長の後任として、十月二十五日開催の理事評議員会で協議の結果、十一月一日付で新会長に木本町の足立祥典さん(五八)が就任しました。

後任の副会長には、金山町の榎本奈良一郎さん(六一)が選ばれました。吉田前会長は、発足以来副会長をつとめ、四十八年の市社会福祉協議会の法人化後は会長として、その運営に努め

られ、この間、福祉センターの建設実現など福祉活動に大きな足跡を残されました。同氏は、今後も引き続き市社協の初代顧問としてご尽力くださいます。なお、新役員のみなさんは

次のとおりです。  
 会長 足立祥典(木本)  
 副会長 山本祇夫(有馬) 藤田利輝(有馬) 榎本奈良一郎(金山)  
 理事 中田芳弘(久生屋) 山本磯平(新鹿) 大西一弘(木本) 森岡一平(井戸) 山川富夫(有馬) 植田矩弘(神川) 舛屋勇(五郷) 横平常雄(飛鳥) 山口尚一(磯崎) 牧戸博(二木島) 田中幹造(井戸)  
 監事 大久保友吉(久生屋) 森本実(木本)



就任あいさつ

### 足立祥典

このたび理事会の議決により、社会福祉法人熊野市社会福祉協議会々長に選任されました。

私ごとき非才の者が会長に就任するのは、慚愧たるものがあります。吉田前会長はじめ諸氏の徳徳もあり、黙考の末、お引き受けすることになりました。

後任の副会長には、金山町の榎本奈良一郎さん(六一)が選ばれました。吉田前会長は、発足以来副会長をつとめ、四十八年の市社会福祉協議会の法人化後は会長として、その運営に努め

法人化成り、続いて福祉センターの設立等、心豊かな人々より寄せられた社協運営資金も四十万円に達し又賛助会員としてご協力の善意等私の生涯に残る嬉しさです。社協会長という名の為いくつかの役職を仰せつかりましたが、無学その職を傷つけたこと之亦申し訳ありません。今回市町村社協の法制化

当社は、前会長の吉田結雄先生の福祉に対する真摯な考え方、ご努力、それに坪田市長さまの深いご理解とご援助がありましたからこそ立派に運営し、繁栄してまいりました。吉田前会長には、顧問として今後共、会に対するご助言、ご指導をいただくこと

私永年正副会長を歴任、愚鈍無為に馬鹿を算えたのみ、

動することが大切だと感じています。一和顔愛護という言葉があります。私のこの言葉が好きで、私の福祉の理念であります。どうかこの意をおくみとりいただきまして、福祉活動に一層のご協力、ご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。最後になりましたが、会員の皆様のご健祥をご祈念申し上げ挨拶いたします。

懐かしい限りであります。この間市長さん始め多くのかたよりご指導ご庇護を賜りながらご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。市社協発足十九年機熟して



退任あいさつ

### 吉田結雄

「やさしさを隣人に」をスローガンに五十八年度赤い羽根共同募金運動も市民皆様の温かいご援助をいただき、また地区の婦人会、区、自治会、民生委員など関係者のご協力により、十一月三十日現在、二百五十万円余りの浄財が寄せられています。この募金は、住民に密着した地域福祉活動を展開していくための資金として一部還元され、それを各地区に配分いたし、各種事業の費用に活用

## ご協力ください

共同募金運動  
 歳末助け合い

また、十二月一日から運動が始まっています。年末たすけあい募金では、みんなそろって明るいお正月を迎えることができるようにと、関係者にご協力をいただき、運動を展開しています。(期間は十二月十五日まで)寄せられました皆様の義援金は、十二月中旬に市内の恵まれない人々を中心に寝たきり老人等に配分、贈与いたします。ご協力お願いします。



# “老年期を地域福祉の向上に生かそう”

## 九百人が集った老人福祉大会

市社協と市老人クラブ連合  
 会共催の第十四回「熊野市老  
 人福祉大会」は、十一月九日  
 市民会館で市内各地区十八老  
 人クラブの会員約九百人が出  
 席して開かれました。

大会は、第一部大会・第二  
 部芸能会に分けて開催され、  
 進行や核家族化の進展、青少

年の非行の増大など、今日の  
 社会情勢は市民生活に深刻な  
 影響を及ぼし、暗い影を投げ  
 かけ、福祉に対するかつてな  
 い対応が迫られている。

このときに当たり、ここに  
 老人及び老人福祉関係者が一  
 堂に会して、香りたかき老年  
 期を地域福祉の向上に生かし、  
 一丸となって五大目標の達成  
 に努めることを誓い、ここに  
 総意をもって決議する。

に寄与、活動が優秀——とし  
 て市社協と老人クラブ連合会  
 から次のみなさんが表彰、感  
 謝状贈呈を受けました。

【市社会福祉協議会】  
 ◇老人クラブ功労者―庵前武  
 雄(飛鳥)竹内幹人(二本島)  
 尾中虎藏(五郷)

◇感謝状―熊野ライオンズク  
 ラブ

【市老人クラブ連合会】  
 ◇老人クラブ功労者―片岡半  
 七(雨母)若山孝一(大泊)松  
 下なみよ(波田須)須崎ふじ  
 (金山)横平為雄(飛鳥)羽田  
 義貞(育生)

◇感謝状―中野恵生(木本)

### アトラクション 歌や踊り楽しむ

十人一団体に表  
 彰、感謝状贈呈

今大会で、地区老人クラブ  
 結成と運営に尽力、その発展

大会終了後開かれた第二部  
 の芸能会は、新鹿町出身のロ  
 ーオンレコード専属歌手、三  
 原佐知子さんの浪曲歌謡ショ



会員の踊り

ーを皮切りに、各地区老人ク  
 ラブの有志による歌や踊り、  
 大正琴などが次々と披露され  
 ました。

青春時代を思い出させる大  
 正琴の「かごの鳥」演奏にう  
 っとり聞きほれ、「おしん  
 音頭」や「黒田節」には盛大  
 な合い拍子が送られるなど、  
 舞台と会場が一つに溶け合っ  
 て、とても楽しいひとときを  
 過ごしました。

- 市社協支部(一八支部)は、  
 住民の地域福祉活動の発展の  
 ために各種事業に取り組んで  
 います。ことし、支部長に就  
 任されたかたは次のみなさん  
 です。(敬称略)
- 井戸 田中幹造 (新)
  - 有馬 山川富夫
  - 二木島 牧戸 博
  - 両又 横平常雄
  - 須野 雨母 佐藤隆山(再)
  - 遊木 浜地とのゑ
  - 新鹿 山本磯平
  - 波田須 森下次郎
  - 磯崎 山口尚一
  - 大泊 阪井武一
  - 木本 大西一弘
  - 久生屋 岡崎利喜男
  - 金山 榎本奈良一郎
  - 育生 田岡秋良
  - 神川 植田矩弘
  - 五郷 外屋 勇
  - 日進 九鬼禮作
  - 小阪 鈴原喜三郎

### むつび会の 新常任理事

くまのむつび会は、役員  
 の任期満了に伴い、五月十三日  
 の総会で役員を選任を行った  
 結果、新常任理事に次のかた  
 が就任されました。

◇会長 福山益雄(飛鳥町)  
 ◇副会長 大久保友吉(久生  
 屋町) 和田千枝(新鹿町)

(以上井戸町) 岩本茂代、室  
 谷ひでゑ(以上有馬町) 中田  
 英明(飛鳥町)



各地区老人クラブ会員出席で盛会の会場



市社協の表彰



老ク連合会の表彰



# 福祉関係者の宿願実る

## 特老「たちばな園」と精薄者更生施設「紀南ひかり園」がオープン

五十七年十月有馬町中曾に開園した特別養護老人ホーム「たちばな園」に続いて、ことし八月には同町山崎前に精神薄弱者更生施設「紀南ひかり園」が開園しました。「たちばな園」は家庭で十分な介護を受けられず、自由な生活を送っているお年寄りの収容施設で、「紀南ひかり園」は十八歳以上の精神薄弱者に作業指導や生活指導を通して更生を目指す施設です。ともにその建設実現は、関係者にとって長年にわたる宿願であっただけに、喜びはひとしおのものがああります。

両施設への入所を希望するかたは市福祉事務所保護係（九一四一一一内線二四〇）か同社会係（内線二三九）へお問い合わせを。



たちばな園の正面玄関



近代的浴室



居室

### 温かいお世話を 受けるお年寄り

たちばな園

社会福祉法人、杏南会運営の「たちばな園」は眼下に金山パイロットみかん園を見おろす環境の良いところにあり、現在五十人のお年寄りが園長以下二十六人の職員が温かいお世話を受けています。

敷地面積一万二千平方メートル、建物千四百七十一平方メートル、十三の居室と静養室、機能回復訓練室、寝たまま入浴できる特別浴場などの施設が完備しています。



モダンなひかり園正面玄関

### 自然と親しみ 人格の形成を

紀南ひかり園

「紀南ひかり園」は、虹の絵師として評判の山本良比古さんの才能を開花させたことで知られる愛知県大山市の「ひかり園」の姉妹施設で、運営

は社会福祉法人、清光会が当たっています。

市と南郡の精神薄弱者（児）をもつ親たちの十年間にわたる熱心な運動の結果、開園にこぎつけた待望の施設です。

一万平方メートルの敷地に居室棟やサービス棟など二千平方メートルの完備された施設では、現在三十九人の入園者たちが農耕、園芸など自然と親しみながらの人格形成の育成に取り組んでいます。



多目的ホール



居室（洋間）



社協玄関横に新設の電話ボックス

### 車いすのままでも 電話がかけられます

十一月十七日、社会福祉センター玄関横に車いす用公衆電話が設置されました。

南郡、熊野電話局管内では初めてののもので、県下で二十二個目です。

従来のもとは異なり、車いすのまま電話がかけられるよう障害者のために工夫と配慮が施されており、手すりや車いすに乗ったままでも開閉できるドア、受話器の高さ（八〇センチ）広い室内などに特徴があります。

市内のあちこちにこのような公衆電話が設置されればいいですね。



# 力いっぱい運動会

## 身障者連合会・母子福祉会

市内の福祉団体の中で、熊会を行い、楽しいひとときを野市中心身障者連合会と熊野過ごしました。市母子福祉会がそれぞれ運動市身障連では、五月二十二



身障者連合会の運動会(木本小講堂)



母子福祉会の運動会(消防署下)

日に木本小学校講堂で会員や保護者、ボランティアなど約九十人が参加し、風せん割りや紅白玉入れ合戦など各種目に健康な汗を流しました。賞品もどっきりで、ゲームに応援にたいへんきわつた一日でした。また、市母子会では、十月

### 大内山へ遠足 健康体操会員

健康体操の会員五十四人は十一月十一日、大内山村の頭之宮神社へ秋のバス遠足を実施しました。



心配された天気にも恵まれ会員らは神社参拝の後、森岡一平先生の指導で新鮮な空気を胸いっぱい吸いながら青空の下、一時間ほど健康体操(写真)を行い体をほぐした。びをしました。会員の元気な笑い声が出た。響きわたり、心身ともにさわやかになりました。短い一日遠足でしたが、会員らは元気いっぱいでした。

後、手弁当に舌つづみをうちながら、午後からはボウリングゲームやボールを使った遊

### ヘルパーの派遣一部有料に

身体上、精神上的の障害があり、日常生活に支障のある家庭に対して、家庭奉仕員(ヘルパー)を派遣して、その世話をする制度があります。これまでは無料でしたが、国の制度改正に伴い、奉仕員の派遣は時間単位になるとともに、一部費用を負担していただくことになりました。費用は、前年所得税課税世帯三万円未満は一時間二百九十円、同三万円以上は五百八十円です。(被保護世帯と非課税世帯は無料)

奉仕員の派遣を希望する場合は市社協か市福祉事務所と係へ申し込んでください。

### ヘルパーさん日記



私は  
新米ヘルパー  
今野やよみ

私は通常ヘルパーさんが病気や家庭の都合等により長期欠休された時、臨時で「ヘルパー」という身の回りの世話係として勤めてきました。五十八年一月三十一日付をもちまして退社された磯部さぬさんの後を引き継ぎ、四月からヘルパーの一員として、勤めさせていただいております。相手が物ではなく、人間であるという事。その為、失敗など出来な

四十七年一月奉仕員として勤務、早や十年もすぎ思い出は数多く一つ一つが昨日のことのように思う。幼児だった子供達は立派に成人して、今では美人な娘さんになりただ驚くばかりです。



十年を  
ふりかえって  
川畑トシ

残念なのが五年前亡くなった治成君とお母さんの死、今でも私は忘れることが出来ない。幼児の頃、病院で知り合ったA子さんの話をする。十年の間嬉しいこと悲しいこと、一つ一つが私の胸から忘れることはない。今は元氣な子供達とたのしく過ごしている。私は幸福だ。もう若くはないが老母や身障児者達の手となり足となり若い人達に負けないように頑張っています。



信頼される  
ヘルパーに  
東 光江

四十六年三月、夫が他界し誰でも経験する空しい期間を埋めるため、新聞広告で募集した。始めは務まるかと不安でしたが、先輩や上司の温かい指導により信頼されるヘルパーになりたいと一生懸命頑張りました。五十二年十一月一日から十七日まで代々木オリピック青少年センターで七日間の研修会に出席させて頂き、老人、障害者(児)の病状の様々、映画、講演、実技等学び、何の知識もない私にとって大変よい勉強になり、自信を持って奉仕活動が出来るようになった事を感謝しています。



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

No. 8

## 手話のつどい開かれる

聞こえる者と聞こえない者が手話を通して、語らい、協力し合い、理解し合って交流を深め、その仲間同志の連帯の輪を広げよう——と、第二回紀州地区手話のつどいが二月十二日、市社会福祉センターで開催されました。

このつどいには、紀州地区で手話活動を行っている熊野

学校前を流れる西郷川の清掃をする木本高校生



## 福祉活動通じて社会参加を

協力指定校に木本小、有馬中、木本高の三校

市社協では、県社協の指導を受け、児童、生徒のボランティア活動普及事業の一環として、市内の小、中学校と高等学校の中から木本小学校、有馬中学校、木本高等学校の三校を福祉協力校に指定し、協力をお願いしています。

学校教育の中で、社会福祉の知識と理解を深めてもらい、福祉活動の実践を通して社会参加へのきっかけをつくっていくというもので、各指定校では先生方の指導のもとに、生徒会や児童会、クラブ活動を中心に各種のボランティア活動に取り組んでいます。

その中で木本高等学校では、生徒会とクラブ活動が中心となり、老人福祉施設の慰問や学校周辺の美化運動、盲人のための点字活動、募金運動、献血運動など、体験学習を目的とした奉仕活動や福祉関係行事への参加を活発に行っています。



手話劇「白雪姫」の一場面

### 世帯更生資金貸付制度

【住宅資金】◇家を増、改装したいが、資金不足で困っているかた対象|貸付限度額九十万円、償還六年以内。

【更生資金】◇生業を営みたいかた対象|八十四万円、七年以内◇生業、就職するのに必要な知識、技能を習得したかた対象|一万四千円(月額)、六年以内◇就職するのに必要な資金|七万円、六年以内。

【修学資金】◇子供の進学に必要な学資、支度費|大学二万七千円、短大と高専二万六千円、高校一万八千円(月額)、支度費七万円、二十年以内。

### 貸付のご案内

【療養資金】◇負傷または疾病の療養に必要な経費に困っているかた対象|二十万円、五年以内。

【生活資金】◇生計中心者が療養期間中で、家族が生活に困っているかた対象|四万八千円(月額)、五年以内。

市助け合い金庫  
◇市内に住んでいるかたで、急に生活に困っているかたにお貸しする資金|貸付限度額十万円、償還一年以内。

これら貸付資金についてのお問い合わせは、民生委員さんまたは、市社協(福祉センター内)で受け付けていますのでご相談ください。





↑午前八時半、そろってセンターを出るヘルパーさん(右から今野さん、川畑さん、東さん)



← 天気の良い日にはふとん干しも



→ おとしよりの衣服を洗濯

「日々是丹精」です

# ヘルパーさんの日

「いつてきまーす」と、家庭奉仕員(ヘルパー)さんは今日も元気に、福祉センターを出動します。出勤するのは、老人担当の今野やよみさん、身体障害者担当の東光江さん、心身障害児担当の川畑トシさんの三人です。

奉仕員さんの仕事は、訪問



## 検討すすむ

### ねたきり老人、障害者の一時預かりと入浴のサービス

今、市内には、不自由な生活を送っている老人のための特別養護老人ホーム「たちばな園」と満十八歳以上の精神薄弱者のための更生施設「紀南ひかり園」の二つの民間福祉施設があります。

そして、それぞれ地域に密着した事業を行っています。

市社協としては、地域福祉・在宅福祉サービスを推進してゆくために、これら施設と連携をとりつつ、次のことについてご協力をお願いし、検討をいただいています。

#### 一時預りについて

ねたきり老人や障害者(男)をかかえている家庭の人が、冠婚葬祭や旅行、急な用件で止む得ず留守をしなければならぬとき、その人の介護や世話に困っている人たちが相当あります。

市社協ではこれらの現状をふまえ、一時預りについて各施設にお願いしたところ、「園の状況の許す範囲で協力したい」という積極的なご返事をいただきました。

#### ねたきり老人の入浴

「たちばな園」には、最新のねたきり老人専用入浴施設が完備されています。

この施設を自宅でねたきり老人の入浴に困っている家庭の人たちに利用してもらえよう、園に協力を要請し、検討していただいています。これらのことは福祉事務所や施設と連絡をとり一日も早く実施できるようにしたいと思っています。



先人の食事や掃除、洗濯、裁縫、買い物などの家事を中心に、介護、その他必要なお世話を「日々是丹精」の気持ちで、その人の手足となり、奉仕活動をしています。  
 今月は、ある日のヘルパー



髪の手入れ

さんの一日を写真でみなさんに紹介しました。  
 ヘルパーさんに来てもらいたいときには、市福祉事務所(電九一四一一)か市社協(電九一三〇五三)へ申し込んでください。



お湯に浸したタオルでいいねいに体をふくヘルパーさん

### ●●●●●●●●●● ご活用ください

#### 社会福祉センター

市社会福祉センターは、駅の陸橋を渡って五分ほどの便利な所にあり、誰れもが利用できる施設です。大いにご活用ください。  
 主な設備は、三百人収容の舞台付き集会室、囲碁や将棋のできる老人憩室、交通事故などの身体障害の機能回復にリハビリ用具の整った機能回復訓練室、料理講習室、屋上ゲートホール場、浴室(五人以上のみ)などです。  
 利用手続きは、個人の場合は当日センター利用簿に記入、五人以上の場合は使用許可申請書を使用五日前までに提出して、許可を得てください。  
 利用時間は、午前九時から午後九時まで(個人は昼間のみ)で、日曜、祝日、年末年始は休館します。利用料金は、社会福祉関係者等は無料です。  
 例年、三月から五月にかけては利用団体が増えますので、お早く申し込んでください。(電話でも予約できます)

### ① 小さな奉仕



#### 障害をもつ人達とともに

久生屋町

藤村 旬

熊野に帰ってきた年の夏(昭和五十六年)、谷さんから、「雑草の広場」のキャンプに誘われた。これが、熊野における障害をもつ人達との出会いであった。キャンプの後、和泉さんから手紙をいただく

た。「お世話になりました」そんな、お世話になったのは、こちらの方なのに...。それから和泉さんやみち子ちゃん、水上さん、中村さんたちとも知り合い、いろんなこと(ハイキングやパーティーなど)をやってきたのだけれど、多くの生活の楽しさの大半は、この人たちとのかわりの中にあつたように思う。昨年、仕事がなくて、半ぐらいプラプラしていた。そんな時、よく、この人達とこころへ訪ねていった。善意のかたまりのような人達で、会っていると心が安らいだ。仕事のない不安やうしろめたさも、忘れることができるようになった。まさしく「救い」だった。

だから、もちろん、ぼくはボランティアなどとは思っていない。(むしろ、ぼくこそ受けている方なのだ)みち子ちゃんが言っていたように、この世とともに生きている仲間、としか思っていない。そんな仲間の輪も、少しずつ大きくなってきたようだ。今年富士山に登ろう、なんて言っている。遊び友達、酒飲み仲間であるだけでなく、何かをつくりあげる仲間ではないね、と思いつつ。

### ●●●●●●●●●● ボランティアについて

①

私たちの日常生活の中で、「ボランティア」という言葉をよく耳にしたり、口にしたことがあるありませんか。この言葉の由来は、ラテン語の「ボランティア」に語源を發し、今日使っている英語の「ボランティア」になったといわれています。「志願兵、義勇兵、自ら進んで提供する、自発的に申し出る」という意味です。

私たちの地域には、目の見えない人、耳の聞こえない人、手・足の不自由な人、わたきりの人など、さまざまな障害をもつ人が生活するのに困っています。

これらの人々には、個人、地域で暖かい愛の手をさし、助け、相助け、相励まし合って、生きていくことが必要ではないでしょうか。

(次回へ)



身障者キャンプのお手伝い



### ご利用ください 善意の技術と労力

物心を問わず、広く皆様の善意をお預りし、援助を必要とする人々に贈って、健康で明るい社会をつくらうと、市社協の中に善意銀行を設立したのが五十七年の四月。

以来、二年近くの間に約九百八十万円の現金預託を始め、物品や、技術、労力についても、たくさんの方々から預託していただき、厚くお礼申し上げます。

善意銀行には①現金②物品

③技術・労力——の三口座があり、いつでも預託、払い出しができますので、希望される方は市社協まで申し出て下さい。

なお、三口座のうち技術・労力口座に預託されている方々と預託内容は次のとおりです。ご利用ください。

**登録者のみなさん**

紀南視覚障害者福祉会・老人ホーム慰問―針・灸・マツ

サイジの奉仕▼県鮎業環境衛生同業組合紀南支部―老人ホームの慰問―寿司の無料奉仕

▼紀伊仏教青年虚空会―施設慰問、募金活動▼市民生、児童委員▼各種相談、わたさき老人慰問▼熊野手話サークル「竹の子」―手話指導▼森岡一平―健康体操、写仏指導▼岩桐本正男―リハビリ指導▼岩本茂代―各種相談▼吉田宮子、浜地とのま―生け花▼森本邦七―通院時の付き添い、賞給

▼前川早苗、細尾節子、内田孝典、平石幾郎、藤岡俊、谷川政登、藤村旬、今西精一郎、立嶋昭二、藤社勲、山崎文典、浜口幸治、山本照郎、山本佐江子、中田重頭、楠友輔、南進、湯浅正吾、阪下八重子、山口弘、九鬼津代美、赤松斉、永田勝彦―以上、障害者の介護―広瀬紘慈、渡辺節子―リハビリ指導、相談―中節郎、団野奈賀子―なたり老人の介護。

(敬称略)

(表I) 募金結果

地区	共同募金 円	歳末たすけあい募金 円
須野	6,500	5,600
母木	36,000	24,000
二島	106,005	38,945
遊木	75,200	18,600
新波	180,340	102,700
磯田	41,300	32,200
磯崎	125,850	75,200
大泊	42,800	25,350
木本	636,894	350,500
井戸	403,810	237,385
有馬	420,550	346,043
久生	81,900	52,300
金山	72,500	40,000
飛鳥	231,795	121,300
五郷	145,777	176,450
神川	100,810	75,400
育生	100,685	74,575
その他	108,409	1,118,944
合計	2,917,125	2,915,492

(表II) 歳末たすけあい募金配分表

配分対象	配分金 円
生活保護世帯	432,000
標準世帯	1,120,000
ねたき老人	276,000
在宅重度身障児(者)	44,000
在宅重度精障児(者)	56,000
長期入院患者	190,000
更生医療者	65,000
交通遺児	36,000
市外特別養護老人ホーム	30,000
市外精薄者施設入所者	15,000
市外精薄児施設入所者	15,000
市外精薄施設入所者	21,000
市外養護施設入所者	104,000
市外松葉園	100,000
市外松葉園	122,000
市外松葉園	82,000
市外松葉園	20,000
市外松葉園	82,026
市外松葉園	105,466
合計	2,915,492

昭和五十八年度の「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」は、市民の皆様のご協力をいただき、心温まるご援助をいただき、総額五百八十三万二千六百七十円の実績となり、前年度を五十八万円上回りました。ご協力ありがとうございます。

赤い羽根共同募金

目標準額百八十七万一千円を大幅に上回る二百九十一万七千二百二十五円の実績となり

## 募金額五百八十三万円

市内の恵まれない人や施設に入所している方々にわずかながらも見舞金を贈り、明る

この募金による浄財はすでに三重県共同募金会へ送金し、送金総額の一部が市社協へ地域福祉活動費として還元されることになっていきます。

そして、このお金は支部社協へ配分し、それぞれの地区の福祉活動のために活用していただきます。

歳末たすけあい募金

この募金には、市福祉事務所主催による歳末チャリティバザールの収益金四十五万九千二百四十六円と個人の方々からご芳志していただきました四十三万二千四百三十三円が含まれています。

## 支部だより

市街地に近く、美しい砂浜の海岸を持つ同町には、年中観光客が訪れ、バスを待つ間に飲んだり食べたりしたあとのタバコのすいがらやジュースの空き缶、ナイロン袋などが常に散乱し、町内の悩みの種となっていました。

夏の海水浴シーズンには、一日でくずかごいっぱいになるジュース缶が捨てられるほどで、世話をしている阪井支部長や会計の向井たねさんは、毎日のようにゴミ袋に回収しては月一回の不燃焼物収集の日まで、自宅の庭に保管するなど、苦労をしています。

同支部では、このほか戦没者慰霊碑周辺の清掃や、町内清掃協力(六月ごろ)、敬老会(九月)、高齢者、身障者慰問(二月末)、戦没者慰霊祭(三月)など、地域住民のしあわせと明るく健全な町づくりに向けての積極的な活動をくりひろげています。



清潔な町づくりに取り組む

大泊支部

バス停の空き缶回収



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

No. 9



J・R・Cの部旗とクラブ員

## さらに福祉機能の充実へ 社協理事会・評議員会で決まる

五十九年度の社協理事会・月二十八日午前十時から福祉評議員会(合同会議)は、三センターで、理事・評議員三十七名が出席して開かれまし

た。会議では本年度事業計画算などを審議し、各議案とも承認されました。昨春秋の社協法制化にともな、市社協も地域福祉推進の中核的機関としての機能を充実すべく、今年度予算、事業計画の中で在宅福祉、地域福祉活動の充実を目指しています。(予算等は次ページ)

## アフリカ干ばつ募金などに協力

### 木本高校のJ・R・C(青少年赤十字)クラブ

木本高校J・R・Cクラブ(榎本康三・小林孝先生・部員六名)は、社会福祉への認識を高めようと、体験と学習

を通して部活動に取り組んでいます。クラブを結成して二十年、部員たちは先輩の意志を継いで、老人施設の慰問やアフリカ干ばつ募金(二円募金)、学校内外の美化運動など、生徒会とも協力して、社会福祉活動に積極的に参加しています。また、夏休みには、日赤三大学習(家庭看護、救急法、水上安全)を専門の講師を招いて学習するなど、先生も部員らも頑張っています。小林先生は「生徒たちとねたきりや一人暮らし老人宅を訪問して、励ましのことをばをかけてあげたい」と、活動に意欲を燃やしています。

## 在宅福祉の充実めざして

市社協は、ねたきりや一人暮らし老人、重症、重度の心身障害児(者)等に、日常生活上の介助、介護、食事、入浴、訪問看護、友愛訪問などのサービスを中心とする「在宅福祉サービス」を重点に取

り組んでいくことを先の理事会、評議員会で決めました。社会的に在宅福祉に対する社協への期待は大きく、その対応として、早急に「在宅福祉サービス推進協議会」(仮称)を設置し、その推進、運営に努め、準備することになっていきます。例えば、ねたきり、一人暮らし老人の入浴サービスや食事サービス、友愛訪問などを地域住民やボランティアが積極的に活動に参加して、市社協が主体となり、地域ぐるみで福祉のまちづくりをめざすものです。

## 悩みごと、困りごとは心配ごと相談所へ



心配ごと相談所では、生活上のあらゆる悩みごとや困りごとの相談に応じ、適切な助言と指導を行って、その問題解決に協力しています。生計、年金、住宅、結婚、離婚、財産、事故、職業生業サラ金、家族関係などの心配ごとは、どんなことでも相談員が親切にいねいにアドバイスをしてくれます。費用は無料で、秘密は固く守ります。お気軽にお越しください。▽相談日：毎週水曜日(水曜日が祝祭日のときは翌日)▽場所：市社会福祉センター▽時間：午前九時～午後四時なお、電話での相談も結構です。(☎九一三〇六八)





**ひかり園生と  
地びき網引く**

精薄者更生施設「紀南ひかり園」の入園者四十五名は四月八日、井田海岸で紀南手をつなぐ親の会会員らと地びき網をしました。この催しは鶴殿村手をつなぐ親の会の招待で実現したもので、地びき網のあとは歌や踊りの楽しいひとときを過ごしました。



**カメラポ**

**ぼくもわたしも**

**ボランティア**

**地域福祉を推進  
在宅福祉**

**社協の59年度事業と予算**

本年度の事業では、地域福祉、在宅福祉推進のための基礎づくりに重点を置いている。

**『主な事業』**

- ▼会務の運営Ⅰ(一)役員会・運営委員会(各種貸付調査委員会)の開催。(二)奉仕センター及び善意銀行運営委員会。(三)各部会の開催。
- ▼社協体制の強化Ⅰ(一)役職員の研修会。(二)支部組織の強化と活動の推進。(三)社協強化計画(三か年)の作成。(四)部会設置(地域福祉、在宅福祉サービズ)の準備。(五)地区住民との懇談会等の開催。
- ▼広報活動の強化Ⅰ(一)社協だよりの発刊。(二)作文、標語の募集。(三)ピラ等の配布。
- ▼地域福祉活動の推進Ⅰ(一)健康体操の実施。(二)民間施設とのつながりと利用。(三)社会福祉大会の開催。
- ▼福祉関係団体等の育成強化及び協力。
- ▼低所得者対策Ⅰ世帯更生資金、高額療養費、市助け合い金庫の貸付業務。
- ▼青少年の健全育成Ⅰ(一)福祉協力校の指定と助成。(二)こども会等の育成と助成。
- ▼心配ごと相談事業。
- ▼共同募金、歳末たすけあい募金の実施と協力。
- ▼生活環境の整備促進事業Ⅰ町を明るく、き





### 小さな奉仕 ②

## 手話サークルに参加して



木本町  
長嶋三千代

私が手話サークルに入って一年足らずがたちました。きっかけは、友人に誘われて入り、初めのうちは簡単なあいさつや単語、指文字などを習いました。指文字は覚えなくても、なかなか出てこず、簡単なように見えて、とても難しいものでした。

それに、いくら簡単な言葉でも、一週間たつと、ほとんど忘れてしまっていることが多く、また、いかに会話文などの練習をしていても、実際手話を自分で使って話をするのでは、全く違うということがわかりました。サークルでのいろんな行事

の中で、手話劇が一番印象に残っています。題は「マッチ売りの少女」でした。初めは、役についていかなかったのですが、劇の日がずれ、高校生が出られなくなったために、急に役がまわってきてしまったのです。役柄は、主人公の空想の中に出てきて、主人公と一緒に遊ぶ少女の一人でした。セリフは少なかったのですが、練習期間が二週間程しかなく、セリフと手話をスムーズにし、手話の動作を大きくすることが、いかに難しいこ

とか、よくわかりました。そして、いざ舞台上立つと間違わないように、忘れないようにと思うだけで、うまく出来たかどうかなどは、わからないで終わってしまいました。そうした中で、社会人一年生として過ごしてきた時には気づかなかったことが、ふり返ってみて、社会人の時と学生の時とは、全く違った生活をしていることを、手話サークルを通じて、新たに気づき、発見しました。

## あなたもできる ボランティア活動 ②

ボランティア活動の基本的な性格は、三つの原則をあげることが出来ます。

一、自発性・自主性

誰からも強制や強要されることなく、自分自身が主体的に考え、自分からの意志と判断で、積極的な援助活動に取

り組むことにあります。  
二、福祉性

ボランティア活動がいくらか自発的な行為といえども、自分勝手な活動では、困ったものです。その活動は、常に社会の福祉向上に向けられるべきものです。

三、無報酬性

ボランティア活動は、自分自身の考えで判断し、実践することです。から、むくわれることを期待する性格のものではありません。又、経済的な報酬を期待してはなりません。以上の他に、政治性、宗教性を含まないことです。



### 「たのび園」で歌や踊り

社協金山支部と金山健康を守る会は四月十一日の夜「たのび園」を慰問しました。一人一人のお年寄りに、暖かい声をかけながら、お菓子を配った後、大広間で自慢のカラオケで昔懐かしい歌を聞かせ、お年寄りたちも美声に、うっとりしていました。

ゲートボールを通じ、子供と若者、お年寄りの三世代が交流を深めると共に参加チームで熱戦を繰り広げました。四月十五日、木本小学校で熊野青年会議所が主催。子供らは、お年寄りの指導を受けながら和気あいあいとゲートボールを楽しんでいました。

### ゲートボール大会も活躍の場



れいにする運動、生活改善運動。

### 『一般会計四千万円』

市社協の事業推進のために使われる一般会計予算は次のとおりとなっています。

- 歳入◇会費五十五万◇補助金二百八十九万八千◇配分金四百七十一万◇委託金八百七十四万◇寄付金四十万◇財産収入四十万◇繰入金二百一十一万三千◇諸収入百五十五万◇繰越金三十二万◇合計四千八百一十一万。
- 歳出◇会議費三十万◇事務費六百四十三万四千◇事業費九百四十七万◇共同募金配分事業費四百四十一万◇委託事業費七百八十五万◇諸支出金百三十四万七千◇繰出金二百七十八万九千◇借入金返済金七百八十八万四千◇子備費十萬◇合計四千八百一十一万。
- 『特別会計五千八百万円』
- ◇心配ごと相談所二十一万四千円◇市助け合い金庫三百七十一万四千円◇高額療養費貸付事業二百八十四万四千円◇職員退職給付金積立二百九十六万六千円◇市社協運用基金積立金四千七百三十五万八千円◇市善意銀行二百五十一万三千円◇合計五千八百二十六万六千円。



# 桜の下で「一、二、三」

## 健康体操会員、池峰へ遠足

春の陽気に誘われて、健康体操の会員五十名が、四月十七日に桜の花の咲きほころぶ



昼食後の楽しいひととき

公園では、森岡一平先生の指導で青空の下、新鮮な空気を胸いっぱい吸いながら、体操で体をほぐし、ゲームや踊りで気持ちよい汗をかきました。用意してきた手弁当をひろげていただいたあと、ダムへ出かけ、みんなで記念写真を撮りました。

会員らは、遠足の疲れも見せず、若返ったように元気いっぱいでした。

なお、この秋にも再び遠足を実施する計画です。

### リハビリの指導 助言に桐本さん

市社会福祉センターでは、脳血管障害後遺症（脳卒中後）の肢体不自由（や障害者）の方々の機能回復（リハビリ）

で丹念に磨き上げる仕上げの段階の大事な手作業で、根気と力のいる仕事です。

片岡繁三社長は「不自由なからだでありながら真面目でよく働いてくれます」と、暖かい声援をおくっています。

また、的場さんは、雑草の広場の会員として、同じ障害を背負う仲間たちと共に、会活動に参加し、みんなの世話をしています。

今回から「働く障害者」の姿をみなさんにご紹介します。



### 那智黒石を磨く 的場俊文さん (29)

### カンパリ テマス

仕事は那智黒石の加工（形の出来上がった製品をヤスリ

指導する桐本さん(右)



のために、桐本正男先生がボランティアとして、専門指導と助言を行っています。

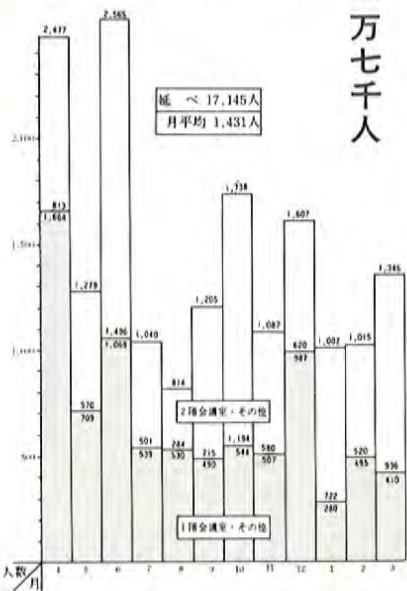
桐本先生は、果職員として長年、福祉関係の仕事に従事された後、熊野病院（精神・神経科）に勤め、このほど退職されました。「今後は余生を社会奉仕に活かし、従来の訓練に加えて、教育進路相談治療機関の紹介など市民のお役に立ちたい」と意欲を燃やしています。

指導を受けた方は、福祉センターまでご連絡下さい。

### センター利用者一万七千人

昨年度の福祉センターの利用者は過去最高の、延べ一万余七百四十五人でした。

会議や研修会、講演会、展示会、そして、障害者の機能回復訓練、老人のための娯楽施設として多種多様に利用され、地域住民の福祉活動の拠点として役割りを果たしています。



### 支部だより

#### コイの稚魚放流

##### 井戸支部

井戸支部（田中幹造支部長）では、井戸川の自然を呼び戻そうと、四月十四日にコイの稚魚を放流しました。（写真）



コイの稚魚の放流は井戸川の環境保存のために、数年前から毎年行っているもので、

#### 防犯灯を設置

##### 金山支部

金山支部（榎本奈良一郎支部長）では、毎年、五、六灯の防犯灯を町内の各所に設置して、住民に喜ばれています。

住民の不安を少しでも解消して、明るく、住みよい町をつくらうと、支部が市の補助（半額）と合わせて、全面的に協力しているものです。

榎本支部長は「五年前から始めているが、非行防止にも役立っており、これからも増やしたい」と言っています。

支部と地域住民が一体となって取り組んでいる事業です。今では、大小さまざまな鯉が泳ぎ、町民の目を楽しませています。



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

№. 10

## 福祉の町づくりを目指して

### 社協理事会・評議員会で決まる

六十年年度の社協理事会・評議員会(合同会議)は、三月二十二日、福祉センターで、理事・評議員三十名が出席して開きました。

予算などを審議し、各議案とも原案どおり承認されました。事業計画の中では、社協法制化に伴い、六十年代から五か年間に社協体制並びに機能の強化を図り、福祉の町づく

りと地域福祉の推進に向けての「社協基盤強化計画」が含まれており、地域福祉活動推進の中核的役割を果たすことを重点目標としています。

また、本年度は役員任期

が満了になったため、新役員を選任が行われ、会長に足立祥典氏が再任したほか、副会長三名、理事十一名、監事二名を決めました。

(予算などは次ページ)

#### 新役員のみなさん

会長	足立 祥典(木本)	理事	西 道夫(新鹿)
副会長	藤田 利輝(有馬)		九鬼 禮作(飛鳥)
	山本 祇夫(有馬)		田中 幹造(井戸)
	榎本奈良一郎(金山)		山川 富夫(有馬)
	榎本 慶吾(久生屋)		高本 亥年生(木本)
			植田 矩弘(神川)
			外屋 勇(五郷)
			横平 常雄(飛鳥)
			嶋崎恭太郎(磯崎)
			牧戸 博(二木島)
監事	大西 一弘(木本)		山口 好一(井戸)
			(敬称略)



子供も参加しての浜掃除



浜に看板を立てる住民

## 南有馬の浜掃除に協力

### 環境美化に参加する社協支部

市社協では、町を明るく、きれいにする運動として、町内の美化、道路、河川、公園、神社、仏閣の清掃、そして、花いっぱい運動などの生活環境の整備促進事業を推進しています。

住民を取りまく様々な環境の中で、地域の住民が積極的

に活動に参加して、住みよい町をつくっていくというものです。

また、他の社協支部でも、環境の美化運動に力を入れており、町内に立て看板を設置したり、チラシを配るなどして、住民に美化運動への協力と参加を呼びかけています。

そして、地域のひとつひとつが、社会福祉活動に積極的に参加することによって、明るく、住みよい町づくりに取り組んでいます。

#### 市社協基盤強化計画

一昨年の社協の法制化に伴い、法制化された社協にふさわしい体制整備を図り、地域福祉活動の中核的役割を果たそうと、次のような重点目標をかかげ、五か年計画で社協基盤の強化を推進していくことになりました。

- 一、組織体制の整備
  - 支部社協の育成と強化
  - 委員制の充実強化
- 二、事務局体制の整備
  - 職員体制の整備
  - 財政基盤の確立
- 三、財政基盤の拡大
  - 自主財源の拡大
  - 福祉基金一億円の達成
- 四、事業(活動)の強化
  - 調査活動の実施
  - 在宅福祉活動の推進
  - 広報活動の推進
  - ボランティア活動の推進



# 社協体制を強化 60年度事業と予算

本年度の事業では、社協体制を強化し、老人、障害者などを始めとする、福祉対象者への在宅福祉サービスの充実重点を置いています。

## 【主な事業】

- ▼会務の運営 役員会、運営委員会の開催
- ▼社協体制の強化 社協基盤強化計画（五カ年）の実行
- ▼地域福祉活動の推進 健康体操の実施、老人福祉大会（十一月）の開催

- ▼福祉関係団体等の育成強化及び協力など
- ▼社会福祉センター及び奉仕活動センターの運営
- ▼福祉囲碁、将棋大会の開催
- ▼「一般会計三千九百万円」市社協事業推進のために使われる一般会計予算は約三千九百万円です。（下図参照）
- ▼「特別会計六千二百万円」心配ごと相談所二十万四千円
- ▼市助け合い金庫三百二十五万四千円
- ▼高額療養費貸付事業二百八万五千円
- ▼職員退職給与金積立金三百六十四万八千円
- ▼社協基金積立金五千五百三十三万八千円
- ▼善意銀行二百五十一万六千円。



理事会・評議員会

# あなたの町の 民生・児童委員

日常生活上の身近な相談相手、あるいは世話役として、あなたの町に民生委員（児童委員）が活躍されているのをご存じですか。

民生・児童委員は、厚生大臣が地域住民の中から社会福祉に熱意のある人を委嘱し、地域福祉の仕事をかされた奉仕者として、福祉事務所、社会福祉協議会などに協力して、明るく、住みよい町づく

り、社会づくりのために活動しています。委員の身分、職務などについては、民生委員法に定められており、三年の任期を地域住民の福祉増進のために尽さ

れます。民生・児童委員の主な職務は、地域の中で常に調査を行い、住民の生活状態を明らかにしておくなければなりません。そして、社会福祉の援助を必要とする人を発見したら、福祉事務所その他の関係行政機関に連絡し、保護指導を行うことを第一としています。その活動は、社会奉仕の精神で保護指導に当り、社会福祉の増進に努めています。

## 〈主な活動内容〉

- ▽わたさきり老人、ひとりぐらし老人の調査、慰問。
- ▽生活保護に関する協力と保護指導。
- ▽老人ホーム等に収容する必



調査する民生委員

## 社協支部長 さんご紹介

市社協では、地域住民に密着した福祉活動を推進し、明るく住みよい町づくりを目指しています。

支部は十八校区で組織し、それぞれ、独自の事業（敬老会、慰霊祭、河川の掃除、町内の美化運動、わたさきり老人の慰問など）を計画、実行しています。



波田須支部長  
森下次郎さん



遊木支部長  
浜口正親さん



須野・甫母支部長  
佐藤隆山さん



磯崎支部長  
嶋崎恭太郎さん



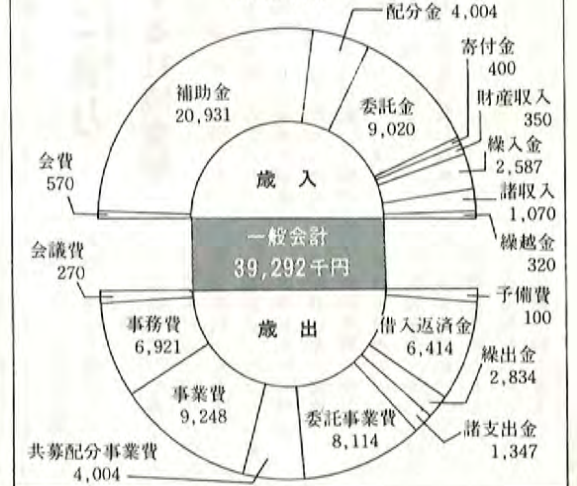
新鹿支部長  
西道夫さん



二木島支部長  
牧戸博さん

## 60年度一般会計予算

(単位千円)







ねたきり老人を

要のある老人の相談と連絡。  
 ▼家庭奉仕員派遣に関する事業に協力。  
 ▼世帯更生資金、市助け合い金庫、母子寡婦福祉資金の貸付に関する調査、協力。  
 ▼在宅福祉サービスへの協力の参加、協力。  
 ▼各地域における奉仕活動への参加、協力。  
 ▼福祉増進に必要な各種証明事務など。

### 民生・児童委員のみなさん

- 【須野町】森本つや子
- 【浦母町】佐藤隆山
- 【二本島町】井本昭作、牧戸博
- 【遊木町】鬼頭和弘
- 【新鹿町】端無眞悟、南本生
- 【磯崎町】湊英樹、安藤美千代
- 【大泊町】原田晴吉
- 【木本町】土口妙、亀井樽好
- 【中森寛、中林正樹、高本紀子
- 【田和梅吉、清水珍子、森本実、中村豊、三輪富久子
- 【井戸町】大谷清、赤坂種彦、三角田慎二、片岡寿子、森岡一平、松田ちか、片山田鶴子

#### 谷川志津

- 【有馬町】南元志、山川徳一
- 山下としゑ、根引正俊、鈴木憲夫、村井了二、上地奈良子
- 【久生屋町】崎六三郎
- 【金山町】榎本奈良一郎、島田弘男
- 【育生町】福山修男、田岡秋良、山崎国治、永田充穂
- 【神川町】倉屋功、正福政敏

#### 植田矩弘、長村千代子

- 【五郷町】原田伸顕、中種一、坪井平二、柚木茂堯、瀬戸美智子
- 【飛鳥町】辰本明、九鬼禮作、久保寛二、林孫一、北孝三、以上、六十名です。
- 福祉に対する要望や悩みごとなどがあれば、お気軽にご相談下さい。

〈敬称略〉

### 小さな奉仕 ③

#### 日常生活と手話



有馬町 山門 敏也

ことばが話せない、耳も聞こえない……そのような人たちとお話ができたらとても素晴らしいことです。

はじめて、ろうあ者と出会ったとき、旺盛なバイタリティーと、勘の良さ、性格の明るさに感銘しました。

熊野、新宮、串本の手話サークルと常に交流の場をもって親睦を深め、一緒に楽しんでいきます。

手話教室へは娘と一緒に通っていますが、手話を覚えて便利だと思ふのは、来客のとき、娘に「お茶を出してくれ」とか、「お酒、ビールを持って来い」とか、気付かれずに指図できることです。

「よし、彼らと友達になろう」という思いが手話教室へ通うきっかけとなりました。

手話サークルでは、手話を覚えるかたわら、クリスマスパーティー、ボーリング大会、手話の集い、潮干狩りなどの行事を通じて、紀伊長島、尾鷲、

### あなたもできる ボランティア活動 ③

ボランティア活動というと、何か特別のことのように思われがちですが、身近なこと、簡単なことを大切にしていれば、活動から始めるのがよいので、では、どのような活動があるのか述べていきます。



神川支部長 日進支部長 小阪支部長 久生屋支部長 井戸支部長 大泊支部長  
 植田矩弘さん 九鬼禮作さん 久保利雄さん 水谷裕紀さん 田中幹造さん 阪井武一さん



育生支部長 五郷支部長 両又支部長 金山支部長 有馬支部長 木本支部長  
 田岡秋良さん 舩屋勇さん 横平常雄さん 榎本奈良一郎さん 山川富夫さん 高本友年生さん

- 友愛訪問活動 ひとりぐらし老人や老人夫婦だけの家庭を訪問し、話し相手や身のまわりのお世話などの活動。
- 家族の援助活動。
- 補修活動 日曜大工や庭木の手入れなど。
- 給食サービス活動 ひとりぐらし老人や老人夫婦の世帯に手料理を定期的に届ける。
- 外出時の援助活動 買物や通院、散歩に付き添う。
- 文通やテレホンサービス。
- 健康・防災・安全パトロール 夜間などに、ひとりぐらし老人の家を巡回する。



(献花する山本遺族会長)



(詩舞の奉詠)



# 英霊よ安らかに

## 合同慰霊祭に七百人

市社会福祉協議会主催による、熊野市出身戦没者合同慰霊祭は、四月二十五日、市民会館で各地区の遺族や来賓など関係者約七百人が出席してしめやかに執り行われました。慰霊祭は、藤田社協副会長の開式のことばで始まり、全員で君が代を斉唱し、英霊よ、安らかにと、千三百九柱の御霊に対し黙禱を奉げたあと、足立社協会長が祭文を奉読し、続いて坪田市長、古座市議会議員(市議長代理)山下県議、山本市遺族会長、富田紀南県民局長が英霊に哀悼の辞を述べました。

このあと、足立会長や坪田市長、各地区遺族会の会長と婦人部長らがつぎつぎと祭壇に菊花を献じ、遺族の方々は御霊に手を合わせて冥福を祈りました。

また、主催者を代表して山本社協副会長のあいさつのもと、峇口遺族会副会長が、慰霊祭が厳粛に執り行われたことについて謝辞を述べました。続いて、遺族の長嶋勇次さん、松田豊さんらが詩舞「英霊よより還る」を奉詠、榎本社協副会長が閉式のことばを述べ、太平洋戦争の記録映画を鑑賞して、全日程を終了しました。

## センターからのお知らせ

健康体操(森岡一平先生指導)では、実技の体操につけ加えて、昨年の十月より「心の健康体操」を始めました。

これは、老人や一般の方々に参加してもらい、読書を通じて、豊かな心を持っていただくことを目的に、社会福祉センターで、月一回開催しているものです。

次回は、六月十七日、十時より行いますので、市民の多数のご参加をお待ちしています。

# 善意銀行へ四百五十万円

## 福祉基金や福祉団体などへ

市社協では、五十七年四月に善意銀行を設立して以来、広く皆様の善意をお預りし、援助を必要としている方々に役立てています。

五十九年二月一日から約一年間に、新鹿町大崎博淋さんのほか、個人、団体の方々から現金四百五十四万二千七百七十一円、百八件もの預託(下表)があり、社協では、その心意志に添って、各福祉団体や社会福祉基金などの指定先へ払い出したしました。

善意銀行は、金銭に限らず、社会福祉活動に必要な物品、労力なども受け付けています。皆様のご協力をお願いします。

### 現金預託

(59年2月1日~60年2月28日、単位円)

住所	預託者	金額	住所	預金者	金額
新鹿町	大崎 博淋	100,000	飛鳥町	吉井 綾恵	5,872
市福地事務所		1,500	有馬町	鈴木 正登	1,950
有馬町	有馬中学校生徒会	3,295	飛鳥町	朝尾ムツミ	5,000
#	山口 順久	100,000	松阪市	鳴谷 修一	2,505
五郷町	齋藤 仁見	100,000	浜中	さだ子	13,440
久生屋町	寒作 哲一	100,000	#	匿名	361
本本町	鈴木 貞一	10,000	井戸町	匿名	10,000
大阪府	大阪ミュージックサークル	100,000	磯崎町	川口 正文	4,276
井戸町	三角田 茂	131,240	二木島町	匿名	10,000
有馬町	谷垣内智恵	2,100	徳本 勇		50,000
大阪府	堀家 定己	10,000	磯崎町	熊野愛蘭会	30,000
本本町	奥川み津乃	100,000	津市	中日新聞社会事業団	100,000
有馬町	谷合 猛一	1,350	磯崎町	磯崎老人クラブ	22,334
本本町	鈴木 貞一	5,000	井戸町	山下写真店	2,229
飛鳥町	吉田 雄雄	10,000	有馬町	天理教五代布教所	7,500
#	杉下 悦夫	100,000	磯崎町	磯崎老人クラブ	618
有馬町	山田 徳一	100,000	育生町	匿名	12,000
遊木町	遊木福栄会	10,000	紀伊伝教青年会		21,430
井戸町	遊木 清史	50,000	磯崎町	磯崎老人クラブ	619
#	河上ハウス	50,000	本本町	鍛冶本光生	30,000
#	カワカミビル	50,000	#	大西 一弘	1,952
#	横町商店会	50,000	五郷町	外田かず代	16,020
#	ファンレーショアップリリン	50,000	本本町	本本高校生徒会	30,902
#	うどん「小六」	30,000	井戸町	連水 和子	12,872
#	ちやーむ「ナカタ」	30,000	#	匿名	5,411
#	熊野リシスクール	30,000	#	市役所保険年金課	3,500
#	喫茶「コロンビア」	60,000	#	熊野ロータリークラブ	50,000
#	小福川米穀店	6,280	#	市福祉事務所	480,908
#	レンタルボード「ビルボード」	30,000	飛鳥町	匿名	20,000
#	ジャスコシティ熊野	50,000	愛知県	宗教法会普明会	30,000
有馬町	川口 亮光	50,000	本本町	岸畑 善行	100,000
#	岩本 取二	110,000	#	立正佼成会津教熊野プロック	100,000
井戸町	山口あきえ	20,000	#	第三相互銀行職員組合	14,500
#	匿名	15,000	#	熊野商工会議所	5,400
#	井本 倉治	3,000	五郷町	坪井 福代	10,000
本本町	奥川み津乃	100,000	本本町	本本高校吹奏楽部	24,320
飛鳥町	前川 三郎	6,109	二木島町	玉置 明代	5,000
井戸町	西山 善人	5,674	飛鳥町	中村 葉子	7,030
二木島町	内田 鈴子	3,000	#	匿名	828
飛鳥町	天理教飛鳥分教会	100,000	#	西山 弁太郎	1,000
#	小西 金保	100,000	新宮町	南紀鬼ヶ城道院	3,900
新鹿町	浜野千枝子	8,000	本本町	松田 種美	7,000
有馬町	谷垣内智恵	2,100	#	中村 祐子	2,000
井戸町	中村 積男	50,000	鈴鹿市	宮西 博美	50,000
有馬町	廣崎 久義	100,000	#	匿名	2,000
#	山口 弘	2,500	下北山村	福本 萬吉	300,000
井戸町	森本 慶治	100,000	本本町	岡崎キヨエ	2,500
有馬町	熊野工専生健会	26,743	二木島町	牧戸 博	30,000
本本町	林 優子	5,000	井戸町	田中コヤス	6,100
有馬町	和田 安弘	100,000	#	日浦 久男	30,000
本本町	本本高校生徒会	15,543	新鹿町	鈴木 弘史	100,000
#	内田食堂、やまか、桐本	10,500	有馬町	柴本 篤助	20,000
本本町	熊野ふるさと同好会	100,000	本本町	下村賢三郎	200,000
師浜町	中本 昭男	3,000	#	鳴 安典	50,000



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

№. 11



熊野市社会福祉協議会

会長 足立 祥典

## 新春所感

ものが成就するということは、好運を招き寄せるだけの「不撓不屈の意志」——切なる思いが根本であります。「切なる思い」というのは「どうしても、このことはやり遂げよう」と思う一心である。

そこに自然と方法、工夫も出て来て、うまく行く、うまく行かないのは、一心が足りないか、工夫、努力が足りないのである。

人生行路にはいろいろな困難、様々な悪条件が起きて来ることが、困難、悪条件が起こつて来るし、目に見えない助力

も加わって、よい条件に恵まれ思いもしない助け船も出て来るものだ。一月は修正の月である。それは、新しい年に向けての修正である。目盛を正すのである。

だから、一月のことを正月と言おう。新年になつて修正の目算が立たなかつたとしたら、ただ、曆の上だけの一月に過ぎない。「切なる思い」を以って出発する新年こそ、新生活、新方針の第一歩である。



歳末助け合い募金托鉢を行う会員

## 地域住民と親睦を

### 紀伊仏教青年虚空会

熊野市と南牟婁郡の青年僧侶が集まり、紀伊仏教青年虚空会(片野晴友会長・会員十一名)を結成して十年。同会では、仏教的な活動の中で地域住民との親睦と会員相互の資質向上を図ることを目的にしてその一環としてボランティア活動に取り組んでいます。

毎年六月には、老人福祉施設(たちばな園、松涛園、宝寿園)を慰問して物故者供養、七月には青少年の健全育成のために市内の子どもたちに呼びかけて緑蔭禅の集い(二泊三日)の開講、十二月には歳末たすけあい募金托鉢の実施——など、奉仕活動は恒例のものとなっています。片野会長は「これからも社会奉仕活動を通じて身近な子供やお年寄りたちとのふれあいを大切に、いつまでも続けてゆきたい」と抱負を語っています。

### 世帯更生資金貸付制度

『住宅資金』◇家を増・改装したいが、資金不足で困っているかた対象||貸付限度額九十五万円、償還六年以内

『更生資金』◇生業を営みたいかた対象||八十七万円、七年以内◇生業、就職するのに必要な知識、技能を習得したかた対象||一万六千円(月額)、六年以内◇就職するのに必要な資金||七万五千円、六年以内

『修学資金』◇子供の進学に必要な学資||大学二万二千円、短大三万円、高専一万一千円、高校九千円◇就学支度費||大学、

### 貸付のご案内

短大七万五千円、高校、高専三万五千円、二十年以内。『療養資金』◇負傷または疾病の療養に必要な経費に困っているかた対象||二十万円、五年以内。

『生活資金』◇生計中心者が療養期間中で、家族が生活に困っているかた対象||五万一千円(月額)、五年以内。

市助け合い金庫 ◇市内に住んでいるかたで、急に生活に困っているかたにお貸しする資金||貸付限度額十万円、償還一年以内。

お問い合わせは、民生委員または、市社協(福祉センター内)で受け付けています。



# 社会福祉協議会

## 主な事業の概要

市社会福祉協議会では、社会福祉センターを活動の拠点として、在宅福祉・地域福祉を推進していくための準備を着々と進めています。

### 〈主な事業の概要〉

◇低所得者対策Ⅱ世帯更生資金、高額療養費、市助け合い金庫の貸付業務。  
◇相談事業Ⅱ心配ごと相談、母子、障害者、老人の就職相談など。

◇生活環境の整備促進Ⅱ生活改善運動の推進、花いっぱい運動など。  
◇福祉関係団体の育成強化および協力Ⅱ民生・児童委員協議会、心身障害者連合会、老人クラブ連合会、母子寡婦福祉会、遺族会など。

◇地域福祉活動の推進Ⅱ健康体操の実施、民間福祉施設とのつながり強化、ボランティアの組織と活動の強化など。  
◇広報活動Ⅱ社協だよりの発行、作文、標語の募集、パンフレットの作成と配布など。

◇福祉大会の開催Ⅱ社会福祉大会(二年に一回)、老人福祉大会(同)、合同慰霊祭(三年に一回)、福祉囲碁・将棋大会など。  
◇センターの運営Ⅱ社会福祉センター、ボランティアセンターの運営、善意銀行。

◇募金活動Ⅱ共同募金、歳末助け合い募金の実施と配分、日赤、社明運動、難民救済運



(福祉活動についての話し合い)



(関係者による街頭募金)

動などに協力。

◇組織活動Ⅱ理事、評議員会の開催、社協支部の強化、在宅福祉サービスの推進、福祉コミュニティ促進事業の推進、地区懇談会の開催など。  
◇福祉教育活動Ⅱ福祉協力校の指定と助成。  
◇調査活動の実施。

## 健康体操 5年

### 疲労回復に効果

二、三回まわただけでホンノリと汗ばむ感じがして快い。「足ぶみ」二拍で止まれといっても、最初の頃は三つの人が多かったが、今、三つ、六つ、九つなどいろいろ変えても間違えう人がない。運動神経がそれだけ鍛えられて来た。六十歳〜九十二歳までの高齢者が殆んどであるが、世間がよく見る準備運動とか〇〇体操とは比べものにならない程正確になって来て、号令をかけ乍ら涙がこぼれそうになる程、正しく立派になって来た。体操の醍醐味というか、健康づくりの真価は、正確さと疲労回復への配合(献立)をよくすることである。

二木島町や新鹿町から通って来る熱心な方がいる。その中で、「九十近くだったので休んでいるが、毎日家でやって



(みんなで「二、三」)

いつの世にあつても自分の生まれ育ったところで、家族や顔見知りの人たちと温かいふれあいのある生活を送ることは、すべての人々の共通の願いであります。

今日、人口の高齢化がすく速いテンポで進み、一人暮らしやねたきり老人の増加、その他心身に障害のある人、児童、単親家庭の抱える福祉課題には深刻なものがあると

思っています。これらの人々に対して、貧富、職業に関係なく、すべての人々に出来る限り在宅のま

まで生活を続けていけるように家族は勿論、福祉関係者やボランティア、そして更に地域住民がお互いに助け合いながら心のふれあいをもって生活していけるようにするのが、

## 福祉コミュニティ 在宅福祉サービス 事業に取り組み

これからの地域福祉のいきかたと思っています。

そこで、社協においては只今、コミュニティ促進事業と在宅福祉サービス事業に取り組み、これから起こる福祉の

諸問題に対処するために、各地域において組織づくり、人づくりから始め、地域の皆さん方の理解と協力をお願いし、思いやりのある人情豊かな地域社会の実現に全力を

げたいと考えております。この事業の内容は、例えば、一人暮らしやねたきりの人、その他手助けが必要な人々に対して、ヘルパーの派遣、食

事、入浴の世話、洗濯、布団洗い、掃除、介護、外出援助、買い物、歩行介助、話し相手など、なんでも世話をしあげることにあります。

(福祉活動についての話し合い)

(関係者による街頭募金)

(みんなで「二、三」)



ご協力ありがとうございました  
**共同募金と助け合い募金**  
 募金総額五百九十七万円



それぞれの募金の結果は、表Iのとおりでした。

**共同募金**

目標額二百二十一万一千円を大幅に上回る三百五万一千三百五十七円の実績となりました。

特に今回の募金では、市内の学校、金融機関に協力をお願いしましたところ、多額の募金が寄せられました。

これらの募金による浄財はすでに県共同募金会へ送金し、県内の福祉施設などの設備充実資金として、また、募金総額の一部が市社協へ地域福祉活動費として配分されます。

そして、このお金は、高齢者の見舞や記念品、ねたきり老人の見舞、施設入所者の見舞のほか、支部社協へ配分し、

**歳末助け合い募金**

それぞれの地区の福祉活動のために活用していただきます。

市内の恵まれない人や施設に入所している方々に見舞金を贈り、明るいお正月を迎えていただきたいと、ご協力をお願いしましたところ、二百九十二万二千七百七十八円の義援金が寄せられました。

このお金は、年末に生活保護世帯やねたきり老人などに配分しました。(表II)

この募金には、期間中に市福祉事務所主催による歳末チャリティバザーの収益金三十七万七千七百七十円や個人、団体からご芳志いただきました四十一万三千五百七十七円が含まれ、助け合いへ繰り入れ

**小さな奉仕** ④



**「喜捨」**

久生屋町  
中田重顕

以前、様々なことで落ちこんでいた時、ある僧侶から「喜捨」という言葉を教えられて目を開かされる思いをしたことがある。まちがって聞いているかも知れないが、人につくして何かを求めるのではなく、つくした事を喜んで捨てることを「喜捨」というのだと……。

私の家には時々、草の実学園時代や雑草の広場の重い障書をもった友人が遊びにくる。妻は全く他の人にと変わりなく接するので心していられるが、四歳の娘にも障害を持つ人も誰もと全く同じ人間であることを自然に身につけて

ほしい、と願っている。そして、人間に対する正当な愛情や優しさを持てる人間になつてほしい、と願う。それには障害を負う人達との人間的なつながりが一番好いと思う。

私は中学三年の時、脊椎カリエスが悪化して肢体不自由児施設「草の実学園」に入園したのだが、このことが私の人生を一変させた。障害をもつ仲間達が人間的にまことに優れたものを持っていることを身をもって知った。障害をもつことが決して恥ずかしいことでも、悪いことでもない

のを肌で知った。そのことが熊野での雑草の広場運動につながっている。

私たちは今、多くの方々に奉仕してもらっている。その事には心から感謝している。そして、その感謝を表わすには、私たちが又、自分でできる範囲内で人につくすことにある、と思う。どんな小さなことでもいい、誰かのためにつくすことが又自分のためでもあると思う。口には出さないうちがそう思い、つくす事で私達のグループは十三年続いできたと思う。

**あなたもできるボランティア活動** ④

④

みなさんの地域の中に、ただ一人ほそぼそと暮らしている老人や人の手を借りなければ動けないねたきりの老人がいませんか。

ボランティア活動というと、何か特別のように思われがちですが、自分の生活時間の中で出来ること、例えば、買い物の中で老人世帯に声をかけてその安否を聞いたたり、一言の世間ばなしを交わすなど、簡単なことで結構なのです。

老人に限らず障害者にも一言のことばを交わすことがどれだけ生きがいに通ずるか計り知れないのです。

(表I) 共同募金・歳末助け合い募金結果表

地区	共同募金	歳末助け合い募金
須野	4,300	3,600
浦母	21,000	23,000
二本島	60,460	82,150
遊木	86,710	41,000
新鹿	217,470	83,300
波田須	44,370	32,800
磯崎	81,900	61,800
大泊	33,900	33,800
木本	616,923	323,670
井戸	419,540	313,250
有馬	480,946	358,130
久生屋	93,700	49,600
金山	75,181	45,000
飛鳥	215,524	136,900
五郷	157,650	161,900
神川	82,910	66,800
育生	100,760	70,211
その他	244,133	1,033,367
合計	3,051,357	2,920,278

(表II) 歳末助け合い募金配分表

配分対象	配分金
生活保護世帯	436,000
車扱保護世帯	1,010,000
おたきり老人	285,000
在宅重度身障者	24,000
在宅重度精薄児(者)	30,000
長期入院患者	195,000
たちばな園	102,000
松寿園	100,000
宝寿園	124,000
紀南ひかり園	100,000
市外老人ホーム入所者	24,000
市外精薄者施設入所者	16,000
児童福祉施設入所者	18,000
交通遺児	39,000
更生医療	60,000
救護施設入所者	6,000
法外保護(福祉事務所)	50,000
紀南手をつなぐ親の会	20,000
市助け合い金庫	73,488
市社協基金	150,000
事務費	57,790
合計	2,920,278



# 善意銀行だより

昨年(昭和60年)の4月1日から12月31日の間に善意銀行に寄せられました。金品は下表のとおりです。  
皆様の尊い善意に厚くお礼申し上げます。

## 現金預託

預託者	金額 円	預託者	金額 円
1 松田 一枝	50,000	59 吉田 雄雄	20,000
2 谷垣内 智恵	2,100	60 前田 健治	300,000
3 西村 イサエ	10,000	61 中田 すみゑ	300,000
4 金山小学校児童会	1,950	62 岡 正義	100,000
5 有馬中学校生徒会	23,246	63 岡崎 宣幸	200,000
6 橋本 司	50,000	64 天理教 五代布教所	10,000
7 下岡 すゑ	1,000	65 村上 真由美	938
8 東 とき	1,000	66 熊野工業高等専門学校生徒会	27,832
9 吉田 雄雄	5,000	67 杉山 訓子	1,749
10 橋本 孝	3,000	68 嶋谷 修一	2,783
11 森本 とみゑ	2,000	69 寺沢 布佐子	20,000
12 下和田 修	2,000	70 第6回開基大会より	10,700
13 御園 ゆき	2,000	71 中村 祐子・真理子	4,918
14 津本 卓夫	1,000	72 西山 弁太郎	1,000
15 西 陸 夫	10,000	73 愛蘭会	30,000
16 山本 隆夫	3,500	74 木本高等学校生徒会	10,120
17 内田 榮穂	3,500	75 いろは	22,338
18 桐本 茂治	3,500	76 山口 好一	10,000
19 浜田 績	50,000	77 岡田 定代	10,000
20 多門 ふじ	30,000	78 立正佼成会津教会熊野支部	100,000
21 鈴木 貞一	5,300	79 彩の会	35,000
22 齊藤 清重	50,000	80 市福祉事務所	387,770
23 坂内 速夫	300,000	81 木本高等学校吹奏楽部	16,600
24 匿名	10,000	82 市役所総務課	26,920
25 山下 正夫	5,000	83 世古との	100,000
26 匿名	13,000	84 熊野ロータリークラブ	50,000
27 匿名	20,000	85 山川 和良	100,000
28 中日新聞社会事業団	115,000	86 松田 ゆか	1,000
29 河上ハウス	50,000		
30 河上ビル	50,000		
31 河上横町商店会	50,000		
32 ジャスコ株式会社	50,000		
33 寿司丸	30,000		
34 河上 隆 児	100,000		
35 内田 よしの	8,172		
36 笹本 光子	10,000		
37 奥谷 美佐代	20,000		
38 片岡 淳生	100,000		
39 平嶋 加代子	500,000		
40 宮本 京子	50,000		
41 昭和50年度 飛鳥中学校卒業生	22,000		
42 大川 頌也	1,063		
43 岩本 かめ	10,000		
44 井本 勝久	4,000		
45 川畑 光伸	3,000		
46 中村 皖昭	30,000		
47 宗教法人普明会教団 渥美支部	30,000		
48 谷垣内 弘和	1,950		
49 上地 登	50,000		
50 老人福祉大会参加者	4,537		
51 匿名	1,500		
52 日本アマチュア無線連盟三重支部	40,000		
53 田舎暮らし販売者有志 6件	20,000		
54 南 和典	100,000		
55 湊 直芳	100,000		
56 木本高等学校生徒会	13,937		
57 吉井 綾恵	6,419		
58 紀伊仏教青年虚空会	45,783		

## 物品預託

住所	預託者	物品	払出先
大泊	桐本 茂治	鮮魚・野菜・果物	ひかり園(毎月2回以上)
有馬	有馬中学校生徒会	筆記用具・タオルケット	福祉センター
木本	山口維久子	中古掃除機	"
"	和田 繁雄	障害児用車椅子	"
"	ヤクルト木本販売店	ヤクルト(1,000本)	老人福祉大会
井戸町	井戸老人クラブ	ぞうきん	福祉センター

## 技術・労力預託

住所	預託者	摘要
御浜町	上垣内守雄	障害者介護
"	上垣内せつよ	"
大泊町	向井 弘晏	献血
"	向井 真紀子	"
"	柳尾 和男	"
"	江川 和良	"
"	堀 博行	"
"	堀 昇	"
木本町	谷 祝子	施設慰問
"	杉山 昌代	"
"	水谷 昌弘	"
"	久保 弘子	"
"	岡村 正幸	"
大泊町	岡村 種久	"
有馬町	今村 久子	老人の話し相手

手話の勉強をする会員たち



## 市社協に ボランティアセンター あなたの参加をお待ちします

市社協では、ボランティア活動の拠点としての「ボランティアセンター」を設置し、活動の普及とボランティアの登録および指導、あっせんなどを行っています。  
現在、ボランティアとして登録されている団体、個人は手話サークルや船業組合など七団体と五十人の個人の方々に、施設奉仕、身体障害者の介助などの奉仕活動に参加されています。  
しかし、各地域の中にはボランティアの援助を受けたいと思っている人が数多くおり、まだ、センターとして機能が十分に発揮されていないのが現状です。  
老人や身体障害者などの介助、施設での奉仕、自分の特技を活かした奉仕、様々な奉仕活動を通して、ボランティア活動の輪が全地域に広がるように、ふるにボランティアセンターを活用していただきたいと思っています。

## 支部だより

### 立看板を設置

久生屋支部

久生屋支部(水谷裕紀支部長)では、町内の環境美化運動の一環として、町内七地区に立看板五十本を設置し、みんなの手で町を美しくしましょうと、住民に協力を呼びかけています。  
また、同支部では、三

### 支部を再編

遊木支部

遊木支部(浜口正親支部長)は、これまで以上の福祉活動を展開していくために、支部の再編を行い、新役員のもと、その活動が期待されています。  
同支部では、さつき支部活動のPRと会員の加入を呼びかけたところ、現在百六十七名が加入しています。

新役員は次のみなさんです。  
支部長 浜口正親、副支部長 大川妙子、書記 鬼頭和弘、会計 浜口美津子、監事 畑中兼臣、大川政次、理事 浜口京、浜田豊次郎、西口通夫、大谷猛、浜中恵津美、浜口晃、浜田徳八、大川紀之、浜中末治、浜口安徳、西口清文、畑中一己、大川弘実、森下好光

## 編集後記

みなさまの社協だよりにしていくため、ひろく社会福祉に関する意見や、写真、地域での行事などを掲載したいと思っておりますので、情報をお寄せ下さい。



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

No. 12



きれいな町づくりに取り組む小阪小の児童たち

## 学童・生徒による

### ボランティア活動

市社会福祉協議会では、小・中学校及び高等学校の学童・生徒を対象として、社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養うとともに、学童・生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることを目的にボランティア活動普及事業協力校（福祉協力校）を指定し、社会福祉活動に取り組んでいただいています。

その活動例として、

① 体験学習を目的とした実践活動では、社会福祉施設等への訪問活動や在宅老人、障害者との交流、学校行事への招待、また、地域社会づくりのための活動（美化運動や環境整備活動など）を行っています。

② 広報、啓発活動では、児童会だよりや学校新聞等を利用して、福祉活動への参加を呼びかけたり、映画会や講演会を催し、啓発に努めています。

③ 社会福祉関係行事への参加では、募金活動への積極的な協力をを行い、関係者から喜ばれています。

これまでに、市内の九校が福祉協力校としてご協力をいただき、この中で現在、木本高校、飛鳥・五郷中学校、小阪・五郷小学校の五校が児童会や生徒会を中心として、それぞれ自主的、自発的な活動を展開しています。



# まちづくりへ 取り組む社協



私たち一人ひとりにとって基本的な生活の場は家庭であり、住みなれた家庭や地域の中で家族や友人、近隣の人たちとあたたかなふれあいのある生活をおくることは、すべての人々の共通の願いです。この願いを大切に、社会福祉の課題の解決をはかるには、地域福祉の視点からの取り組みがなにより不可欠です。豊かであたたかな地域社会の実現をめざして、地域福祉・在宅福祉の飛躍的な充実が

私たちが一人ひとりにとって基本的な生活の場は家庭であり、住みなれた家庭や地域の中で家族や友人、近隣の人たちとあたたかなふれあいのある生活をおくることは、すべての人々の共通の願いです。この願いを大切に、社会福祉の課題の解決をはかるには、地域福祉の視点からの取り組みがなにより不可欠です。豊かであたたかな地域社会の実現をめざして、地域福祉・在宅福祉の飛躍的な充実が



ボランティアサークル活動



赤い羽根共同募金活動



各支部による敬老会活動



民生委員による訪問活動

急務であり、そのためには公的施策の充実と地域住民の理解と協力が求められています。そこに住む住人が互いに協力しあい、見守り、助け合っていくという環境をつくること

が現在とくに求められている中で、社協は住民が主体的に、そして積極的に参加・協力していく「福祉のまちづくり」を推進しています。また、公私の専門機関、団体と連携、協力し、福祉のネットワークづくりも総合的に

推進しています。地域住民のだけれどもが福祉に押しつけがましい理解をもち、あたかも高齢者に対する福祉教育の機会をもち、老人、障害者を培うとともに、老人、障害者のかかえる問題を理解し、ボランティア活動を實際に経験する機会を持つことが必要

市社会福祉協議会の六十二年度事業計画及び予算が先の評議員会において審議され、住民参加による福祉のまちづくりを目指し、特に、今日の課題である地域福祉・在宅福祉サービスについてどのような対応をすればよいかなど、具体的な事業の推進に、関係者の一層の協力を得ながら強力に進めていくことになりました。

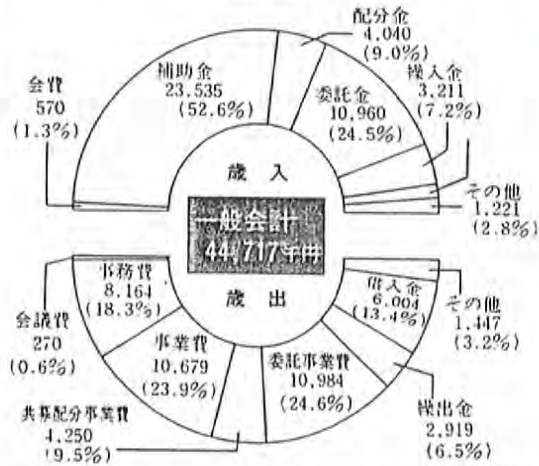
また、役員任期満了に伴い、新役員を選任し、本会の活動にご活躍をいただくことになりました。

▽福祉関係団体の事業協力と育成強化。  
▽委託事業の実施（敬老会、慰霊祭、家庭奉仕員派遣事業、▽熊野市老人福祉大会の開催  
▽福祉資金の貸付業務。  
▽福祉協力校の指定と助成。  
▽青少年の健全育成に協力。  
▽心配ごと相談事業の実施。  
▽共同募金、歳末助け合い募金運動、その他募金活動に協力。  
▽生活環境の整備事業の推進  
▽広報活動の強化。  
▽社協旗争奪ゲートボール大会の開催。  
▽社会奉仕活動センターの運営。  
▽善意銀行の運営。  
▽福祉センターの運営など

## 新年度の主な事業

## 62年度一般会計予算

(単位千円)



## 新役員のみなさん

- 会長 足立祥典(木本)
- 副会長 榎本奈良一郎(金山)
- 理事 大西一弘(木本)
- 田中幹造(井戸)
- 福嶋康吾(久生屋)
- 牧戸博(二本島)
- 西道夫(新鹿)
- 漆英樹(磯崎)
- 樺野友八郎(木本)
- 根引正俊(有馬)
- 植田康弘(神川)
- 外屋勇(五郷)
- 九鬼禮作(飛鳥)
- 横平常雄(飛鳥)
- 大森三郎(育生)
- 山口好一(井戸)
- 山本一郎(木本)
- 監事 大久保順蔵(飛鳥)
- 事務局長 大久保順蔵(飛鳥)



# の福祉の明るい にサービス福祉



子供と老人とのふれあい活動

### ホームヘルパー派遣

市の委託をうけて、老人や常時介護を要する重度の障害児者のいる家庭で日常生活を営むのに支障のある人々のために申請に基づき、ホームヘルパー（家庭奉仕員）を派遣しています。

そして、対象者の身のまわりのお世話や介助、相談、指導等の援助活動を行い、生活の安定に寄与しています。

現在、老人担当二名、心身障害児担当一名、身体障害者担当一名の計四名を派遣しており、それぞれ対象家庭に対し、週二回ずつ訪問しています。

家庭奉仕員の派遣を希望される方は、市福祉事務所社会係（九一）

四二二内線二三九）又は、市社協（九一三〇五三）まで、お問い合わせ下さい。



### 福祉コミュニティの促進

老人、障害者などの人々と一般住民がともに生活できる諸条件や環境を整え、住民参加による新しい福祉のまちが形成されることを目指し、社会福祉協議会を中心として

### 心配ごと相談

日常生活におけるあらゆる悩みこととの相談に応じ、その問題解決に相談員が適切な助言指導を行う心配ごと相談所を社会福祉センター内に次のとおり開設しています。

○相談日 毎週水曜日（九時～十七時まで）尚、この日以外も受付けています。お気軽にお問い合わせ下さい。

## 福祉活動の実践

### 雑草の広場

私たち、身体に重い障害を負う者の会「雑草の広場」がこの熊野市、南郡を中心に発足してから十五年がたった。

昭和四十七年九月のよく晴れた秋の日、名簿を見て、殆どが見も知らぬ人に案内状を出して、第一回目のバス

きたのだった。

「学校に行けない仲間をなくしよう」「仕事を持たない仲間をなくしよう」「結婚できない仲間をなくしよう」の三つを柱に活動を続けてきたが結婚問題について言えば、六組の夫婦が誕生し、そのうち四組のカップルが仲間同志だった。妻となったある女性は、「雑草の広場ができるまで結婚なんて考えた事もなかったのに」としみじみ言った。

神様はこの夫婦達に八人の玉のような丈夫な子供をさずけてくれた。

さて、今年雑草の広場は十六回目の総会を行った。役員も会員も年齢を加えた。

春の遠足、夏の合宿、秋のバスツアー、その間の家庭訪問、年末の有志による忘年会など、これらが今の会の基本になっている。福祉活動とも言えないかも知れない。しかし、春が来れば遠足があり、夏にはキャンプがあり、秋が来ればバス旅行がある。

このように心に張りを楽しみがあることが自宅に閉じ込められがちな重い障害者には大切なことではないかと思う。

私たちは過去三回、こん身の力を込めて映画会を催し、市民の皆様の大なご支援で成功させることができた。このことも含め、いつもご支援を得ているすべての方々に心から感謝している。

様々な欠点も持っているのにとても楽しい、もっと早く入れればよかった、と言ってくれる会員、新しく入ってくれる会員もいる。

雑草の広場は今後も、障害者を持っていても明るく生きられるのだ、ということを中心に頑張っていきたいと願っている。

春の遠足（四季の里で）





# 善慈銀行だより

61年4月1日から62年3月31日までに善慈銀行に寄せられました金品・労力は、下表のとおりです。  
皆様の深い善意に厚くお礼申し上げます。

## 現金預託

No.	住所	預託者	金額(円)
1	神川町	松山秀夫	100,000 <small>(内50,000円 60年度へお出し)</small>
2	井戸町	井戸老人クラブ	1,295
3	木本町	木本高校家庭科有志	3,209
4	飛鳥町	竹原巨嗣	10,000
5	木本町	鈴木貞一	5,000
6	井戸町	榎本すが	50,000
7		匿名	2,000
8		熊野市連合婦人会	10,000
9	神川町	山西弘	100,000
10	木本町	山本一郎	100,000
11	飛鳥町	久保益男	50,000
12	木本町	市母子会木本支部	10,000
13	井戸町	信カワカミビル	50,000
14	"	信河上ハウス	50,000
15	"	ジャスコ熊野店	50,000
16	"	河上横町商店会	50,000
17		田オレンジホテル チャリティイベント	2,100,999
18	木本町	天野寿	50,000
19	名古屋市	伊藤智恵子	10,000
20	木本町	第三相互銀行 熊野支店行員一同	14,500
21	"	古田克己	30,000
22	"	松屋つるま	2,000
23	有馬町	更谷とら	9,044
24	井戸町	中井麻由	105
25	有馬町	永田哲郎	30,000
26	木本町	中村照子	10,000
27	飛鳥町	福山小百合	5,000
28	遊木町	鬼頭和弘	100,000
29	有馬町	谷垣内智恵	1,950
30	井戸町	河上ハウス、河上横町 商店会、信カワカミビル	37,731
31	有馬町	仲森次郎蔵	5,000

No.	住所	預託者	金額(円)
32	金山町	榎本幸恵	50,000
33	木本町	大江桂子	18,300
34	井戸町	匿名	17,000
35	木本町	木本高校吹奏楽部	20,000
36		匿名	10,000
37		"	20,942
38	有馬町	平石三郎	3,300
39	五郷町	中村恵昭	50,000
40	奈良県	茶田佐弘	50,000
41		匿名	681
42	井戸町	森本慶治	100,000

## 物品預託

No.	住所	預託者	摘要
1	大泊町	榎本堯治	記帳ばかり開いた たばこ箱へ毎月2回食料誌
2	木本町	中村ひろま	ハガキ200枚
3	五郷町	五郷小学校5年生	餅米
4	鶴殿村	矢淵中学校1年C組	衣類、古切手
5	井戸町	簡易保養センター	ぎんさん(40枚)

## 技術・労力預託

No.	住所	預託者	摘要
1	木本町	山本一郎	各相談指導
2	五郷町	西村あさ子	老人の話し相手
3	"	藤田康子	"
4	"	外屋千世子	"
5	"	国樹八重	"
6	"	尾中啓子	"
7	"	中村初子	"
8	"	藪内ひさ子	"

## ボランティア募集

### あなたも参加しませんか

私たちの住む地域社会には、ボランティアセンターでは、障害を持つ方をはじめ福祉問題をかかえている人がたくさんいます。  
こうした福祉問題に対して、ランティアセンターでは、地域でボランティアの輪が広がることを願い、ボランティアの育成、活動資料の貸与、活動に関する情報の提供等、ボランティア活動への積極的な援助を行っています。  
毎日が住みよい生きがいのある明るいまちづくりを願います。多数ご参加下さい。



手話の講習会

※お問い合わせは、市社会福祉協議会内

市社会福祉協議会  
電話 九一三〇五三

### 点字の講習会

点字ボランティアの養成を図るため、視覚障害者の協力を得て、毎月第一、第三水曜日(午後7時から9時まで)、福祉センターで点字講習会を開いています。初心者の方でもお気軽にご参加下さい。お問い合わせは前記の市社会福祉協議センターへ。

### ▼世帯更生資金貸付

市社協では、市内在住の方で他からの借入れが困難な低所得者、身体障害者のいる世帯に世帯更生資金を貸付けています。  
この資金は、生活の向上に役立て、世帯の経済的自立を図ることを目的としており、各資金の貸付対象者及び貸付限度額は次のとおりです。  
◇生業資金 新しく事業を始めた方や拡張したい方に、八十九万円まで。  
◇支度費 就職したがその準備費用に困っている方に、七十五万円まで。  
◇技能修得費 各種の資格をとりたいがその費用に困っている方に、月額一万七千円まで。  
◇生活資金 夫が入院して療養資金を借りたが家族の生活が苦しく、困っている方に、月額五万二千円まで

## 福祉資金貸付のご案内

◆福祉資金 冠婚葬祭などで一時的に資金が必要になった方や障害者や老人の福祉機器を購入したい方に、十七万円まで。  
◆住宅資金 住宅が古く改築したいが、その費用に困っている方に、百万円まで。  
◆療養資金 夫や家族が入院し、その費用に困っている方に、二十万円まで。  
◆災害援護資金 火災や風水害などで被害にあい、困っている方に、六十万円まで。  
◆修学資金(無利子) 子供が高校、大学等に進学したが学費が出せず、困っている方に、高校月額九千円、大学月額二万二千円。但し、私学の場合は異なります。  
◆市助け合い金庫貸付 市内在住の方でとつぜん、経済上の困難を招き、資金が必要となった方を対象に、無利子で十万円まで貸付けします。  
◆高額療養費貸付 国民健康保険の被保険者で、療養費の支払いが困難となり、一部負担金の支払い資金が緊急に必要であると思われる方を対象に月あたり十万円まで貸付けします。  
これらの貸付資金についての問い合わせは、地区担当民生委員さんまたは、福祉センター内市社協(電話九一三〇五三)で受け付けていますのでご相談下さい。



◇災害援護資金 火災や風水害などで被害にあい、困っている方に、六十万円まで。



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

№. 13



ろうあ者と交流を深める手話ボランティア

## ふれあいを深める ボランティア活動

わたしたちの地域には、さまざまな人が住んでいます。

身体障害者、ひとり暮らしのお年寄り、病気でねたきりの方など……そういう人々も地域の中で、同じように生活を楽しみたいと思っています。

金山町の婦人ボランティアサークルは、昨年十月から、ひとり暮らし老人に対し、毎月一回の老人給食サービスを開始しました。

ボランティアが心を込めて作った料理を届けて、老人とのふれあいを深めていこうというものです。

まだ始めて間もないが、届ける側と受け取る側の心の通った会話に両者の信頼の絆は深められています。

また、手話ボランティアサークル「竹の子」は、ろうあ者と共に毎週金曜日に福祉センターに集合し、お互いに手話を通じての交流を深めています。

この他にも、ボランティア活動を行っている個人の方や団体もありますが、これからボランティアの必要性がますます高まる中で、ボランティアの芽が大きく伸び、その芽が大きな輪となっていくことを願い、福祉のまちづくりに取り組んでいきます。



ひとり暮らし老人に

# 心のこもった食事サービス

## 金山地区婦人ボランティアサークル

市社協では、在宅福祉サービスの一環として、食事サービス事業（ひとり暮らし老人を対象）を実施することになり、金山地区をモデル地区として、昨年の十月から毎月一回、対象老人にボランティアの心のこもった料理を届けて

います。  
ボランティア代表  
榎本ちづか



おばあちゃん、おまちどおさま

社協金山支部長である島田弘男氏や民生委員の榎本奈良一郎氏から熱心に老人福祉への考えを常々聞かされており、それに県婦人会が毎年実施しております「愛の一声運動」とも相まって今回、「ひとり暮らし老人（七十五歳以上）への食事サービス事業」に役員共々とりかかろうではと、話がまとまったのが十月一日でした。



月早くからごころうさま

ちようと宅配する機会に話しが出来るして一石二鳥ではと早速、婦人会役員、生活改善グループ、コスモスグループ、榮推協等の役員二十一名でボランティア組織を結成しました。



もうじき出来まますよ



さあ、老人宅へ配食

人への気づきなど身につけられると、とても喜んでくれます。

はじめは大変な事業と思っていました。実際に取り組んでみるとスムーズに事が運びボランティアのみんなが、晴ればれた気持ちで家へ帰ります。

これからも、福祉の町づくりに関係者の方々の協力を得ながら、活動していきたいと念じています。

市社協事務局長

大久保順蔵

愛着のある地域で、家族や友人とふれあいながら生き生きと暮らしていきたい。

このあたりまえの人間共通の願いは社会福祉に新しい理念と方法の確立を求めてきました。

この共通の願いに答えるのが新しい地域福祉・在宅福祉

サービスであると言えます。本市社協におきましては、各地区支部長会議を開催し、昭和六十一年十二月の会議には、地域のひとり暮らし老人の生活実態を明らかにし、地域が給食サービスを行うことになってコミュニケーションのあり方をさぐる記録映画等によりご検討いただき、昭和六十二年三月の理事会には在宅福祉サービス事業費の一部認めていただき、又、昭和六十二年六月の会議には、本年事業計画の地域福祉・在宅福祉サービスを具体的案をもってご検討をいただきました。

その後、このサービス事業を各地区でご検討いただいたところ、金山支部が地区の民協・婦人会・榮推協・社協・住民等の方々二十一名のボランティア組織がつくられました。そして、昨年十月から市社協のモデル地区として実施することになり、ボランティアの心暖まるご奉仕がひとり暮らし老人の方々に大変喜ばれており、このサービス事業が福祉の町づくりに大きく寄与されています。

今後、各地域を単位に住民の皆さんの協力を得ながら、地域福祉・在宅福祉サービス事業の推進、ボランティア活動の推進等を図って参りたいと存じます。福祉の輪が全地域に広がるよう、皆さんの暖かいご協力をお願いいたします。





点字の講習会

紀南視覚障害者福祉会は、元・紀尾視覚障害者福祉会として、昭和三十五年に発足し、いろいろな行事や福祉活動を行ってきたが、二十年たつて、昭和五十五年五月に「紀南」と名称を改め、尚一層、会員一同一丸となつて

## 福祉活動を実践

### 視覚障害者福祉会

福祉の増進及び、文化の向上、そして会員相互の親睦を図りながら、視覚障害というハンディを克服し、頑張っています。

現在、会員二十三名の会ではあるが、毎年四月の定期総会では、年間の事業計画を決めるが、この中で、会発足以来、毎回実施している老人ホ

ーム松涛園への針・灸・マッサージの慰問活動は、六十三年度で二十八回目を数え、入園者の方々に無料で治療を行っており、お年寄りにたいへん喜ばれています。

この他には、会員の親睦を深めるための一泊旅行や潮干狩りを実施し、和気あいあいの中で楽しんでいきます。

また、諸々の研修会(昨年は、交通安全研修会を行う)を実施したり、県行事(大会、文化祭)への参加あるいは、日盲連主催行事(全国大会)への参加などとして、他の視覚

障害者の方々との交流を深めています。

又、昨年五月から、一般、会員の方々に呼びかけ、点字講習会を毎月第一・第三水曜日に午前七時から九時まで、社会福祉センターで行っています。

点字の読み書きできない会員や一般の人たちに点字の技術を身につけてもらい、視覚障害者との交流を深めてもらおうとはじめました。

なごやかなふん囲気の中で今では、りっぱに読み書きできる方もおり、これからも、



# ご協力ありがとうございました

## 善意の寄金500万円

### 共同募金と歳末たすけあい募金

昨年末の「赤い羽根共同募金」と「歳末たすけあい募金」には、市民の方々から総額五百三十万円もの多額の義援金が寄せられました。

これもひとえに皆様の暖かいご支援とご協力をいただいたたまものと、厚くお礼申し上げます。

各募金運動の結果は、表Iのとおりでした。

#### 共同募金

募金実績額は、三百一十一万四千七百一十円で、目標額を五十五万八千四百七十一円上回りました。

このお金は県共同募金会に送金した後、民間の社会福祉施設の整備資金や団体の福祉活動資金に配分され、当会にもその一部が還元されて、老人の福祉費、地区社協の福祉



活動推進費などに使われることになっていきます。

#### 歳末たすけあい募金

募金額は百六十二万五千五百十四円で、これに個人、団体などからの寄付金七十三万二千六百九十円を合わせ、総額二百三十五万七千七百四十四円もの暖かい善意が寄せられました。

市社協では年末に生活保護世帯、わたり老人、重度障害児者、施設入所者などの方々に少しでも楽しいお正月を迎えていただくために配分いたしました。(表II)

(表I) 共同募金・歳末たすけあい募金結果表

地区	共同募金	歳末たすけあい募金
須野	6,000円	6,100円
南母	50,000	22,400
二木島	107,460	33,200
遊木	68,423	47,518
新鹿	176,820	98,061
波田須崎	56,100	34,000
磯泊	101,600	80,300
磯大木	33,200	33,100
本井戸	611,200	221,650
有馬	382,802	249,500
久生屋	428,406	274,200
山鳥	92,400	61,600
飛鳥	230,477	95,000
五郷	203,300	171,202
神川	102,635	73,300
育生	104,133	83,923
小計	2,846,912	1,625,054
その他	164,559	732,690
合計	3,011,471	2,357,744

(表II) 歳末たすけあい募金配分表

対象	人員	世帯数	配分金
生活保護世帯		205	410,000
準援護世帯		89	999,000
ねたきり老人	105		315,000
在宅重度身障者	18		54,000
在宅重度精薄児(者)	15		48,000
長期入院患者	58		174,000
たちばな園	35		70,000
松壽園	11		22,000
宝寿園	12		24,000
紀南ひかり園	22		44,000
市外老人ホーム入所者	9		18,000
市外身体・精神障害者施設入所者	7		14,000
児童福祉施設入所者	14		28,000
交通遺児	12		36,000
更生医療	15		56,000
救護施設入所者	2		4,000
市助け合い金庫			234
事務費			41,510
合計			2,357,744

高齢化の波が押し寄せ、また、核家族化の進行による家庭や地域での扶養・扶助機能の低下など、私たちの生活の身近なところで、福祉をとりまく状況がめまぐるしく変化してきています。

こうした中で、老人や障害者をはじめとするすべての地域住民が住みなれた家庭や地域で、あたたかいふれあいのある生活が送れるよう、暮らしやすい環境を築き地域福祉の充実を図ることが急がれています。

社会福祉協議会(略して、社協という)は、地域の方々の理解と協力を得て、「福祉のまちづくり」を進める、住民主体の民間福祉団体です。

#### 社協とは

この講習会を続けて、点字ボランティアの養成に尽くしていきたいと思えます。

このように、当会も福祉の発展に微力ではありますが、事業運営に努力しております。

福祉関係者並びに、関係機関の方々におかれましては、一層のご指導ご援助を賜わりますようお願いいたします。



# 善意銀行だより

62年4月1日から12月31日までに善意銀行に寄せられました金品は、下表のとおりです。  
 皆様の深い善意に厚くお礼申し上げます。

## 現金預託

№	住所	預託者	金額(円)
1	有馬町	岡内一光	10,730
2	木本町	東政市	100,000
3	飛鳥町	庵前保	100,000
4	井戸町	有限会社大崎商店	300,000
5	有馬町	谷垣内智恵	3,900
6	井戸町	匿名	37
7	大泊町	岡崎博	50,000
8	井戸町	陰地宣嗣	50,000
9	"	森本節雄	50,000
10	久生屋町	上平妙子	100,000
11	木本町	宮本益男	50,000
12	"	田岡典明	100,000
13	"	瀬川佳則	100,000
14	"	囲碁クラブ	9,500
15	木本町	第三相互銀行 熊野支店職員一同	13,000
16	"	松屋成則	30,000
17	"	岡本むつゑ	200,000
18	"	天理教婦人支部	100,000
19	飛鳥町	西山弁太郎	2,000
20	磯崎町	山口ナスミ	10,000
21	井戸町	匿名	20,000
22	大阪府	前田まつゑ	43,500
23	五郷町	坪井平二	5,000
24	木本町	中村恵宜	50,000
25	新鹿町	ツルカメ大学 54年度終了生	6,500
26	井戸町	岡内保文	50,000
27	有馬町	山口哲二	10,000
28	"	社会福祉法人 中日新聞社会事業団	110,000
29	井戸町	森岡楠夫	100,000
30	"	平谷農夫会	30,000

№	住所	預託者	金額(円)
31	有馬町	中畑節	2,000
32	井戸町	(仰)河上ハウス	50,000
33	"	(仰)カワカミビル	50,000
34	"	河上横町商店会	111,040
35	"	ジャスコ熊野店	50,000
36	"	ビルボード	30,000
37	"	らいおん	30,000
38	有馬町	匿名	2,700
39	木本町	天理教南紀大教会	20,000
40	育生町	育生町長井区	1,370
41	有馬町	岩本収二	113,842
42	市内	匿名	5,000
43	木本町	木本高校生徒会	27,149
44	有馬町	道澤三郎	100,000
45	木本町	西村佳子	4,000
46	"	浜口卓也	12,232
47	井戸町	向井田亮	150,000
48	木本町	山口晴康	30,000
49	"	天理教青年分会	50,000
50	久生屋町	西和登美	50,000
51	井戸町	片岡生男	50,000
52	有馬町	熊野工業高等 専門学校生徒会	16,400
53	育生町	福山修男	20,000
54	有馬町	東中商店	100,000
55	飛鳥町	鈴木佐和	3,000

## 物品預託

№	住所	預託者	摘要
1	大泊町	桐本堯治	紀南ひかり園 たちばな園へ 毎月2回食料品
2	木本町	柄尾成人	社会福祉 センターへ カーペット

# ポケやねたきりを予防 老人健康体操教室

「一、二、三、四、一、二、三、四…」と、老人のリズムをとる掛声が福祉センターの中に響く。  
 今日も老人が集まって元気に体操。  
 軽く汗をかいた後は、講話を聞く。  
 この心と体の健康体操が、

「健康こそ、最大の幸せである」と、健康体操教室の講師をボランティアとして務める森岡一平先生は、老人向けに「健康こそ、最大の幸せである」と、健康体操教室の講師をボランティアとして務める森岡一平先生は、老人向けに

にだれでも、いつでも、どこでもできるようにと、背骨の運動、関節の運動、内臓の刺激の三つの柱をもとにして考えたのが、この体操です。  
 市社協では、老人自身が健康に対する自覚を持ち、その保持に努めながら、いつまでも健康で地域社会の一員として活躍できるように推進しています。  
 実施日については、新聞紙上などでお知らせしますのでお気軽にご参加ください。



まだまだ若いぞ!

# と存じですか?

▼ロータスクーポン  
このクーポン券は、車イス等の福祉用品やボランティア活動のための資金になります。  
 いのなら、特殊学校(盲、ろ、養護学校)や心身障害、養護関係、児童福祉施設等の教育設備充実のために譲りください。



▼古切手  
医薬品(古切手約四百枚でBCG一本になります)や医療器具に換えて、発展途上国の病気で苦しむ人々を助けるために生かされます。  
 このような私たちの家庭や職場に埋もれているクーポン券や使用済み切手などを集め、その浄財を通じて、地域福祉づくりに役立つ活動を「収集ボランティア」と呼んでいます。  
 だれにでもできる収集ボランティア活動にご協力ください。  
 お問合せは、社会福祉センター内、市社協(電話九一三〇五三)までお願いします。



▼ベルマーク  
もし、あなた自身が使わな

## リハビリ室のご利用を

社会福祉センターでは、体の不自由な人たちの機能回復訓練(リハビリ)に必要な運動療法機器(約三十種類)を備えています。  
 適切な方法で治療や訓練を復帰への道が生まれてきます。  
 リハビリを必要とされる方は、当センターをご利用下さい。



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

No. 14



婦人ボランティアによる手づくりの食事サービス

## 各地区に拡まる 食事サービス

高齢化が進む中で市社会福祉協議会（会長 足立祥典）では、ひとり暮らし老人、ねたきり老人、障害者等に対する在宅福祉サービス事業を重点目標に掲げ、昭和六十二年度より「ひとり暮らし老人食事サービス事業」を、実施しています。社協支部やボランティアなどの方々の温かいご理解とご協力を得て、すでに金山地区、両又地区をはじめとして、昭和六十三年度七月より遊木地区（代表大川妙子社協支部長）、同年十月より二木島地区（代表牧戸社協支部長）そして、平成元年二月より小阪地区（代表富田啓暢社協支部長）において実施され、対象老人に月一回の給食を届けて、老人とのふれあいを深めています。

さらに、その他の地区においても社協支部を中心として実施にむけての協議が進められており、サービス事業による福祉の輪が拡まっています。

「ふれあい」と「おもいやり」のある福祉のまちづくりを進めるためにも皆様の温かいご協力をお願いします。



# 地域福祉活動を推進

## 元年度事業と予算決まる

### 【基本方針】

社会福祉をとりまく諸情勢は非常に厳しい。急速な高齢化、核家族化等の進行に対応した福祉施策が求められ、活力ある福祉社会、自らの力で福祉社会を形成していくことが、重要な課題とされている。

### 【重点目標】

- (一) 地域福祉活動の推進
- (二) 社協機能の充実・強化
- (三) 自主財源の確保
- (四) ボランティア活動の振興
- (五) 広報公聴活動の強化

### 【主な事業】

△会務の運営 役員会、支部



### 新役員のみなさん

去る三月三十日の評議員会において、任期満了による役員の変更が行われ、次のみなさんが就任されました。よろしくお願ひします。(敬称略)

- 会長 足立祥典(木本)  
 副会長 榎本奈良(金山町)  
 理事 大西一弘(木本)  
 田中幹造(井戸)  
 畑中弘生(有馬)  
 牧戸博(木島)  
 大崎弘道(新鹿)  
 嶋崎喜代治(磯崎)  
 櫻野友八郎(木本)  
 根引正俊(有馬)  
 大森三郎(育生)  
 坪井平二(五郷)  
 九鬼禮作(飛鳥)  
 横平常雄(飛鳥)  
 山本一郎(木本)  
 山口好一(井戸)

平成元年度予算一覧表 (単位千円)

一般会計歳入	会費	635 (1.3%)
	補助金	24,245 (50.4%)
	配分金(共同募金・歳末募金)	4,040 (8.4%)
	委託金	13,699 (28.5%)
	繰入金その他	2,993 (6.2%)
合計	48,112 (100%)	
一般会計歳出	会議費	270 (0.5%)
	事務費	9,049 (18.8%)
	事業費	10,646 (22.1%)
	共同募金配分事業費	4,250 (8.9%)
	委託事業費	13,699 (28.5%)
	諸支出金	1,347 (2.8%)
	繰出金	3,158 (6.6%)
借入金返済金	5,593 (11.6%)	
予備費	100 (0.2%)	
合計	48,112 (100%)	
特別会計	心配ごと相談所	200
	助け合い金庫	3,419
	高額療養費貸付事業	2,004
	職員退職給与積立金	5,353
	運用基本積立金	75,037
	善意銀行	2,526
合計	88,539	

長会議、運営委員会の開催

社協・民協の合同研修

共同募金の啓発



△社協組織体制の整備 ① 社協基盤強化計画の実行。② 社協支部組織の強化・育成。③ 地区住民との懇談会等の開催など。

△地域福祉・在宅福祉活動の推進 ① 在宅福祉サービス事業の実施。② 家庭奉仕員派遣サービス事業の実施。③ 地域福祉活動推進地区連絡会議の開催。④ 民生委員協議会との連携及び活動に協力。⑤ 福祉のまちづくりの推進。

△広報啓発活動 ① 社協だよりの発行など。

△ボランティアセンターの運営と活動の強化 ① ボランティア養成講座の開催。② ボランティアのグループ化、ボランティア推進活動 ① 老人、心身

△共同募金・歳末たすけあい募金運動の実施。

△心配ごと相談所の運営

△善意銀行の運営と推進

△福祉教育の振興 ① 福祉協力校の指定。② 一日福祉体験教室への参加。

△福祉推進活動 ① 老人、心身

△その他

組織化を図る。

△低所得者福祉対策 ① 各種福祉資金の貸付など。

△社会福祉センターの運営

△各種大会の開催 ① 老人福祉大会、ゲートボール大会などの開催。

△障害者、母子寡婦等への福祉活動の推進。

△その総額は、四千八百一十一万二千円で、歳入の主なものは、補助金(五十・四割)並びに委託金(二八・五割)が主体で、その他共同募金、歳末募金の配分となっています。

歳出面では、事業費、委託事業費、共募配分事業費を合わせると二千八百五十九万五千円で全体の五十九・四割を占めています。

予算総額は  
四千八百万円

元年度の子算は事業計画で説明の通り、重点目標の五項目を柱として、特に地域福祉、在宅福祉活動を中心にそれぞれの地域にあった事業を推進していくことを最重要として編成しました。



# 地域住民とともに

## 社協活動に温かいご協力を

### 社協会員にご加入を

「自からの健康と生活は自ら守る」という姿勢をもち、行政と共に積極的に身近にある問題を見つけ、みんなで解決すべく努力するよう働きかけるのが社会福祉協議会(社協)の任務です。

当社協においても、その事業の一環として、社会福祉事業増進のため積極的な住民参加及び行政諸機関、団体との密接な協力と連携をもって、福祉施策の充実、地域福祉活動の推進に努めています。

位の会費(一口五千円)、寄付金で行っていますが、さらに、きめ細かな福祉サービスを進めるためには、一層の資金が必要となっています。

特に、在宅福祉施策が重視されている今日、社協では地域福祉推進のために、これらの事業を着実に強化し、福祉の増進を図っていきたく念願しています。

福祉のまちづくりのため、本会の趣旨にご理解ご賛同をいただきまして、会員にご加入くださるようお願いいたします。

### 福祉の狙い手づくりを

地域福祉の充実のためには、直接、福祉にたずさわる人々だけでなく、地域に住む住民だれもが福祉に対し正しい理解をもち、温かい心で老人、障害者などに接することが大切です。

また、老人、障害者のかかえる問題を理解するとともに、ボランティア活動を実際に経験する機会を多く持つことが必要です。

### 住民主体の地域づくり

地域福祉推進の主体は近隣住民です。そこに住む人々が互いに協力しあい、見守り、助けあつていくという環境をつくること、現在とくに求められています。

社協は、住民が主体的に、そして、積極的に参加、協力していく「明るい福祉のまちづくり」を今後ともすすめていきます。

### 社協は地域福祉の中核

昭和五十八年、市町村社協の法制化に伴い、社会福祉事業法が改正され、社協は、地域福祉推進の中核的機関として位置づけられています。

## 助け合いと励まし合いの心

熊野市福祉事務所長 畑中 弘生

昨年四月、福祉事務所長の拝命を受けまして、早や一年となりますが、この間、皆様方の絶大なご支援とご指導を賜り、お陰様で大過なく勤めさせて頂きましたことを厚くお礼申し上げますと共に、今後とも一層のご支援とご協力の程をお願い申し上げます。

何に打開していくか、その対応に迫られているところです。このような状況の中で、市社会福祉協議会を柱として、各福祉関係者の諸団体の皆様

方に、それぞれの立場で地域福祉の向上に献身的な活動を展開され、市の福祉行政に對しまして、多大のご協力をいただいていることに對し、

助け合いの心が、不可欠となつてきております。今、市社協を初め、各支部の皆さんはもとより、民生委員、ボランティアの皆さん等

等関係者の方々も地域福祉のために日夜、ご苦勞をいただいておりますが、こうした地域住民のご理解とご協力をいただきながら、みんなをわしあわせなまちづくりの向上に取り組みんでいきたいものと念ずるものであります。

**お気軽においでください  
心配ごと相談所**

○とき 毎週水曜日  
AM9:00~PM4:00

○ところ 市社会福祉センター



### 支部だより

市社協支部(一八支部)では、住民参加による福祉活動を展開するため、各種事業に取り組んでいます。ことし、支部長に就任されたかたは次のみなさんです。(敬称略)

須野、雨母、佐藤、隆山、二木島、牧戸、博、遊、木、大川、妙子、新、鹿、大崎、弘道、波田、須、中、峰、留、雄(代表)、磯、崎、鳴、崎、喜、代、治、大、泊、松、本、卓、治、木、木、樫、野、友、八、郎、井、戸、田、中、幹、造、有、馬、根、引、正、俊、久、生、屋、徳、田、米、一、金、山、島、田、弘、男、育、生、大、森、三、郎、神、川、倉、屋、功、五、郷、坪、井、平、二、日、進、九、鬼、禮、作、小、阪、富、田、啓、暢、兩、又、横、平、常、雄



### 善意銀行だより

63年4月1日から元年3月31日までに善意銀行に寄せられました金品・労力・物品は、下表のとおりです。皆様の尊い善意に厚くお礼申し上げます。

#### 現金預託

No.	住所	氏名	金額(円)
1	井戸町	熊野市 駅長	33,640
2	"	紀南エビネ会	22,050
3	新鹿町	喜田 和弘	50,000
4	有馬町	和田 あい子	50,000
5	"	久保 裕史	100,000
6	"	山川 勇	100,000
7	磯崎町	濱上 吉雄	500,000
8	木本町	西村 秀夫	50,000
9	"	木本町とプス17ー組合	10,000
10	有馬町	谷合 清満	2,000
11	井戸町	河上 孝博	1,000,000
12	岐阜県	野村 忠明	20,000
13	井戸町	陰地 澄子	6,000
14	飛鳥町	庵前 武雄	200,000
15	井戸町	井本 芙美子	473
16	"	倉谷 真澄	50,000
17	五郷町	辻本 正照	10,000
18	木本町	第三五銀行 労働組合前野分金職員一同	14,000
19	二木島町	金成 水産	100,000
20	五郷町	齊藤 仁見	10,000
21	"	第八回福祉開募大会	25,500
22	井戸町	河上 ハウス	50,000
23	井戸町	河上横町商店会	50,000
24	"	横町納税組合	50,000
25	"	高砂建設株式会社旗野営業所	30,000
26	"	匿名	10,000
27	"	"	3,000
28	木本町	植中 稔雄	100,000
29	"	匿名	20,000
30	木本町	足立 祥典	10,000
31	"	中西 俊也	200,000
32	"	足立 祥典	5,000
33	飛鳥町	阪口 正治	50,000
34	"	中日新聞社会事業団	160,000
35	有馬町	世話人 速水操	65,110
36	"	福本 義治	100,000
37	五郷町	小高 百合子	5,000
38	桜井市	小高 義治 三栄製菓店職員	100,000
39	久生屋町	岩本 千枝子	100,000
40	尾鷲市	森本 幸吉	40,000

No.	住所	氏名	金額(円)
41	奈良県	二村 秀光	10,000
42	有馬町	谷垣内 弘和	2,400
43	飛鳥町	杉谷 安二	30,000
44	木本町	柳本 覚三	10,000
45	二木島町	柳井 本組	100,000
46	"	二木島漁業協同組合	30,000
47	金山町	森 呂 滋	100,000
48	飛鳥町	後本 とみ江	2,000
49	井戸町	永田 秀夫	50,000
50	新鹿町	喜田 三千雄	100,000
51	井戸町	市 総務 課	2,200
52	"	善意銀行の箱	2,975
53	"	歳末助け合い募金配分金	26,307
54	飛鳥町	福山 彰夫	100,000
55	井戸町	山口 昇	50,000
56	大泊町	山本 稀祥	100,000
57	木本町	中森 輝雄	35,000
58	育生町	匿名	300,000
59	二木島町	牧戸 博	30,000
60	有馬町	小山 章	500,000
61	木本町	鈴木 貞一	300,000
62	広島市	黒川 守	100,000
63	五郷町	坪井 希早子	6,249
64	二木島町	井本 杉晴	1,000,000
65	有馬町	道澤 三郎	100,000
66	久生屋町	西 強	1,000,000

#### 技術・労力預託

1	久生屋町	田辺 純	障害者介護
2	金山町	小井みづの他36名	給食サービス、その他
3	二木島町	内田 悟他44名	"
4	遊木町	堀中一己他24名	"
5	井戸町	片岡さゆり他64名	"
6	飛鳥町	榎屋忠子他61名	"
7	新鹿町	中口ヒロエ他9名	"
8	飛鳥町	池本洋子他51名	"

#### 物品預託

No.	住所	氏名	摘要
1	飛鳥町	阪口 正治	車椅子
2	井戸町	三角田 慎二	簡易浴槽

## 簡易浴槽のご利用を

なたきり老人・障害者のために  
市社協では、本年一月から簡易浴槽(室内風呂)の貸出事業を始めました。  
この事業は市内に在住するなたきり老人や障害者等をかえる家庭に対し、簡易浴槽を貸出しすることにより、家族の介護負担の軽減となたきり老人や障害者等の健康の維持を図り、明るい生活が出来るようにと実施するものです。  
一、貸出期間 一回三日間。  
二、使用料 一回につき百円。  
三、浴槽の種類(三種類)  
Aタイプー風呂の湯を直接、電動ポンプで浴槽にためて使

Bタイプー湯沸し器から直接浴槽に湯をためて使う。  
Cタイプー室内でガスボンベを使用して、浴槽に湯をためて使う。  
以上、三種類があり、ご希望のタイプが選べます。  
四、申込み方法 事務局備え付けの申込書にご記入の上、申し込んで下さい。  
尚、お問い合わせは、市社協事務局(社会福祉センター内、九局三〇五三番)ご連絡下さい。



簡易浴槽

#### ▼世帯更生資金貸付

市社協では、市内在住の方で他かやの借入れが困難な低所得者、身体障害者のいる世帯に世帯更生資金を貸付けています。  
この資金は、生活の向上に役立て、世帯の経済的自立を図ることを目的としており、各資金の貸付対象者及び貸付限度額は次のとおりです。  
◇生業資金 新しく事業を始めた方や拡張したい方に、九十一万円まで。  
◇支度費 就職したがその準備費用に困っている方に七万五千円まで。  
◇技能修得費 各種の資格をとりたがその費用に困っている方に、月額一万九千円まで。  
◇生活資金 夫が入院して療養資金を借りたが家族の生活が苦しく、困っている方に、月額五万四千円まで。  
◇福祉資金 冠婚葬祭などで一時的に資金が必要になった方や障害者や老人の福祉機器を購入したい方に、二十一万円まで。

#### ▼市助け合い金庫貸付

市内在住の方でとつぜん経済上の困難を招き、資金が必要となった方を対象に、無利子で十万円まで貸付けします。

#### ▼高額療養費貸付

国民健康保険の被保険者で、療養費の支払いが困難となり、一部負担金の支払い資金が緊急に必要であると認められた方を対象に月あたり十万円まで貸付けします。

### 福祉資金貸付のご案内

これらの貸付資金についての問い合わせは、地区担当民生委員さんまたは、福祉センター内市社協(電話九一三〇五三)で受け付けていますのでご相談下さい。

◇住宅資金 住宅が古く改築したいが、その費用に困っている方に、百五十万円まで。  
◇療養資金 夫や家族が入院し、その費用に困っている方に、二十万円まで。  
◇災害援護資金 火災や風水





# 社協だより



(社協シンボルマーク)

No. 15



大桑氏の寄付により購入した移動入浴車

## 三月から入浴事業開始 ねたさきり 移動入浴車を派遣 老人など

市社会福祉協議会(足立祥典 会長)は、二月二十一日の理事会で入浴事業実施について協議した。

し、実施要綱の承認と三月から事業を開始することを決めました。

この事業は、ねたさきり老人等の保健の向上と福祉の増進を図ることを目的としており、対象者は、市内の概ね六十五歳以上のねたさきり老人及び重度障害者で、医師が入浴可能と認められた者で各家庭において入浴が困難な方の家庭に移動入浴車を派遣して、看護婦、ホームヘルパーなどが入浴のお手伝いをするものです。

事業の利用を希望される方は、地区担当の民生委員さんか福祉センターに備えつけの申込書に必要な書類(医師の意見書、誓約書)を添付して、申込んで下さい。申込み期間は、毎月一日から十五日までとし、入浴日については、毎月二十日から月末までの間で、文書にて通知します。利用料は、一回千円です。詳細については、市社協事務局(電話九一三〇五三番)へお問い合わせ下さい。

尚、この入浴車は株式会社オクトワ取締役社長大桑祥男氏が同社の創業三十周年を記念し、移動入浴車の購入資金として、五百万円を寄付され、社協がこれのお金で、購入したものです。同車には、寝たままの状態に入れる浴槽や三百リットのタンク、ボイラーなどが装備されています。

## 貸付の案内

### ◆世帯更生資金貸付制度

他の資金からの借入れが困難な所得の少ない世帯や身体障害者世帯の方がたに、低利(三パーセント)で資金を貸付け、世帯の経済的自立をはかることを目的とした制度です。

〇世帯更生資金の種類と貸付限度額

〇住宅資金(家の増改築など) 百十万円。

〇修学資金(高校、大学などに修学するのに必要な経費) 月額一万一千円から二万九千円。

〇更生資金(生業を営むのに必要な経費など) 百万円。

〇療養資金(病氣、負傷の治療に必要な経費など) 二十五万円。

またこの他にも目的に応じた資金の貸付を受けられます。

### ◆市助け合い金庫貸付制度

何らかの事情で、急に生活に困っているかたにお貸しする資金です。

貸付限度額十万円。

申込みなどの詳細については、必ず地区民生委員または、市社協事務局(社会福祉センター内)で受付けていますのでご相談下さい。



# 食事、排せつで2/3が介助必要

## 市内のねたきり老人は百二十二名

支援を要する人々の実態や福祉ニーズを把握し、今後の地域福祉、在宅福祉を推進していくための重要な基礎的資料として今回、民生委員によるねたきり老人の実態調査を行いました。

この結果、熊野市におけるねたきり老人は、百二十二名（男四十五名、女七十七名）で年齢別人口の占める割合は一・八七パーセントとなっています。また、七十歳以上でねたきり

熊野市のねたきり老人年齢別人数と人口比率

年齢別	ねたきり老人人数(人)			人口比率	
	男	女	計	人口(人)	比率(%)
60～64歳	1	1	2	1,873	0.11
65～69歳	1	3	4	1,449	0.28
70～74歳	4	10	14	1,178	1.29
75～79歳	15	10	25	1,024	2.44
80～84歳	14	16	30	611	4.91
85～89歳	8	20	28	307	9.12
90歳以上	2	17	19	83	22.89
計	45	77	122	6,525	1.87

地区別のねたきり老人人数と人口比率

地区別	ねたきり老人人数(人)			人口比率	
	男	女	計	人口(人)	比率(%)
須野	1	0	1	20	5.00
甫母	1	1	2	87	2.30
二木島	2	3	5	270	1.85
遊木	2	0	2	193	1.04
新鹿	3	9	12	509	2.36
波田須崎	2	1	3	136	2.21
磯崎	0	3	3	206	1.46
大泊	0	0	0	91	0
大木本	8	13	21	1,085	1.94
井戸	3	9	12	743	1.62
有馬	6	9	15	1,155	1.30
久生屋	0	0	0	166	0
金山	2	4	6	196	3.06
育生	5	5	10	267	3.75
神川	2	1	3	268	1.12
五郷	5	9	14	482	2.90
飛鳥	3	10	13	651	2.00
計	45	77	122	6,525	1.87

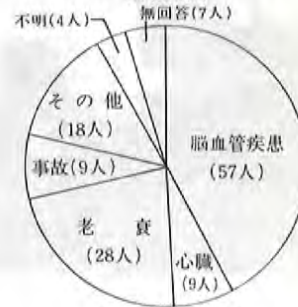
(注) 人口は平成元年9月30日現在の60歳以上の人数

となつている老人の方は、全体の九割以上を占め、このうち、八十歳以上八十九歳未満の高齢のねたきりの方は、約半数を占めています。

今回の調査の主な項目をみると、食事、排せつでは介助が必要とされるねたきりの老人が三分の二以上を占め、入浴では不定期ながらお風呂に入っている人が約二分の一でした。

次に介護者の疲労度、費用の負担をみると、肉体的、精神的、経済的な負担がかなりかかっていることが分かります。

ねたきりになった原因 (重複回答)



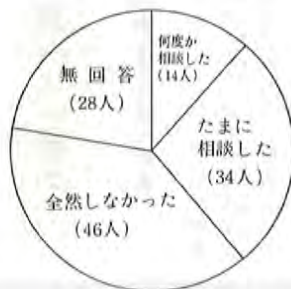
ねたきり期間 (重複回答)



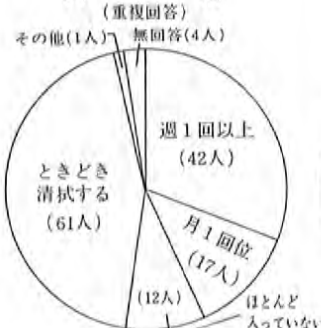
排せつ (重複回答)



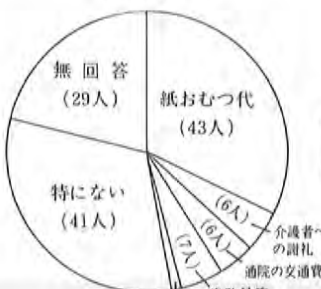
社会福祉関係への相談



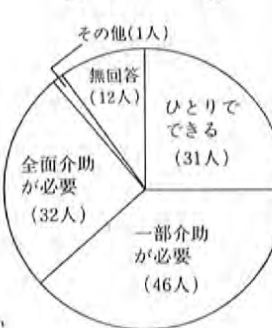
入浴 (重複回答)



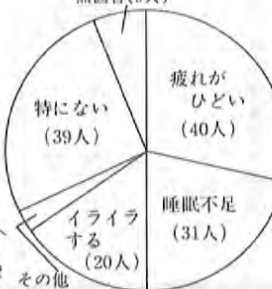
介護費用の負担 (重複回答)



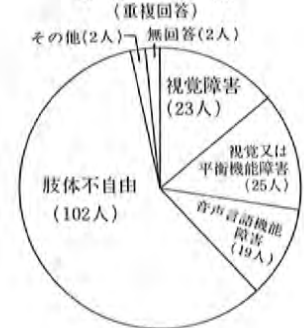
食事 (重複回答)



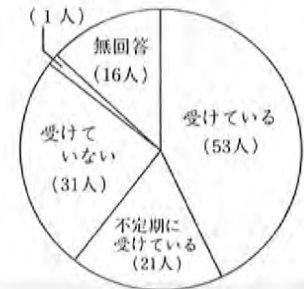
介護者の疲労度 (重複回答)



身体の状態 (重複回答)



健康相談





**ご協力ありがとうございました**

**共同募金 331万円**

**歳末助け合い 224万円**

**食事サービスに関する意識調査結果**

ひとり暮らし老人を対象とした食事サービス事業も、地域のボランティアの方々の温かいご協力により現在、金山、両又、遊木、二木島、小阪地区と元五月より実施の井戸地区を加え、六地区で手料理のお弁当が対象世帯に届けられ、喜ばれています(別表参照)

市社協では今回、一年以上実施の五地区でサービスを受けて

いるひとり暮らし老人対象者に料理に対してのご意見をお聞きし、その結果をとりまとめました。この結果を参考に、今後の活動に生かしていきたいと考えています。

(別表)

地区	ボランティア	対象者
金山	31人	34人
両又	52	6
遊木	35	15
二木島	45	13
小阪	60	15
井戸	73	44

◇集計結果

- 好きな種類のたべものを2つ選んで下さい。
 

肉類17人	魚類55人	貝類1人	野菜類57人	穀物類8人	果物類4人	めん類7人	なし7人
-------	-------	------	--------	-------	-------	-------	------
- 好きな料理方法について2つ選んで下さい。
 

揚げもの22人	煮物65人	焼きもの19人	生もの41人	汁もの2人	揚げもの3人	蒸しもの5人	なし1人
---------	-------	---------	--------	-------	--------	--------	------
- 今までの献立でおいしかったものを3つあげて下さい。
  - みんなおいしかった 25人
  - すし 23人
  - 煮物 22人
  - たきこみごはん 20人
  - 和えもの 17人
  - 揚げもの 9人
  - 焼きもの 6人
  - 無 22人
- ご飯の炊き方はどうですか。
 

ちょうどよい 77人	少し少ない 4人	少ない 1人
------------	----------	--------
- おかずの量は どうですか。
 

ちょうどよい 74人	少し多い 7人	多い 1人	少し少ない 1人
------------	---------	-------	----------
- 味付けは どうですか。
 

ちょうどよい 82人	少し少ない 1人
------------	----------
- 配食された日に全部食べますか。
 

全部食べる 57人	一部残す 20人	6人	無回答
-----------	----------	----	-----

昨年末の「赤い羽根共同募金」と「歳末助け合い募金」には、市民の方から総額五百五十五万円もの多額の義援金が寄せられました。

これもひとえに皆様の暖かいご支援とご協力をいただいたものと厚くお礼申し上げます。

各募金運動の結果は、表Iのとおりでした。

**共同募金**

募金実績額は、三百三十一万九千九百六十円で、目標額を六十二万九千六百四十円上回りました。

このお金は県共同募金会に送金した後、民間の社会福祉施設や社会福祉協議会の福祉活動資金としてその一部が還元されて

きます。

**歳末助け合い募金**

募金実績額は、二百二十四万八千六百七十一円で、このお金は年末に生活保護世帯やねたきり老人、重度障害者、施設入所者などの方がたに少しでも楽しいお正月を迎えていただくために配分いたしました。(表II)



©中央共同募金会

(表II) 歳末たすけあい募金配分表

配分対象	配当金(円)
生活保護世帯	352,000
準援世帯	769,000
ねたきり老人	196,000
在宅重度身障者	51,000
在宅重度精薄児(者)	48,000
長期入院患者	86,000
たばな園	76,000
松涛園	26,000
宝寿園	24,000
紀南ひかり園	44,000
グリーンプラザ	36,000
市外老人ホーム入所者	20,000
市外身体・精薄者施設	20,000
児童福祉施設入所者	24,000
交通遺児	24,000
更生・身障医療者	48,000
更救護施設入所者	4,000
生保の重度障害者	55,000
小計	1,903,000
市助け合い金庫	175,234
市社協基金	100,000
事務費	70,437
合計	2,248,671

(表I) 共同募金・歳末たすけあい募金結果表

地区	共同募金(円)	歳末助け合い(円)
須野	8,000	7,500
須母	69,490	10,000
二木島	135,294	34,316
遊木	109,080	38,500
新鹿	161,277	113,300
波田須	50,900	32,500
磯崎	73,600	59,000
大木泊	47,475	37,000
大木本	633,300	197,600
井戸馬	450,912	187,850
有馬	493,400	270,600
久生屋	100,830	65,280
金山	94,010	40,000
育生	253,953	85,500
神川	208,410	223,200
五郷	97,337	62,100
飛鳥	107,200	94,200
その他	225,492	690,225
計	3,319,960	2,248,671

(表II) 歳末たすけあい募金配分表



### 善意銀行だより

#### 現金預託

№	住所	預託者	金額(円)
1	大泊町	原田 その	200,000
2	有馬町	谷垣内 弘和	2,400
3	"	鈴木 正登	1,500
4	木本町	脇本 恵生	100,000
5	"	玉置 弘	200,000
6	有馬町	藤田 徹	100,000
7	井戸町	松田 ちか	200,000
8	木本町	天理教婦人会南記支部	50,000
9	井戸町	匿名	20,000
10		第9回福祉囲碁大会	2,950
11	井戸町	大川 千枝	100,000
12	神川町	長村 敏夫	100,000
13		中日新聞社会事業団	170,000
14	金山町	島田 弘男	50,000
15	有馬町	和泉 房子	20,000
16	"	山門 祥秀	100,000
17	大阪府高槻市	西 彊	1,000,000
18	飛鳥町	中田 佳子	100,000
19	遊木町	浜地 とのえ	5,000
20	有馬町	木田 陽子	300,000
21	五郷町	天理教神郷分教会	100,000
22	飛鳥町	皿屋 豪一郎	50,000
23	二木島町	備井本組 井本杉晴	200,000
24	木本町	山本 みさ	100,000
25	井戸町	河上横町商店会	50,000
26	"	河上ハウス・カワカミビル	50,000
27	"	ジャスコ(株)熊野店	50,000
28	"	スナック みち汐	30,000

元年4月1日から2年2月28日までに善意銀行に寄せられました金品は、下表のとおりです。  
皆様の尊い善意に厚くお礼申し上げます。

№	住所	預託者	金額(円)
29	井戸町	さいたま	30,000
30	有馬町	仲森 嘉一	50,000
31	御浜町	山門 正也	100,000
32	有馬町	谷垣内 弘和	2,400
33	飛鳥町	横平 高明	100,000
34	有馬町	岩本 力	50,000
35	"	鈴木 正登	1,500
36	木本町	第三銀行 労働組合 労働野分	15,000
37	五郷町	坪井 平二	80,000
38	有馬町	大江 千紘	6,112
39	"	速水 三郎	100,000
40	井戸町	匿名	100,000
41	二木島町	備井本組 井本杉晴	100,000
42	"	二木島漁業協同組合	20,000
43	豊田市	澤平 昭太郎	100,000
44	飛鳥町	天理教婦人会 飛鳥委員部	100,000
45	木本町	鶴オーク 取締役社長 大桑 祥男	5,000,000
46	育生町	永田 充徳	20,000
47	井戸町	松田 光司	1,000
48	育生町	大森 三郎	100,000
49	磯崎町	安藤 道規	150,000
50	井戸町	井戸老人クラブ(喜楽会)	490
51	木本町	前川 暁人	100,000
52	井戸町	金島林労働組合 東海地方本部平委分	27,448
53	木本町	木本高等学校吹奏楽部	50,000
54	井戸町	森本 清十郎	100,000
55	井戸町	鈴木 理一	100,000

### ご利用下さい センターのリハビリ室

社会福祉センター機能回復訓練(リハビリ)室は、身体の不自由な人たちの機能回復訓練に必要な運動療法機器(約三十種類)を備えています。  
リハビリは、脳血管障害や交

通事故などで肢体不自由となり、その後遺症によって身体の機能を低下させないために、機器を使って運動を行うものです。  
何んの訓練・運動もせず、そのままの状態でおれば身体の機能が低下し、ねたきりなどの原因となります。病院でリハビリの指導を受けていた方や在宅で訓練を続けている方は、当センターをご利用下さい。



リハビリ器具の一部

### お気軽においでください 心配ごと相談所

- とき 毎週水曜日 AM9:00~PM4:00
- ところ 市社会福祉センター



**社協旗争奪ゲートボール大会の結果**  
市社会福祉協議会主催、市老人クラブ連合会後援による、第三回市社協旗争奪老人ゲートボール大会が去る十一月二十七日、市営ゲートボール場において開催されました。  
この大会には、市内の老人クラブより二十一チーム、百四十七名が出場し、青空のもと、老人のはつらつとしたプレーが展開され、日ごろの練習の成果をふるに発揮していました。  
選手、審判の皆さんご協力ありがとうございました。  
結果は次のとおりでした。  
優勝 久生屋Bチーム  
二位 神川Bチーム  
三位 木本Bチーム  
育生チーム

### 第9回福祉囲碁将棋大会の結果

市社協主催による第九回福祉囲碁・将棋大会が、それぞれ社会福祉センターで、次のとおり開催されました。  
結果は次のとおりです。  
福祉囲碁大会  
開催日 元年六月二十五日(日)  
参加者 六十五名  
(A級)優勝 平田 博  
準優勝 赤根宏行  
(B級)優勝 堀内利行  
準優勝 西川啓一  
福祉将棋大会  
開催日 元年七月九日(日)  
参加者 二十三名  
(A級)優勝 奥 利夫  
準優勝 森本静雄  
(B級)優勝 浜中増也  
準優勝 榎本 勉  
(敬称略)



# 社協だより



(社協シンボルマーク)

№. 16



## 助け合い、支え合う 福祉のまちをめざして

今、住民一人ひとりが社会の一員として自立し、高齢者になっても、いろんな障害があっても、できるかぎり社会に参加し、助け、支え合えるさまざまなくみを整え、家族や地域の人々とともに生きがいと幸せを実感できる社会をつくることが求められています。

それは、お互いに相手の立場を認め合いながら、お年寄りも、若い人も、障害のある人もない人も、ともに生きる道を求めて支え合い、助け合うことにより、個性豊かに生きることのできるまちづくりからです。

市社会福祉協議会では、福祉のまち熊野をめざして、さまざまな取り組みを行っています。

より多くの方々のご理解とご協力をお願いいたします。

(写真は、障害者の友愛のつどいでのコマです。)



# ねたきりのお年寄りや重度の障害者の方に 移動入浴車派遣サービス事業

## 利用申込みは三月より受け付けします

移動入浴車月別利用状況  
(平成2年4月～11月)

実施月	申込件数	実施件数	内 訳	
			老人	身体障害者
4	6	5	4	1
5	7	5	5	0
6	6	6	5	1
7	6	5	5	0
8	8	8	7	1
9	10	9	8	1
10	11	11	10	1
11	15	15	13	2
計	69	64	57	7

○利用男女別  
 老人……男12名、女45名  
 身体障害者……男2名、女5名

昨年の三月からスタートしました、移動入浴車派遣サービス事業も一年目を迎えました。この事業は、ねたきりのお年寄り(概ね六十五歳以上)や重度の障害者を対象に、入浴が困難な家庭に移動入浴車を派遣するものです。

入浴車から家の中に浴槽を運び、一定に保たれたお湯を溜め、看護婦による健康チェックを受けた後、ホームヘルパーが手際よく入浴のお手伝いをします。

入浴時間は、約七分程度ですが、入浴後も健康チェックをして、終了します。

ご利用いただいている方からは、毎月の入浴を心待ちにされています。

喜んでいただいています。尚、三月より申込み受け付けを行いますので、ご利用下さい。延べ六十四人が利用。昨年の四月から十一月までに延べ六十九件の申込みがあり、延べ六十四人(ねたきりのお年



好評の移動入浴車

寄り五十七人、障害者七人)の方々にご利用いただきました。※十二月から二月の間は、寒冷期のため、入浴サービスは休ませていただきました。



おばあちゃん気持ちいいですか

地区担当の民生委員さんか福祉センター備えつけの申込書に必要な書類(医師の意見書、誓約書)を添付して申込んで下さい。

〈申込み方法〉  
 一回 千円です。

〈入浴料〉  
 毎月二十日から月末までの間で、文書にてご連絡します。

〈入浴日〉  
 詳しいことは、市社協事務局(電話九一三〇五三番)へお問い合わせ下さい。

### 社会福祉法人 定款を変更

熊野市社会福祉協議会の定款が、社会福祉事業法の改正に伴い、大幅に変更されました。

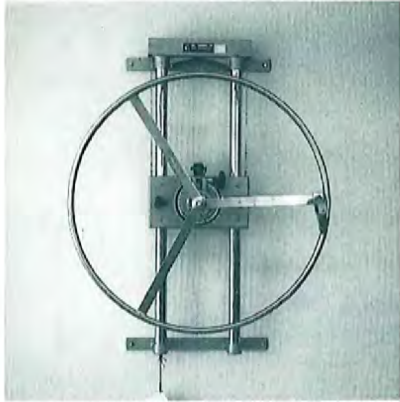
法制化にともない、社会福祉協議会が地域福祉推進の中核的機関として位置づけられたのを機に、社会福祉関連法案の改正などもあり、定款の変更が求められていました。

そして、平成二年十二月の理事会、三年一月の評議員会でそれぞれ、定款変更についての承認を得て、三重県知事に認可申請を提出し、この二月七日に知事の認可を得たものです。

変更後の定款は、認可の日をもって施行日となっていますので、二月七日より適用してまいります。

- 〈変更の主なるもの〉
- 一、各条文の整備
  - 一、目的と事業の明確化
  - 一、役員の責任体制を明確化
  - 一、評議員定数の改正  
(四十五名を三十五名に)
  - 一、許可・認可の委任事務の変更(厚生大臣から三重県知事に)
  - 一、その他





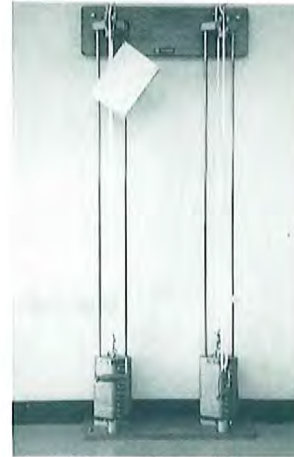
**肩関節輪転運動治療器**

肩関節の運動範囲の増大や筋力の増強などの治療器



**手首背屈運動治療器**

手指関節の可動範囲の増大や手指筋の増強などの治療器



**滑車重錘運動器**

上肢、下肢の抵抗自動運動を行い、筋力増強などに使用する治療器



福祉センターの  
**リハビリ  
器械  
器具  
ご紹介**

医師の指導を受け、機能回復訓練(リハビリ)を必要とされている方は、当センターリハビリ室をご利用下さい。尚、詳しいことは事務局(九局三〇五三番)で、お問い合わせ下さい。

その他の器械・器具

- エキスパンダー
- グリップ練習器
- 歩行補助平行棒
- 歩行訓練用傾斜板
- 懸垂桿付肋木
- 姿勢矯正鏡
- 訓練用ベッド
- 松葉杖 など



**潜艇運動治療器**

全身の筋力増強と体力養成の運動治療器



**回内外運動治療器**

上肢の麻痺患者あるいは、上肢関節の回内外の運動治療器



**自転車運動器**

筋力増強や内臓諸器官の強化に用いる運動器



**つまみ動作訓練器**

手指の複合動作及び巧緻性訓練の治療器



**歩行補助車**

歩行訓練、関節症患者の歩行補助器





まごころを♥ありがとうございました

# 善意銀行

平成 2 年 4 月から 3 年 2 月までに寄せられました温かいご寄付をご紹介します。

住 所	氏 名	金 額	住 所	氏 名	金 額
有馬町	三石 進一	2,405	木本町	杉村 忍	5,000
井戸町	森本 よし	50,000	有馬町	坂内 義之	700,000
五郷町	谷端 尚	100,000	紀宝町	匿名	50,000
市内	匿名	10,000	井戸町	山口 利文	28,000
有馬町	谷垣内弘和	2,550	有馬町	鈴木 正登	1,500
有馬町	鈴木 英	1,500	有馬町	谷垣内弘和	2,550
有馬町	仲森 知穂	100,000	市内	匿名	10,000
有馬町	山口 弘	50,000	木本町	嶋崎 正治	5,000
木本町	新宮信用金庫木本支店	1,758	木本町	熊野商工会議所	100,000
飛鳥町	花尻 健	100,000	有馬町	山形 とみ	200,000
飛鳥町	岩本 節夫	100,000	熊野市	熊野四駆会	30,000
津市半田	栗本 俊雄	50,000	遊木町	浜地 敬	50,000
井戸町	浜田 正恭	7,000	井戸町	井本組 井本杉晴	100,000
井戸町	匿名	20,000	五郷町	坪井 平二	80,000
井戸町	森岡 一平	5,000	木本町	岡本 健	100,000
木本町	足立 祥典	10,000	木本町	杉村 たまゑ	10,000
五郷町	仮屋 保弘	50,000	飛鳥町	田中 一生	1,233
木本町	那須 孝好	50,000	横浜市緑区	久保 清	200,000
波田須町	矢賀きぬゑ	100,000	新宮市	市谷 忠男	50,000
井戸町	上地 博郎	100,000		三光建設 阪口政助	100,000
有馬町	佐野 良雄	500,000	飛鳥町	中村 豊太	20,000
二木島町	井本組 井本杉晴	300,000	井戸町	匿名	1,780
市内	匿名	1,260	尾鷲市	玉置 政夫	100,000
市内	匿名	516	有馬町	須田 安勝	100,000
飛鳥町	福山 晴美	500,000	木本町	中森 輝雄	37,651
木本町	大崎喜之 他 7 名	200,000	東大阪市鳥居町	島田タイル 嶋田芳郎	500,000
五郷町	峪口 芳	20,000	飛鳥町	西 淳一	200,000



合 計 五、二一四、七〇三円

○台風十九号被災者御見舞 一〇〇、〇〇〇円

○将棋クラブ 一〇、〇〇〇円

○雑草の広場 二〇、〇〇〇円

○社協日進支部 二〇、〇〇〇円

○社協金山支部 七五〇、〇〇〇円

○社協二木島支部 六〇〇、〇〇〇円

○社協小阪支部 六五〇、〇〇〇円

○社協五郷支部 一三〇、〇〇〇円

○助け合い金庫 一七、〇五二円

○社協基金 二、九一七、六五一円

善意銀行では、ご寄付をいただいた方々のご意志に添って、次のとおり社協支部や福祉団体などに払い出しをし、福祉向上のため有効に活用させていただいています。



# ひとり暮らし老人に まぶくろのふれあい弁当

「元氣かい。何か変わったことありませんか。今日は給食の日で、お弁当を届けにきたよ。」  
「おおきに。これがくるのが待ちどおしてのお。」  
ボランティアによる手づくりのふれあい弁当が毎月一回、ひとり暮らしのおじいちゃん、おばあちゃんに届けられています。

昭和六十二年度から推進してきました「ひとり暮らし老人給食サービス事業」です。金山地区から始まったものが両又、遊木、二木島、小阪、井戸、五郷地区と拡まり、住民の方々の深いご理解とご協力をいただいています。そして、心あたたまるボランティア活動がひとり暮らし

し老人に大変喜ばれています。

## 磯崎地区給食サービス実施

二月二十四日(日)、磯崎地区で、六十七名のボランティアの参加をいただき、第一回目のサービスを実施し、十七名のおじいちゃん、おばあちゃんにふれあい弁当が届けられました。



ふれあい弁当



おじいちゃん温かいお弁当ですよ

## 給食サービス月別実施状況 (平成2年4月～3年1月)

月	金山		両又		遊木		二木島		井戸		小阪		五郷	
	対象者	VO	対象者	VO	対象者	VO	対象者	VO	対象者	VO	対象者	VO	対象者	VO
4	35	7	9	7	15	5	15	3	45	18	19	8		
5	34	8	8	10	15	5	15	5	45	12	19	12		
6	35	8	8	7	16	5	14	5	44	18	19	10		
7	35	8	9	7			52	33	44	19	19	10		
8														
9			15	9	16	5			42	20	19	8	22	18
10	35	7	17	8			18	5			17	8		
11	34	9	17	9					48	22	18	8	20	12
12	33	8	16	8	16	5	17	5	48	20	17	8	20	13
1	31	10	19	10							22	12		
計	272	65	118	75	78	25	131	56	316	129	169	84	62	43



おいしい料理を心こめて

各地区で活動している給食ボランティア・グループをご紹介します。

- 尚、①地区名 ②代表者名 ③会員数 ④活動開始年月日 ⑤実施日です。
- ⑤オレンジ
- ①金山地区 ②榎本ちづか ③三十名 ④昭和六十二年十月 ⑤毎月十五日
- ⑤かじか
- ①飛鳥町両又地区 ②横平常雄 ③五十二名 ④昭和六十三年四月 ⑤毎月第二日曜日
- ⑤サンマ
- ①遊木地区 ②大川妙子 ③二十六名 ④昭和六十三年七月 ⑤毎月第三日曜日
- ⑤二木島給食ボランティア
- ①二木島地区 ②波戸ちかゑ ③四十五名 ④昭和六十三年十月 ⑤毎月第二日曜日



お弁当を持って出発

- ⑤小阪給食ボランティア
- ①飛鳥町小阪地区 ②久保ちかゑ ③六十名 ④平成元年二月 ⑤毎月中旬の日曜日
- ⑤井戸給食ボランティア
- ①井戸地区 ②森本泰 ③七十二名 ④平成元年五月 ⑤毎月第三日曜日
- ⑤ハリリー
- ①五郷地区 ②西久保よし子 ③六十三名 ④平成二年九月 ⑤毎月第二日曜日
- ⑤磯崎給食ボランティア
- ①磯崎地区 ②倭希早子 ③六十七名 ④平成三年二月 ⑤毎月中旬の日曜日
- 以上 尚、対象となっている一人暮らし老人については、それぞれの地区において検討していただいています。又、ふれあい弁当は、お昼に対象老人へ配食されています。



**ご協力ありがとうございました**

**共同募金 335万円**

**歳末助け合い 226万円**

募金実績額は、三百三十五万九千五百五十四円、目標額を五十五万五千五百円上回りました。

このお金は県共同募金会に送金した後、民間の社会福祉施設や社会福祉協議会の福祉活動資金としてその一部が還元されて

**共同募金**

昨年末の「赤い羽根共同募金」と「歳末助け合い募金」には、市民の方々から総額五百六十一万円もの多額の義援金が寄せられました。

これもひとえに皆様の暖かいご支援とご協力をいただいたものと厚くお礼申し上げます。

各募金運動の結果は、表Ⅰのとおりでした。



**歳末助け合い募金**

募金実績額は、二百二十六万八千四百七十一円、このお金は年末に生活保護世帯やねたきり老人、重度障害者、施設入所者などの方々にも少しでも楽しいお正月を迎えていただくために配分いたしました。(表Ⅱ)

(表Ⅱ) 歳末助け合い募金配分表

配分対象	配当金(円)
生活保護世帯	304,000
介護世帯	859,000
ねたきり老人	321,000
在宅重度身障者	51,000
在宅重度精障(者)	42,000
長期入院患者	104,000
たばこ依存者	76,000
松宝園	26,000
南ひかり園	24,000
グリーンプラザ	44,000
市外老人ホーム入所者	40,000
市外身体・精神者施設	20,000
市外身体・精神者施設	26,000
児童福祉施設入所者	16,000
児童福祉施設入所者	15,000
交通・身障医療者	45,000
更生施設入所者	4,000
母子	73,000
小計	2,090,000
助け合い基金	32,087
協働基	100,000
社務費	46,384
合計	2,268,471

(表Ⅰ) 共同募金・歳末助け合い募金結果表

地区	共同募金円	歳末助け合い(円)
須野	9,000	8,000
南母	69,700	10,000
二木島	138,985	37,200
遊木	105,361	29,000
新鹿	256,018	140,800
波田	31,000	15,500
磯崎	86,280	55,150
大泊	43,571	40,000
木本	568,587	155,500
井戸	335,266	220,850
有馬	547,968	210,400
久屋	128,040	90,240
金山	88,800	50,000
育生	97,100	92,920
神川	105,600	72,700
五郷	198,100	259,600
飛鳥	356,271	98,650
その他	193,958	681,961
計	3,359,505	2,268,471



【車いす貸出し事業】  
通院や外出するのに歩行困難な方々に、車いすを貸出していきます。折りたたみができ、車にも積み込みます。どうぞご利用下さい。

車いすをご利用下さい  
簡易浴槽



【簡易浴槽貸出し事業】  
ねたきりのお年寄りなど入浴させるのが困難な家庭に、軽くて便利な簡易浴槽を貸出しています。貸出し期間は、一回三日間で、費用は、百円です。※お問い合わせは、社協事務局へ。

貸出し期間は、六ヶ月以内で、費用は、無料です。

**健康体操**  
血圧測定や健康相談も

市社協では、老人の生きがいと健康増進に役立ててもらおうと、福祉センターで健康体操を実施しています。

今年度からは、囀託の看護婦さんにもお願いし、血圧測定や健康相談も行っています。

参加は自由ですので、お気軽にお問い合わせ下さい。

実施日については、新聞紙上でお知らせいたします。



又、各地区の老人クラブなどの団体にも指導いたしますので希望される場所があれば、社協事務局までご相談下さい。

**お知らせ**

これまで世更の略称で親しまれてきました世帯更生資金の名称が、生活福祉資金に変更いたしました。

呼び名が変わった他は、資金の種類、目的、申込み手続きなど、以前とほとんど変わっていませんので、資金ご利用の方は地区担当民生委員、又は、社協事務局(福祉センター内、電話九局三〇五三番)で、ご相談下さい。



# 社協だより

ボランティア特集号



## 明日に向かって

## 今、何ができる

「老いた人も障害を持った人も

同じようにあたりまえの生活をおくり

「多様な価値観」や「豊かな選択肢」を持ち

それを自分で決めることができる

それも、ごくさりげなく、あたりまえにできる

そんな社会が真に豊かな社会なのでは

福祉の町づくりめざして

ボランティア事業は皆さんとともに考え

そして、つくりあげていきます





# ボランティア事業スタート 福祉の町づくりめざして

その町に生まれ育った人、その町へ移り住むようになった人、そんな人びとが心と力を寄せ合いながら、共に生きていく「福祉のまちづくり」に努めよう、今みんなが心から願っていることではないでしょうか。

平成三年度から二ヶ年、国のモデル事業である「福祉ボランティアの町づくり、ボランティア事業」の指定をうけ、市内各地のボランティアグループの組織化をはかりながら、ゆたかな心のふるさと作りに取り組むことになりました。

だれでも、いつでも  
どこでも、いつまでも

ボランティアという言葉は「奉仕者」というように訳されていますが、語源はラテン語の「ボランティア」(自由意志)から来ていると言われており、これがわが国では「自発的に奉仕活動などを無償でする人」と言うような、思いやりの心で結び合うことばとなっています。

ボランティア活動の性格として、特に大切なことは、自発性、無給性、継続性の三つがあります。誰もが、いつでも、どこでも自分の身近なところから、自

分のできる何でもない小さなことから、少しづつ続けて他の人びとに役に立って行く。それがボランティアなのです。

## わたしとあなたが 育てる福祉

福祉といえば「社会的に弱い立場にある人びとの為のもので、それは行政側の仕事」と考えられがちで、「福祉は特定の人びとにかかわることで自分とは関

係ないこと」という意識につながって、「福祉とは自分たちのもの、自分達が育てるもの」という認識を阻害して来たように思われます。

しかし行政の財源や人員は有限です、行政万能の神話はもう無い現代社会です。住民は無限なエネルギーを持っています。この社会の貴重な財産(エネルギー)を寄せ合って私達の町をお互のボランティア活動で、明るく楽しい生活のできる桃源郷、理想の町への実現を目指すのがボランティア事業です。

	委員	
紹介	の	

- |         |         |
|---------|---------|
| 会長      | 田中 幹造   |
| 副会長     | 榎本 奈良一郎 |
| 事業部会長   | 嶋崎 喜代治  |
|         | 松田 康司   |
|         | 阪口 雅生   |
|         | 若井 勲    |
|         | 山崎 隆雄   |
|         | 平石 幾郎   |
|         | 島田 育紀   |
|         | 瀬戸 美知子  |
|         | 三角田 慎二  |
|         | 坪井 平二   |
|         | 九鬼 禮作   |
|         | 根引 正俊   |
| 市民啓発部会長 |         |
| 基盤整備部会長 |         |
|         | 大川 妙子   |
|         | 山口 五六   |
|         | 中村 昭義   |
|         | 北 孝三    |
|         | 富田 啓暢   |
|         | 牧野 弘    |
|         | 大西 一弘   |
|         | 横平 常雄   |
|         | 谷川 充人   |
|         | 藤岡 俊    |
|         | 森本 泰    |
|         | 土橋 渡    |
|         | 牧戸 博    |
|         | 米本 佳功   |
|         | 倉屋 功    |
|         | 尾中 真理   |



# 心豊かな福祉社会の実現を



熊野市ボランティア推進協議会

会長 田中幹造

体、住民等のご指導、ご協力のおかげで社会福祉事業を続けてまいりました。

これから、過疎化、高齢化が進む社会をいかに生きるか。急速に進歩発展する二十一世紀に活躍するであろう子供から、老人にいたるまで、住み慣れた地域や家庭で仲よく安心して暮らせる社会をめざして。

「ボランティア推進協議会」では、老人や障害者福祉、そして地域福祉事業を中心に、既

熊野市社会福祉協議会では、平成三年から二カ年間、国の指定を受けてボランティア事業推進の協議会を発足させました。そして、公共機関・社協支部・サークル等の団体から三十名の委員を委嘱させていただきました。

今までも、関係機関・各種団

にある地域の福祉サークル活動の調和、連帯をはかり、発展させることをめざして、具体的な行動計画を作成してまいりました。

この情報紙もその一環として定期的に発行されることになったものです。

今後、各分野の皆様方の一層のご支援、ご協力を賜りまして、心豊かな福祉社会を実現することを心から願っている次第であります。

## アンケートを実施

### ご協力お願いします

皆さん、ボランティアってご存じでしょうか。ボランティア活動をしてみたいと思っておられる方は？

どんな条件が揃えばボランティアに参加できるか？

そんなことをお尋ねします。皆様に気楽に参加していただけるようなボランティア活動をめざして、市民の皆様にご意見を聞かせていただきたいと思っています。

そのため、市民の皆様から一千名の方を抽出させていただきます。アンケートでご意見をお聞かせいただけます。アンケートは近日中にお届けします。もしアンケート用紙が届きましたらご協力くださいますようお願いいたします。



多くの皆様にボランティア事業を知っていただき、その推進をはかるため、本会では次のとおり標語・シンボルマークを募集いたします。多数の皆様のご応募をお待ちしています。

### 募集要項

〈募集内容〉  
福祉の町づくり、ボランティア活動の推進を表現する標語・シンボルマーク。

〈応募資格〉  
熊野市在住の人

〈応募〆切〉  
十月末

〈入選発表〉  
十一月二十七日

入選者には、賞状と賞品

〈提出先〉  
井戸町七五〇―

社会福祉センター内  
熊野市ボランティア

推進協議会宛

尚、応募者には、記念品を差し上げます。

## ボランティアスクールご案内

ボランティア活動に関心のあるかたの参加をお待ちしています  
第2回目以降の日程は、ご参加いただいた皆様とご相談の上  
決めさせていただきます

- 【定員】 30名
- 【申し込み〆切】 10月15日（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 【申し込み先】 井戸町 熊野市社会福祉センター ☎9-3053
- 【申し込み方法】 葉書、電話で上記まで申し込んでください

回	日時	会場	テーマ
第1回	10月29日 PM1:30~	市社会福祉センター	ボランティアって？
第2回	11月 日	市社会福祉センター	老人介護について学ぼう
第3回	12月 日	市社会福祉センター	障害者の理解を深めよう
第4回	1月 日	市社会福祉センター	障害者の理解を深めよう
第5回	2月 日	紀南ひかり園	入所者との交流を深めよう
第6回	3月 日	たちばな園	入所者との交流を深めよう
第7回	3月 日	市社会福祉センター	これからの活動に向けて





# 賑やかな心をおなだく

## 遊木給食ボランティア「サンマ」

電話のベルに、急いで受話器をとる。「モシモシ、妙ちゃんかい、昨日はおいしい御馳走をもらっておおきにえ。病院へ行ってきての……」

声の主はひとり暮らしの老人です。遊木町のひとり暮らし老人食事サービス事業は昭和六十三年七月から始めました。

まず、この事業に一番大切なボランティアの呼かけでスタートしました。趣旨をかいた文書を全戸へ配布しましたところ、三十五名の方が賛同して下さいました。うれしきは記憶にも新しいところでは。

全員を七班に別け、各班にリーダーを選び、献立と連絡のお世話をしていたことをききました。そして、毎月第二土曜、楽しみに待っていたら、老人への連絡と、社協への理解をかねて、朝八時に漁協よりマイク放送をしていただきます。初めは少し不安でしたが、旬の材料を使い、おいしくできあがった料理、届けた老人の喜ぶ姿に接したとき、苦勞して取り組んでよかったと、つくづく感じます。

近年よくボランティアという

言葉を聞きます。このボランティアという言葉を聞く度に、昔こんな言葉があったかなあとも思う。私の小さかった頃、父は漁協組合長、村会議員、村長と網元の多忙な日々で、家にあまりいなかった。でも、怪我をして飛び込んでくる人、また病人があればすぐ駆けつけたり。

母もまたいろんな人と呼んで食べさせるのが好きだった。昔の人は自然とボランティアが身についていたのかなと思う。

現在社会が豊かになり、多様化、スピード化が進み、せっかく皆さんが持っている、一番大切な心に気付かないのではないのでしょうか。

福祉は隣近所のふれあいからという。地域社会にすむ人は、自分が高齢化社会の一員であることをよく認識してもらえれば。そして、各地区でボランティアとして一人でも多く参加していただき、熊野市

全域のひとり暮らし老人に食事サービスを、思いやりの心をお届けしたいと思えます。  
(大川妙子)



# 私たち

# がんばってます

— 活躍するボランティア —

金曜日の夜七時をまわるころになると、熊野市社会福祉センターに子どもたちの声がひびく。手話サークル竹の子の講習会に集まってきた子どもたちです。賑やかなおしゃべりの中、真剣なまなざしで手話を覚えていく子どもたちの眼差しが、とても輝いてみえます。

熊野手話サークル竹の子が生まれたのは昭和五十四年、十二年前のこと。聴覚障害者と健康者との、手話を通じてのふれあいを求めて誕生しました。現在では会員二十五名、その内で聴覚障害者は数名です。

自らも聴覚障害者である会長の島田有紀さんは次ぎのように語ってくれました。  
「昔にくらべればずいぶん良くなっていますが、でも、市役所等には手話通訳者をおいていただきたいと思えます。また公共施設や公衆電話にフックスがあれば。」

# いそいそと手話サークルの活動

そして、もっと行政に係っておられる方に、このサークルにはいつて手話を覚えていただければ……

会長さんに、我々のようなものが手話を覚えるのにどのくらいかかりますか、とお尋ねしてみました。

「簡単な日常会話なら一年もすればなんとかなるでしょう。でもプロになるには十年、いや十五年かな」

「言葉が地方によって違うように、手話でも地方によって違いがあります。それに国際手話というのがあります」

やりだせば手話もなかなか奥の深いものようです。  
この熊野手話サークル竹の子が今年、力をいれて取り組んでいる事業があります。十一月十七日、NHKの「みんなの手話」で活躍されている石原先生をお招きして、手話講演会を行おうというものです。この会には県下の手話に関係する団体、福祉関係者、そして一般の皆様にもたくさんご参加いただきたいとのことでした。



# 社協活動の充実強化 地域福祉計画を策定



熊野市社会福祉協議会  
会長 足立祥典

## 住民による福祉の まちづくりを推進

初秋を迎え、みなさまのご健康をご祈念申し上げます。  
高齢化社会の到来、社会福祉を取り巻く環境の変化など、福祉ニーズは益々多様化、拡大し

社会福祉協議会（社協）は、住民の福祉を推進することを目的とする民間の自主的な組織として、地域福祉・在宅福祉活動を展開しています。  
しかし、地域における福祉の課題や福祉ニーズは、複雑多岐にわたり、その対応が十分とはいえません。  
こうした中で、本年度は、福祉のまちづくりを進めるため、新規事業として「ボランティア推進事業」、「地域福祉計画の策定」が加わり、社協活動の充実強化が図られることとなりました。  
特に、地域福祉計画の策定は社協にとって①住民主体の社協づくり②行政と社協の役割分担の明確化③社協業務のチェック

ています。  
健康で生きがいのある生涯を過ごせる明るい福祉社会を築き上げるため、地域福祉・在宅福祉サービスを始めとする福祉のまちづくりは、住民の自発性を活した主体的参加が求められています。

社会福祉協議会では、行政及び関係諸機関、福祉施設、団体等の緊密な連絡調整を図りつつ、地域住民の自主的参加による地域福祉・在宅福祉活動を役員一丸となり取り組んでいます。  
また、本年度から国の指定を受けましたボランティア推進事業は、更なる福祉のまちづくりの実現に向け、スタートしました。  
住民のみなさまの一層のご理解とご協力の程をお願い申し上げます。



## 社協重点目標

- 一、社協機能の充実
- 二、自主財源の確保
- 三、地域福祉・在宅福祉活動の推進
- 四、地域福祉計画の策定
- 五、ボランティア事業の推進

## 地域福祉計画とは

福祉課題が山積する中で、地域の福祉ニーズを的確に把握分析し、地域の状況を洞察し、社会資源を活用する等、計画的、組織的な取り組みを展開して、継続的に安定的な福祉サービスを供給していくような体制を整えておくことが大切です。  
このため、今後取り組むべき福祉の課題やサービスのあり方、活動方法、役割分担、優先順位、財政計画等を明らかにした地域社会づくりの計画を社会福祉協議会が中心となつて、二カ年をかけて策定するものです。

## 社協役員のみなさん

会長	足立 祥典
副会長	榎本 奈良一郎
理事	大西 一弘
理事	田中 幹造
理事	西那 敬一
理事	小鷲 一馬
理事	牧戸 妙子
理事	大川 喜代治
理事	嶋崎 友八郎
理事	根引 正俊
理事	徳田 米一
理事	倉屋 平二
理事	坪井 功
理事	九鬼 禮二
理事	山本 好一郎
理事	山口 好一郎

## 職員紹介

- 【事務局】  
事務局長 濱田 績  
主 事 川口 きみ子  
専門員 阪口 任紀  
堀田紀美代（臨時）  
山川 碩也
- 【ホームヘルパー】  
小久保栄子、湊洋子、山本幸代、林さえ子、植中幸子、浜本早苗、矢谷多美子、藤平澄代（臨時）
- 【入浴担当】  
平政年、仲森展子



# 豊かな福祉の町づくりをめざして

## ボランティア事業その他の計画

ボランティア事業では、この地域におけるボランティア活動をさらに豊かに発展させ、福祉の町づくりを進めるため、つぎのような計画を考えています。

### ボランティアひろばを開催

ボランティア活動を多くの方々にご理解いただき、皆さんとともに福祉の町づくりを考える集いを行います。  
たくさんのご参加をお待ちしています。

とき 十一月二十七日

講演

「ボランティア活動について」

木原 孝久氏

シンボルマーク・標語の発表と表彰

その他いろいろな企画を行います。

### 福祉協力校

明日をにう子供たちに、福祉活動に理解を深めていただくため、福祉協力校を指定させていただきます。  
なお、協力校には年間十万円を助成いたします。



### 地区懇談会を開催

地域福祉について、あるいはボランティア活動について、広く皆様のご意見を聞かせていただくため、各地区で懇談会を予定しています。  
それぞれの地区の予定は後日ご連絡いたします。

### 食事サービス事業の拡大

現在、社協支部を中心に行われている「ひとり暮らし老人食事サービス事業」を拡大し、今行われていない地区でも、ボランティアの協力をえて進めていきます。

その他、リーフレットやハッピーの作成、ボランティア関係の図書整備、ボランティアリーダー研修会等を計画しています。  
皆様のご協力をお願いいたします。

ボランティア活動に関するご相談、お問合せをつぎのところで受け付けています。

（電話） 9-3053

# ボランティア情報

## 手話講演会

とき 十一月十七日(日)

ところ 未定

講演 石原 滋樹

石原先生は現在NHKの教育テレビ「みんなの手話」で活躍中の方です。

一度手話にふれてみたいと思っておられる方、一般の方もぜひご参加ください。

## くまのむつび会

### ふれあい事業

## クリスマス会

とき 十二月一日(日)

ところ 社会福祉センター

参加費 千円

(付添いの方は500円)

障害者と家族の皆さん、ボランティアの方、一般の皆さんにご参加いただき、もちつき・ゲーム等で楽しいひとときを過ごしたいと思っております。  
たくさんの方のご参加をお待ちしています。

申し込み先  
むつび会役員、福祉センターまで

### 雑草の広場

二十周年記念

### こもれび

### コンサート

とき 十一月九日(土)

午後1時半より

ところ 熊野市民会館

料金 大人 800円

小人 500円

チケットは最寄りの雑草の広場会員、社会福祉センターまで

盲目の夫婦、「こもれび」の歌声はきつとあなたの心にひびくものが。

このコーナーはボランティア活動の情報交流の場としていたいと思います。各種ボランティア団体にご利用いただければ幸いです。



# 社協だより

ボランティア特集号



早の広場会員  
一 脚 立身君

ボランティア  
のまちづくり  
のまちづくり



福祉のまちづくり  
シンボルマーク



# 進む高齢化 熊野市の明日は

熊野市における高齢化については、すでに多くのところで指摘されているように、全国平均を大きく上回っています。

熊野市では、全人口中六十五歳以上のお年寄りの占める割合が二十五%となっています(平成三年三月三十一日現在)。

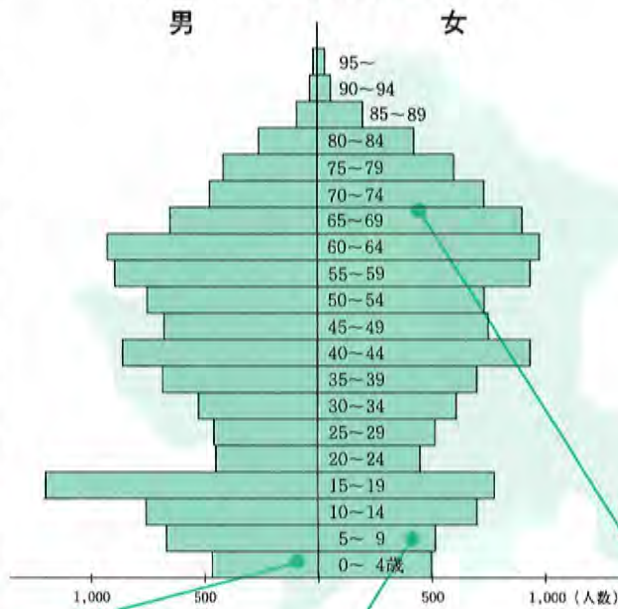
これは全国的には西暦二〇一五年に到達するであろうと予測されている二十・一%と近い数値です。

ここでは年齢別(5歳階級)に人口の構成がどうなっているのか見てみました。

熊野市全体としても五十五歳から六十五歳の人口が最も多く、この層が市の中心的担い手であり、高齢者層を支えていることが伺われます。

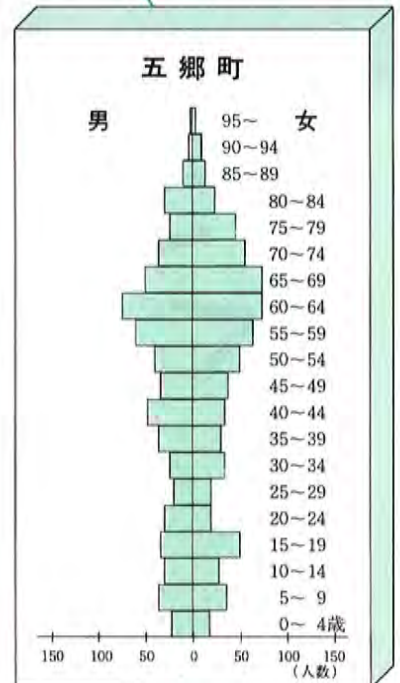
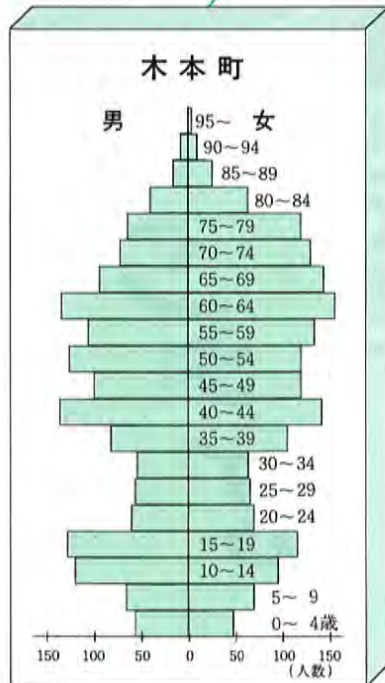
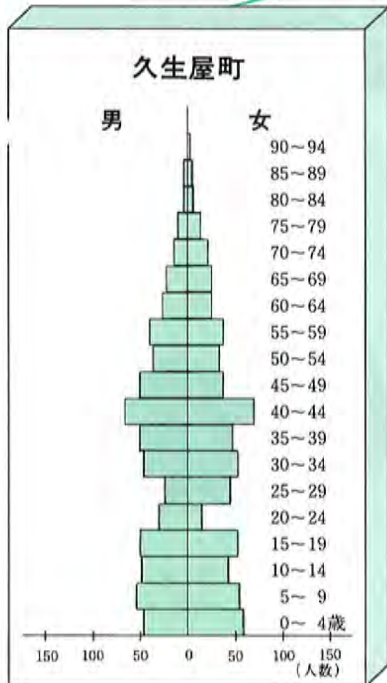
逆に学齢期をすぎた二十歳から四十歳の人口が少なくなっています。学齢期にある二十歳以下の人口もいずれ卒業とともに出ていくことを考えれば、「き

熊野市年齢(5歳階級)男女別人口



のこ型」の人口構成は一層進むものと考えられます。そして十年・二十年後、今高齢者を支えている五十五歳から六十五歳の層が高齢化したとき、それを支えるべき次代の年代層としては極めて脆弱にならざるを得ません。ここに熊野市の高

齢化社会の深刻な状況を見ることが出来ます。さらに、高齢化の進んでいる地区の一つとして五郷町を、逆に若い層が多い久生屋町、そして中心部の木本町を同じように見てみました。





# 誰もが気軽に参加 できるボランティア

## ボランティアってなに

「ボランティアという言葉を知ってますか」というお尋ねには、七十一%の方がその意味を知っている、ボランティアの意味はわからないが言葉は知っている、と答えられた方もあわせると九十八%にのびりました。

ボランティアという言葉自体は大多数の人に知られていることが伺われます。しかし、その理解という点では様々で、「新聞等で見ますが、詳しくは知らない」といった方も少なくないのでは、と考えられます。

## ボランティア。積極的な女性

ボランティア活動への参加の意志をお尋ねしました。「すでに参加している」「参加

したい」「将来条件が揃えば参加したい」という答えを合わせると六十二%、「参加する意志はない」と答えられたのはわずか十%でした。

さらに、ボランティア活動に参加の意志を示している回答の男女別を見ると、男性三十八%にたいし、女性は六十二%と女性の積極的な姿勢が見られます。

## 時間の余裕が 出れば

ボランティア活動に参加の意志を持つ方に、どのような条件が揃えば参加できるかお聞きしました。

時間に余裕ができれば

自分の趣旨にあう活動であれば 128名  
活動に必要な知識、技術を身につける機会があれば 53名  
44名

市民の方々にご協力をいただきました。ボランティアに関するアンケートがまとまりました。その一部を皆様に報告させていただきます。

## こんなボランテ ィアをしたい

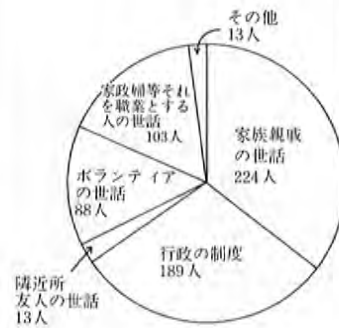
どんなボランティア活動をしてみたいかをお尋ねしたところ、つぎのような結果でした。



## あなたが介助を 必要とするとき

アンケートでは最後に、もしあなた自身、あるいは家族が介助が必要になった場合、どのよ

うな方法を望むか、お答えいただきました。



その他「誰でも気軽に参加できるようなボランティアを」「ボランティアについてもっといろいろの情報を知らせて欲しい」等たくさんのご意見、ご要望をお寄せいただきました。ここで全てそれらを紹介することは出来ませんが、いただいたご意見は今後のボランティア事業の参考とさせていただきます。ご協力いただいた皆様にお礼を申し上げます。

## 好評 ボランティアスクール

十月に開講しましたボランティアスクールは、三十二名の受講生があり、ボランティア活動についての基礎的な知識や技術などを実践を通して勉強しています。

スクールは七回の日程で、現在、四回目を終え、三月に全日程を終了の予定になっています。

これまで、老人、障害者等の介助、介助の仕方などについて実技を交えながら学び、受講生も一生懸命がんばっています。

二月、三月は施設での体験学習を実施することになっています。

この受講生の方々がスクールを修了し、地域の中で、活動されることを願っています。

尚、四年度も引き続きボランティアスクールを開講する予定になっています。

広報や新聞等で募集しますので、多数ご参加下さい。





# 豊かな福祉めざし

## 「ボランティアひろば」開催



熊野市社会福祉協議会とボランティア推進協議会では、記念事業として「ボランティアひろば」を平成三年十二月十二日、熊野市社会福祉センターで約三百名の方々の参加をえて盛大に開催されました。



会場を埋めた参加者

「ひろば」では、標語、シンボルマークの入選発表と表彰、市内ボランティア団体十三グループの紹介、障害者の介護者、身体障害者、ホームヘルパーの代表が体験発表をし記念講演として「豊かな時代の新しいボランティア像」というテーマで福祉教育研究会主宰、木原孝久先生が講演をされ、出席者に、たくさんの方々の教訓と感銘を残してくれました。

さらに、会場では、介護、看護用品、福祉施設パネル、写真点字、福祉電話、紀南ひかり園生の絵画が展示され、その他、みかん、さんま、丸干のバザー、グリーンプラザ園生の作品販売が行なわれました。



グリーンプラザのバザー

### 〈シンボルマーク入選者〉

有馬町 福嶋清則  
※入選作品は表紙に掲載しています。



ひかり園・たちばな園の展示

### 〈標語作品と入選者〉

- 「広げよう 未来の熊野へ 福祉の輪」  
五郷町 下和田清次
  - 「ボランティア 広めて 住みよい 街づくり」  
五郷町 坪田冬花
  - 「福祉には 知り愛 ふれ愛 助け愛」  
木本中 三角田善仁
  - 「助け合い みんなの力で ボランティア」  
木本中 島田彰一
  - 「さしのべる 手と手で つなぐ 福祉の輪」  
木本中 桐本慎太郎
- (以上、敬称略)



受賞した標語入選者



# 高齢者が高齢者を介護する時

五郷町 福田 栄子

脳梗塞で倒れてから七年目を迎える九十歳の母を介護している六十八歳の者です。主人は既に他界、子どもは都市に出ているのでどうしようもない現実な

のですが、家事万端に加えての仕事なので心身にかかる負担はとも大きく、「あ、母が元気で長生きしてくれていたらなあ」と、情なくなってくる時もあります。

高齢の者が高齢者の介護を... きっと全国には沢山の同じ境遇の人達もいること、思いますが、自分がその立場におかれて始めて大変であることを体験しています。勿論、身内の方達の温かい援助をいただいているので救われているのですが、それでも

悩みの核は心の中に残ってしまふことが多いのです。

介護や病人へのリハビリに対する知識も技術も全くないズブの素人だからクタクタに疲れてしまふことが続いてしまふ日が重なってしまいます。

幸に福祉センターから入浴サービス車をまわしていただいたり、ヘルパーさんを派遣していただいで専門のアドバイスを受けながら頑張っていますが、男手のない世帯、台風時とか、庭木の手入れとか女の手に負えない仕事が多く、人材派遣10番が簡単にできたらありがたいがなあと思ったりしています。

毎日の介護を続けながら思うことは、

- 1、自由に買物できる時間が欲しい。
- 2、家事全般にとっても手がまわらなくて困ってしまう。
- 3、経済面で支出が意外に大きくふくらんでしまう。
- 4、共通の悩みを話し合える人がいない。
- 5、休みたい時に休むことができない。

高齢社会の波が押し寄せてい

る現在のふるさとです。明日はわが身ということをお互に自覚し、助け合いながら過せる町づくりをおねがいします。



「高齢化社会」では、お年寄りがお年寄りをみなければならぬという現実はいよいよ増えてきます。

しかし、こうした世帯にこそ、今日の「高齢化社会」の直面する、最も困難な局面と福祉課題を見出しませう。

# 愛の社会の実現を

雑草の広場 中田重頭

雑草の広場が発足して二十年... 平成三年は記念コンサートや記念式典でまたまた大勢の方々にご支援をいただきました。

この二十年、よくやってこれたという思いが浮かんで胸がつまりまっていってしまいました。

発足したときは四人でした。みんな独身で希望と不安が錯綜している頃でした。

いつのまにか、誰もがしていることはみんなができてははずだということがスローガンみたいになりました。つきつきと仲間同士が結婚に踏み切り、明るい祝賀会がつかまりました。困難な中、仕事をもつものも出てきました。人間として生きたい、との願いからだだだと思えます。

そんな中で象徴的なのは和田欣二君だったでしょう。手も足も悪く言語障害も重い彼にと

ってセールの仕事は最も不適当と思えますが、彼はもう十数年自動車のセールスマンをしています。電動車椅子の彼が目から鼻へ抜けるセールスマンの世界で堂々と働いているのです。数年前から、どうしたことか障害が一層重くなるにつれ、それは鬼気迫るものになりました。



車椅子にしびんを積んでのセールスで僕は「しびんを持ったセールスマン」と冷やかしていましたが、本当は敬服しているのです。そして忘れてはならないのは、そんな彼を支えている熊野の人たちの優しさです。彼の排便を手伝ってくれたり、ご飯を食べさせてくれたり、汗を拭いてくれたりする人がたくさんいるのです。ただの奥さん、ただの小父さん、ただの人々がです。

重い障害を持った人々が生きていこうとすると、たしかにあちこちに迷惑をかけます。でも、それを受け入れることのできる「優しい社会」こそ、豊かな文化を持った社会といえるでしょうし、わたしたちの熊野にはそんな優しさが十分有ると、僕はとても誇りに思っているのです。





## ホームヘルパー派遣 サービスのご利用を

在宅福祉サービスの中心的な役割を担う、ホームヘルパーさん(左の写真)は、市内の援護を必要とする家庭を訪問し、要援者とその家族の生活全般の援助活動を行っています。

### ホームヘルパーのサービス

- 身体介護に関すること
- 食事、排泄、入浴、清拭、通院等の介助など
- 家事に関すること
- 洗濯、掃除、買物、調理
- 相談・助言に関すること



## 移動入浴車を派遣

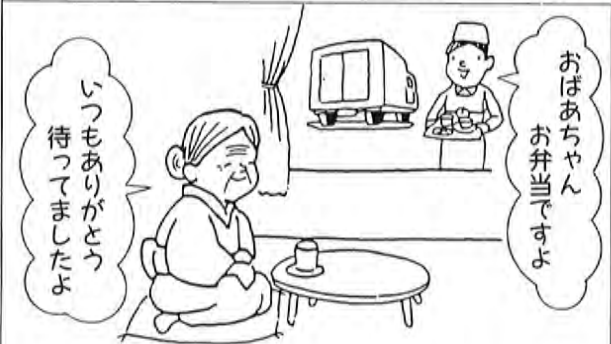
### 三月から申込み受付

ねたきり老人や障害者がかかえる世帯で、入浴をさせることが困難な家庭に毎月一回(担し、十二月から二月まで除く)移動入浴車を派遣し、専門のスタッフによる入浴の援助サービスを行っています。

サービスを利用されている方は毎月十六名ほどですが、当事者はもちろん家族の方々などから大変喜ばれています。三月から利用申込みを受付ますので、市社協(福祉センター内)に備え付けの利用申込書を提出してください。

## 食事サービス 事業実施地区

地域ボランティアによる一人暮らしのお年寄りに、手づくりのお弁当をお届けし、ふれあいを深めようと始めた、食事サービス事業も、現在、八地区(金山、両友、遊木、二本島、井戸、小阪、五郷、磯崎)で実施し、約五百十名のボランティアが活躍しています。さらにボランティア事業をきっかけにボランティア活動への関心が高まる中で、日進地区と大泊地区が社協支部と地域ボランティアを中心に実施に向け、着々と準備を進めています。



おばあちゃん  
お弁当ですよ

いつもありがとうございます  
待ってましたよ

## 福祉に日 知り愛 ふれ愛 助け愛

### 編集後記

▲お正月には都会に出ている息子や娘たちが帰ってくる。田舎に残った老親にとって、まちどおしい一時である。▲しかし息子には思惑があった。八十を過ぎた母親を一人残してはおけないと。いろいろやりとりの末、母親を説得したのである。う、まだ松の明けない日、老婆は息子にともなわれて住みなれた家を残した。この先、都会での老婆の暮しがどのようになっっていくのか、永年なじんだ玄関の戸を閉める老婆の気持はいかばかりのものであったか、誰も知ることはできない。▲熊野市の高齢化をグラフで表しながらその向こうに、そんなお年寄をたくさん見る思いであった。



ボランティアに関するご相談、お問合せを つぎのところで受け付けています。

市社会福祉センター内  
熊野市ボランティア

センターまで  
(電話) 9-3053



# 社協だより

ボランティア特集号



福祉のまちづくり  
シンボルマーク

広  
げ  
よ  
う

未  
来  
の  
熊  
野  
へ

福  
祉  
の  
輪



96歳 竹内はつよさんと娘さん



# 4年度の事業と予算 社協活動を充実強化

平成4年度社会福祉協議会の事業計画と予算が、三月の評議員会で決まりました。

## ホームヘルパーを増員

ホームヘルパーは、地域で介護、援助を必要としておられる老人や障害者にとって、今ではなくてはならない存在となっています。こうした在宅福祉の要ともなるホームヘルパーを今年から一名増員しました。

## ボランティア事業 二年目に

昨年スタートしたボランティア事業。福祉の町づくりにむけて、充実したいくつかの事業に取り組んでいます。

地域福祉計画の策定にむけ  
高齢化時代の到来に直面する熊野で、地域福祉の充実が焦眉の課題となっています。

住民の皆さんの御意見、お年寄りや障害者の要望をお聞きしながらお年寄りから障害者まで皆が安心して暮らせる、共に生きあう明日の熊野をめざして地域福祉計画を策定します。

## 事務局体制を強化

以上の社協事業を推進する上で、社協事務局の強化が望まれていましたが、本年度より一名の事務局が増員されました。



熊野市社会福祉協議会  
会長 榎本奈良一郎

## 地域に密着した 総合的な福祉を

昔、憶病な侍がいて、夜トイレに行く時、妻を起し、用を足しながら外で待っている妻に「怖くないか」と聞くと、妻は「怖くなんかありません」と答えると、侍は「さすがにお前は侍の妻だ」とほめたという笑話を読み、今の世の中にも自分の事を

少しも省みないで、他をとかく言っている人が中には居るものだと、つくづく感じる今日この頃です。

今や高齢者、障害者が住み慣れた地域の中で安心して暮らせるまち、そんな地域に密着した総合的な福祉をすすめるべく、お年寄りから子供に至る誰もが、住みよいまちづくりを目指し、それに向って進もうではありません。

せんか。

それには、ボランティアを育成し、そしてホームヘルパーや民生児童委員、地域住民等のネットワークを大切にすることが必要になってまいります。

そのためには在宅福祉を定着させるべく、地道で長い時間をかけた努力が必要なのです。

新任務は私にとりまして重責であります。誠心誠意努力いたす所存でございます。

皆様の今後とも一層の御指導御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶にかえさせていただきます。

## 新職員紹介



ホームヘルパー  
なべまき ゆみ  
田邊真弓  
(35才)

体は小さいが力もちお年寄りや障害者の方によりよいサービスができ、信頼していただけるヘルパーでありたい。在宅福祉の充実の一助になればと思います。

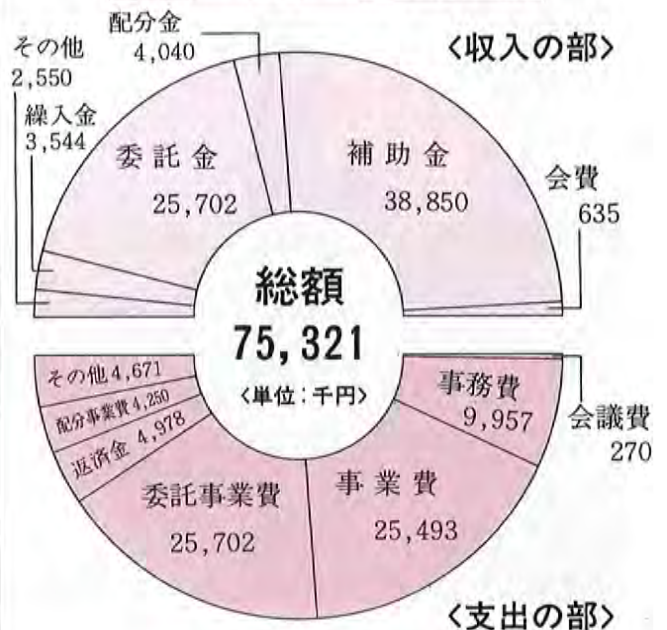


事務職員  
おおくぼ まさゆき  
大久保昌幸  
(26才)

3年間、大阪の福祉施設で勤務。一日も早く仕事を覚え、又、いろいろな人と接しながら勉強してゆきたい。只今、ワープロと悪戦苦闘している独身のハンサムボーイです。

よろしく願っています！

## 平成4年度一般会計予算





# ボランティアスクールを修了して

木本町 今里美枝

ボランティアって何？と言う  
問いかけから始まったお話に困  
って考えました。

なんとなくわかっているつも  
りでいたのに、あらためて聞か  
れると、これだと言う言葉がみ  
つからない。すると奉仕の事だ  
と即座に教えて下さった。

奉仕と言う言葉は神様やキリ  
スト教などの話の中で聴く事は  
有ったが、日常の生活の中であ  
まり意識せずに過して来た。  
せっかくなスクールで色々な教  
えてもらったのだから何か一つ  
くらい私にも出来る事を見つけ  
なければと思う。

仲間が居れば私にも出来るか  
も知れない憶病な私にも少し元  
気が出てきた。

人様に何かしてあげるとい  
うよりも、それぞれの出来る事  
をして助け合う、もちろん障害者  
も健常者も一緒になって、子供  
も大人も皆で近づき、助け合っ  
て生きてゆければ、世の中も暮  
しやすくなるような気がする。

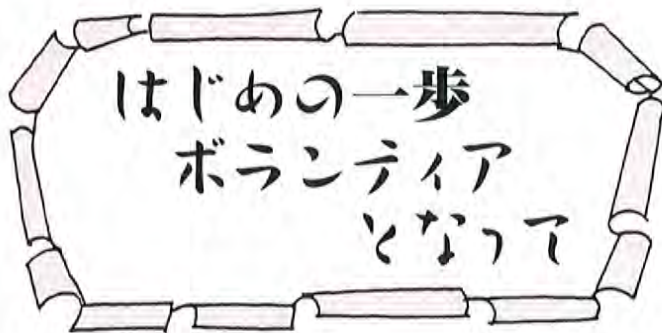
言葉をかける事、一緒に歩く  
事、電話をかける事、買物や薬  
を取ってくるなど色々な小さな  
事でも助けになる事はたくさん  
ある。又お年寄の方などは話を  
聞いてあげると、とても心がな  
ごむように思う。

私はきつと日なたはつこくら  
いか居寝りすることくらいしか  
出来ないけれど一人でするより  
一緒がいいと思う。

いろんな人達と出合う事が多  
いほどお互にプラスに成る。誰  
でも一人では生きられないのだ  
から仲間は多い方がいい、助け  
を求めるのは明日の自分かも。

ボランティア人口が毎年増え  
る事を願う、意識を高めて色々  
学ぶのにスクールは大変良い制  
度です。

公的なサービスだけでは行きと  
どかない事がたくさん有る。第一  
にすぐに間に合わない。一人でた  
おれたり、重いものでも、さげて  
くれる隣り近所の人達の心くばり  
は、高齢化社会の暮しの知恵の一  
番大事な事だと思ふ。安心して年  
を取る事の出来る熊野市になつた  
らと願ひ、少しの力でもがんばら  
ねばとあらたに思ふ。



# 一日福祉体験教室に参加して

神上中学校 倉本 瞳

今日、私は初めてひかり園に  
行きました。こんな体験はめつ  
たにないことだから、どんなこ  
とをするのか楽しみでした。ひ  
かり園の中に入りどんなことを  
するのか聞いてみると作業をす  
るといったので、少しがっかり  
しました。いろいろ作業にもや  
りたい作業とやりたくない作業  
があるのでどれかあたるとか心  
配になってきました。

私がやる作業は、生活になり  
ました。少し心配がとれたよう  
な気がしました。でも、ほかの  
小・中学生もいっしょになって  
するのでまた心配になってきま  
した。だけと掃除をしながらは  
なしているのだんだん気が楽に  
なりました。私達に掃除のやり  
方を教えてくれたのは、ひかり  
園の園生さんでした。園生さん  
たちは、毎日おんなじ所を運動  
のためにやっているの聞いて私  
は、

「私は毎日なんかにできないな。」  
とすぐ思いました。  
園生さんともはなしができた  
し、とてもいい体験をしました。  
もっともっと友達がたくさんで  
きると思っただけでした。

私は、とても幸せだと思いま  
した。ひかり園の人はみんな同  
じ人間なのに、病気で体が不自  
由だったりしてすごくかわいそ  
うだと思いました。私達があつ  
と協力して、体が不自由な人達  
でも住みよい町、園をつくって  
いかななくてはいけないと思いま  
した。



車いすでの実習



園生といっしょに木工作業

ボランティア、ちょっと興  
味はあっても、足を踏み出し  
てみるには勇気が。  
今回は第一回ボランティア

スクールを卒業された今里美枝  
さんと、一日福祉体験教室に  
参加された倉本瞳さんの感想  
を紹介してみましよう。



# 一人暮らし老人は今



もうじき九十歳になるとい  
山城了さんは奥さんを亡くして  
半年あまりになる。  
前もって耳が遠いということ  
を聞いていたが、電話でお尋ね  
したい旨を告げても話しはほと  
んど通じない。直接お会いして  
話しをしても、耳の側で大  
きな声を張り上げてなんとか話  
しを聞くことができた。

## ヘルパーさんは 神さま

そんな山城さんにとって、週  
二回訪問をし、ふとんを干した  
り身のまわりの世話をしてくれ  
るヘルパーさんは、今一番あり  
がたい存在であり、待ちかねて  
いるという。いつも忙しかった  
奥さんのことを考えていること  
が多いと言う山城さんであるが、  
ヘルパーさんと世間話をしてい  
る時だけは奥さんのことを忘れ  
るんです、と笑って話された。  
耳が遠く、日頃いろんな人た  
ちと接することも少ないであろ  
う山城さんにとってヘルパーさ  
んとの会話は何にもまして楽し  
い一時なのであろう。とかく孤  
独になりがちなお年よりにとつ  
てヘルパーさんの訪問そのもの  
がその生えの励ましであり、支  
えになっているように思えた。  
四人いる子どもは大阪、神戸、  
上野と遠く、尾呂志に住んでい  
る娘さんがしょっちゅう尋ねて  
くれるという。  
食事のしたくは面倒くさい、  
といいながらも自分でオークワ  
まで買物に行くそうである。  
最後に山城さんは、不便なこ  
とはあってもここが一番いい、  
どこにも行く気はない、と語っ  
てくれた。



## 一人暮らしが 一番良いです

明治四十三年生まれというか  
ら八十一歳になるNさんとは、  
ゲートボールが終わったあと、  
井戸の松前公園でお話を聞くこ  
とができた。  
あの第二次大戦の末期、ご主  
人を失ったNさんは、戦後苦勞  
しながら女手ひとつで四人の子  
供を立派に育て上げられた。今  
は長男と同じ敷地のなかに住ん  
でいるが、生活はまったく別、  
いつ食べようと、いつ寝ようと、  
どこへ行こうと自分の好きにで  
きる、一人暮らしが気楽です、  
と話してくれた。  
今は、午前中はゲートボール、  
それに畑に行ったり、ビニール  
で小さな草履を作っているんな  
人に差し上げて喜んでもらって  
いるそうである。それに木曜日  
は市民会館で民謡、日曜日は御  
詠歌...話しを聞いていても、  
結構忙しく楽しんでいるNさん  
の姿が想像できる。  
食事もいろんな材料を入れて  
作っていると一人では食べきれ

ないので、友達やいろんなこ  
ろに配っているんですよ、と樂  
しそうに話してくれた。  
戦後のあの大変な時期、女手  
ひとつで子供四人を育て上げる  
のは並大抵な苦勞ではなかった  
であろうが、Nさんにとっては  
今が青春なのかもしれない。  
一人暮らしは、好きなことが  
でき、気楽で一番良いです、と  
言うNさんであるが、それを支  
えているのが健康と、積極的な  
社会参加、そしてすぐ側にいる  
長男の存在なのではと考えさせ  
られた。



## いまだ望郷の 念深く

飛鳥町に住んでいたYさんは  
この正月に名古屋の息子に引き  
取られていった。八十四歳とい  
う年齢、国道から少し離れた一  
軒屋という家、少しボケてきた  
という息子の話しからすれば、  
それもやむを得ない処置だった  
のかもしれない。  
実は、Yさんにとっての名古屋



「行きは今度で二度目なのである。一回目はなれないマンション暮らし、隣近所で話す人もいない、飛鳥にいた時はよく家の前の畑の草むしりをしていたものが、マンションにはむしる草もなかったという。そんなこんなで半年もたなかつた第一回目名古屋での生活であった。」

「このYさんの息子さんから手紙をいただいた。それには次のように記されていた。」

「母は名古屋に参りまして一ヵ月たちましたが、いまだ望郷の念深く、落ち着けないところでございます。何せ寄る年波で環境変化への対応力が弱くなっていきますので、周囲が余程その辺を理解して対応しなければいけないと自戒している次第です。……中略……母もしきりに行きたがっておりますので、お彼岸に二、三日お墓参りにでかけようかと思っております」

「しかし、このお彼岸にもYさんの顔を見ることはなかった。慣れぬ都会に引き取られるか施設に入るか、いずれこのような選択を迫られるであろうお年寄りにはたくさんいる。」

「住み慣れた家で最後まで暮らしたい、そうしたささやかなお年寄りの願いを叶えようにも、今そうしたお年寄りを支える術は地域にはないのである。」

### 出来ることとは なるべく自分で

遊木港を背に急な路地を上り詰めたところにOさんの暮らしがあった。若い人でも途中で一息入れたくなるような、遊木特有の急勾配の細い路地の道、通い慣れているとはいえ、七十七歳になるといってOさんには決して楽な道ではないのではないかと暮らした二ヵ月に四万八千円程の年金と、亡くなったご主人が蓄えてきた貯金の利息でなんとかやっているといる。盆、正月、母の日には子供から小使いを送ってくれるそうであるが、水道光熱費、食費、それに医者がよい交通費等を考えると決して楽な暮らしとは言えないであろう。

一人できると話し相手もいないし、雨でも降れば一日テレビ



を相手に話しをしているといいます。楽しみはテレビと新聞、毎日夕方に配達される地方紙を楽しむにして、それをすみからすみまで読んでいっている。

そんななかで月一回第二土曜、Oさんにとって待ち遠しい日である。その日は社協からお弁当が届くからである。

近くに息子夫婦が住んでいるが、一緒に住むとなれば遠慮もあるし、自分でできるうちは息子の世話にはなりたくないという。

### ひとは

#### 信用できない

七十七歳で一人暮らしを続けるTさんは、他人は信用出来ない、いじめられるのは辛い、知らん顔をしてジツとしているのが一番です、と綿々と話しを続けた。そうした話しの全ては、にわかには信じがたいものもあつたが、話しの中身はともかくとして、Tさんの暮らしは、隣近所とほとんど交際もなく、まったく孤独な暮らしであることだけは間違いないようである。耳が遠いということもいふので誤解を生むことになっているのであろうとも思われた。

血圧が高くてと、見せてくれた検診結果報告書には最高血圧が二百を超えていた。そして心

臓に関わる病名も記されていた。こんなTさんに、ある日突然病が襲ったら一体どうなるのであろう。Tさんの家には電話もないのである。

そんなTさんを心配した近所の人たちと地域の社協支部によって、玄関に警報灯が取り付けられた。

Tさんは、なんとかコロッと死ねたらありがたいのですが、と話していたが、玄関の警報灯を見ながら、重い気持ちでTさんの家を後にした。



若い人がこの地に残ることが少ないなかで、一人暮らしのお年寄りはますます増えている。今回ここで紹介した一人暮らしのお年寄りの多くは、多少の病気をもちながらも元気で「だれにもきがねなく、自分のペースで生活できる一人暮らしが良い」と口を揃えたように言われた。

逆に言えば元気でないと一人暮らしはできないのもあろう。しかしこの「気楽な生活」も一

皮めくれば極めて面白いものも思えた。まず、自分のことは自分でできる、という条件が不可欠である。多少ボケてきたり、日常生活に支障を来すような身体的状況がでてくると、途端にYさんのような選択を迫られるのであろう。又、ゲートボールに興味にと忙しいNさんのように積極的な社会参加、生き甲斐をもってこそ、「気楽な一人暮らし」も可能になるのであるが、いろんな状況のなかで「孤独な一人暮らし」も少なくないように思えた。

そして、もし突然倒れるようなことがあつたとき、その不安は共通のものであつた。

又、「ひとのお世話にはなりたくない」と述べておられるお年寄りが少なくない。お年寄りが一人で生きていくために、その位の心構えは必要なのであろう。しかし同時に、ほんとに福祉のサービスが必要であろうと思われるケースでも「お世話になりたくない」と頑なに拒否される方もあつた。「お上のお世話にはなりたくない」のか。

そんななかでも、ヘルパーさんの活躍、社協の一人暮らし老人給食サービスが、こうしたお年寄りの暮らしを支える上で重要な役割を果たしていることを改めて確認することが出来た。

改めて確認することが出来た。



### 広がる 給食サービス

ボランティアの協力をいた  
いて、一人暮らしのお年寄りに  
食事を作って届ける給食サービ  
スの実施地区が広がっています。

### 百二十名の

### ボランティア

これまで金山、両又地区を始  
め八地区で実施されていまし  
たが、この二月から日進地区で新  
たに給食が始まりました。

日進地区では二十三、四人の  
お年寄りに対し百二十名とい  
うたくさんの方のボランティア  
登録され、協力をいただくこ  
とになっています。

### 大泊地区でも

さらに、近々大泊でも実施が  
予定されており、地元社協支  
部を中心に準備が進められてい  
ます。



## ボランティアスクールご案内

ボランティア活動に関心のあるかたの参加をお待ちしています。  
第2回目以降の日程は、ご参加いただいた皆様とご相談の上、  
決めさせていただきます。

- 【定員】 30名
- 【申し込み切】 5月15日(定員になり次第締め切らせていただきます)
- 【申し込み先】 井戸町 熊野市社会福祉センター ☎9-3053
- 【申し込み方法】 葉書、電話で上記まで申し込んでください

回	日時	会場	テーマ
第1回	5月22日 PM1:30~	市社会福祉センター	ボランティアって?
第2回	6月 日	市社会福祉センター	老人介護について学ぼう
第3回	7月 日	市社会福祉センター	老人介護について学ぼう
第4回	8月 日	市社会福祉センター	障害者の理解を深めよう
第5回	9月 日	市社会福祉センター	障害者の理解を深めよう
第6回	10月 日	たちばな園	入所者との交流を深めよう
第7回	11月 日	紀南ひかり園 市社会福祉センター	入所者との交流を深めよう 修了式



### 福祉の風を 子供たちに

多くの子供たちに福祉の問題  
に理解を深めてもらうため次の  
ように計画しています。

### 福祉協力校に四校

福祉協力校に次の四校が指定  
されました。

- 木本中学校
- 育生中学校
- 日進小学校
- 遊木小学校

### 福祉作文を募集

福祉に関する作文を募集する  
ことにしています。

### 第二回

### ボランティアひろば

昨年もたくさんの方の皆さんに参  
加していただいたボランティア  
ひろば。今年ももっとたくさん  
の方に参加して、楽しみながら  
福祉やボランティアを考えてい  
く場としたいと考えています。  
時期は九月下旬頃を予定してい  
ます。

### 各地区で福祉

### 懇談会を開催

市民の皆さんの声をききなが  
ら、福祉の町づくりを進めてい

きたいと考えています。

そのため各地区で福祉懇談会  
を開催する予定です。

開催地区、日程は後日連絡い  
たします。たくさんの方の皆さん  
のご参加をお待ちしています。

### ボランティアの 交流・研修を

現在、各地で活躍しているボ  
ランティアグループの交流、ボ  
ランティアリーダーの研修等を  
予定しています。

### 編集後記

「お上のお世話にはなりたく  
ない」と頑なに福祉サービスを  
拒否する一人暮らし老人。老親  
を福祉施設にいた息子夫婦に  
「親不孝者」のレッテルがはら  
れた。地域では「都会にでてい  
った息子は出世して立派にやっ  
ている。何でわし等が残された  
親の面倒を見なければならぬ  
のか。福祉も行き過ぎるとん  
でもないことになる」と。「福祉」  
がさげばれている今日、地域に  
はこうした現実もある。福祉の  
町づくりをめざすボランティア  
事業であるが、住民の心の中  
でボランティアの風を届けるの  
はまだまだである。



# 社協だより

ボランティア特集号  
(福祉のまちづくり)



福祉の輪

手と手でつなぐ

さしのべる



福祉のまちづくり  
シンボルマーク





## 介護者は鉄人か？

リ  
ポ  
ー  
ト

# 寝たきり、痴呆と苦悶する人々

高齢化社会の中で、寝たきりや痴呆のお年寄りを抱える家族が直面している、様々な現実をご紹介します。

### 介護する方も

#### 六十八歳の老人

九十一歳になるMさんは寝ついて六年半になるといふ。

話をしていると、昔の話と今の話が入り混じり、痴呆が進んでいるのがうかがえる。とはいえ、冗談を言って笑わせたり、陽気で話好きなおばあちゃんである。

このおばあちゃんを介護しているのが、六十八歳の娘さんであり、介護する方も老人である。

一時排泄のことなど大変なときがあったが、今は比較的落ち着いており、それに週二回ヘルパーさんがきてくれてるので大変助かっているという。それでも夜と昼が反対になって、夜おきてしやべりだす。そうする介護にあたる娘さんは寝ることができない。次ぎの日はクタクタ。「時々、鉄人のような身体だったらどんなに助かるか」という嘆きはよくわかる。現実には、介護人は鉄人になれない以上すべて家族の責任にする

のはいかにも酷に思える。

何時終わるとも知れない老親の介護、ましてや自分の年齢を考えると、それは大きな不安とならざるを得ない。

ショートステイを利用すれば、と話を向けた。しかし、兄弟に賛成してもらえないので…という答えが返ってきた。たとえサービスや制度があっても、なるべく人様、福祉のお世話にならないでという、そんな古い考え方がそこには重たくのしかかっているように思えた。最後に、介護者といっても人間だし、歳のこともあり限界もある。その大変さをほかの人にも理解して欲しいと思います。と娘さんは語ってくれた。

### 二人で百八十歳の

#### 老親を介護する

梅雨の晴れ間、開け放たれた縁から上がったその家のあちこちの柱に、ひもが結び付けられている。

九十三歳になるAさんは自由のきく右手を使い、そのひもにすがって身体を起こし、辛じて座位を保つことができる。

夫のKさんも九十三歳になる。Kさんは一年前、家の中で滑って

怪我をして以来歩けなくなっている。寝たり起きたりであるが、いざって移動することはでき、たいのことは自分でするという。

この二人を息子夫婦が介護にあっている。

平成元年、Aさんは脳出血で倒れてから左半身麻痺となり、ほぼ寝たきりであるが、しっかりとおばあちゃんである。「飛鳥、五郷の歴史ならたいい知っている」と語ってくれた。

その息子さんは「なるべく出来ることは自分でやらせ、残された力を引き出したい」と考えている。なんとか座位が保てるのであるから車椅子を使って散歩が出来るのではと思っ聞いてみた。

おばあちゃんも外に出たいという希望をもっている。しかし、段の多い今の家の構造では、車椅子に乗せて外に連れ出すには二人がかりでないと出来ないという。

夜は息子夫婦が交代で介護にあっている。

一晩で二、三回のトイレや腰が痛い、肩が凝るといふ訴えで「夜寝られないので睡眠不足が一番つらい」そうである。

九十三歳のお二人はまだ完全な





寝たきりではない。  
今、適切な専門家の援助と支えがあれば自立の可能性は残されているように思われた。

**ボケとの戦いに  
勝利はあるのか**

「食事とき母の笑顔の  
うれしさよ」

おばあちゃんの遺影を見ながら  
Aさんは話してくれた。  
4年程前からおばあちゃんのボケはひどくなった。一日中四畳半の部屋に置かれた椅子に座っていることが多かったが、眼を離すと飛び出してしまうことも。  
雨の降るある夜、おばあちゃんのいなくなったのに気付いた家族

は、あちこち探しまわることが見つからない。近所の人も総出で探す。そしてやっと、ずぶ濡れになりながらブルブル震えているおばあちゃんを発見した。  
おばあちゃんがいやがったのはおむつをしたり着替えをすることだった。

また、おばあちゃんに喜んでもおうとつくったお寿司を見るや否や「この寿司には毒が入っている。あんたは私を殺すつもりや」と、暴言をはいたりすることも。  
そんなある日、Aさんが帰宅するとテーブルの上には  
「おとうさまおはようございます  
おかあさまおはようございます  
おかあさまわたしにできるおしごとわりましたらおしえて下  
ださいね むつかしいしごとわ  
でません ごむりおいてすみま  
せん」  
たどたどしい文字で書かれたおばあちゃんの手紙であった。  
おばあちゃんが暴れたり、憎らしいことを言う度に、Aさんはその手紙をとり出し、「あれは病気が言わせているんだ。ほんとのおばあちゃんはこんなにやさしいのに……」と気を取りなおしたとい

う。

はじめはわからないことばかり  
いろんな本を読み、それによって  
「ああやっぱりそうか」と眼を開かされたこともあったという。

いろんな工夫もした。オムツを嫌がるおばあちゃんのパンツに尿取りパットを縫いつけたのもその一つである。そんな知恵や工夫を交流しあい、たまにはグチを言い合えるような、そんな痴呆老人をかかえる人々の交流する場所があったら、とAさんはつくづく思う。

ボケ老人の介護が並大抵のことでないことは、その経験者なら誰もが知っていることである。働きながら頑張り抜いたAさん。

第二の人生を、と退職後新しく勤め始めた職場を止めておばあちゃんを見守ったご主人。息子さんの協力。そんな家族全員の協力があってこそ、おばあちゃんの介護が成り立ったのであろう。

もし「ボケとの戦い」と言う言葉が許されるとしたら、まぎれもなくAさん一家はその戦いに勝利したんだ。そんな思いでAさん宅を後にした。

寝たきりのお年寄りをかかえた  
介護者の悩みや苦しさを経験した  
人は少なくない。

そしてその介護者や家族の苦勞や疲れは並大抵のものではない。  
しかし、介護者が疲れきって良い介護ができるであろうか。悪くいけば共倒れ、そしてそんな介護者の、寝かせておいた方がかかれないという思いは、残されたお年寄りの自立の可能性を奪っていないか。

まもなく三人に一人は高齢者という時代がくる。そんな中で、介護のすべての責任を個人や家族に押しつける時代は終わったのでは、いや終わらせなければならぬと思ふ。

そうした介護者の悩みや嘆きを介護者個人の問題に止めず、地域社会の問題として受け止めていくことが必要ではないか。そしてそのための社会の支えが切望されている。

高齢化社会とは、そういう社会ではないのか。





# 平成12年 熊野市の高齢化は

## こころまですすむ

### 平成十二年、三人に一人はお年寄り

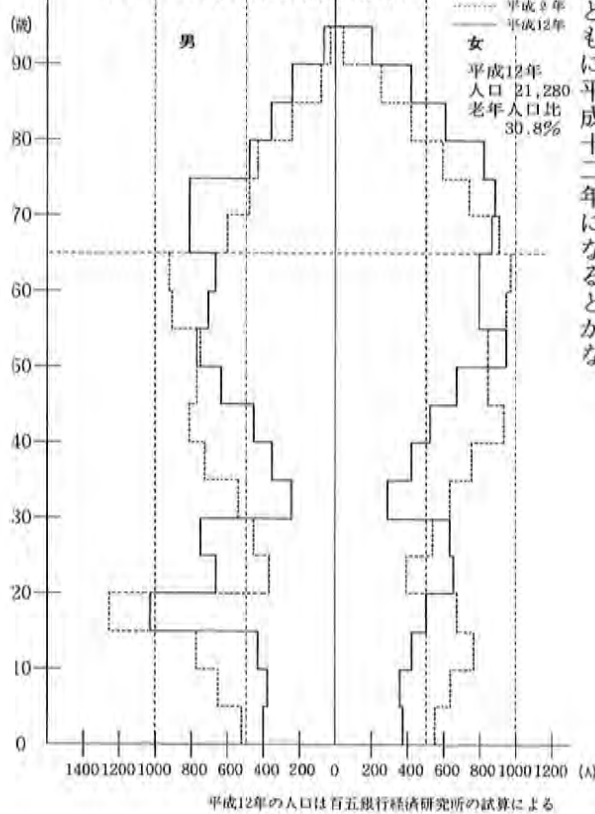
平成十二年の人口構成を試算したものが表1です。

六十五歳以下の年齢では、平成二年よりほとんどの世代で減少しているのが見られます。反対に六十五歳以上の高齢者では、各年齢層ともに平成十二年になるとかな

り増加することがうかがえます。

この試算によれば平成十二年には六十五歳以上のお年寄りは、平成二年の四、八〇六人にたいし六、五四八人となり、全人口に対する六十五歳以上の人口の比率（高齢化率）は三〇、八％、ほぼ三人に一人はお年寄りということになります。

＜表1＞平成12年の熊野市の人口構成



＜表2＞熊野市町別人口及び高齢者の概況

町名	人口	65歳以上人口	高齢化率	一人暮らし老人数	老人夫婦老人数	寝たきり老人数
須野	23	18	78.3	3	7	0
甫母	294	64	21.8	9	18	2
二木島里	151	37	24.5			
二木島	614	168	27.4	37	61	1
遊木	719	152	21.1	14	48	3
新鹿	1,376	384	27.9	77	84	7
波田須	325	100	30.8	17	37	3
磯崎	432	161	37.3	43	27	1
大泊	335	82	24.5	11	26	1
木本	3,304	799	24.2	207	147	13
井戸	4,342	576	13.3	139	473	14
有馬	5,250	887	16.9	160	203	17
久生屋	1,266	132	10.4	5	65	0
金山	567	159	28.0	31	75	3
育生	461	210	43.6	46	46	3
神川	538	197	36.6	38	47	0
五郷	1,296	367	28.3	84	86	8
飛鳥	1,980	480	24.2	131	132	7
計	23,273	4,964	21.3	1,052	1,282	83

人口、65歳以上人口は平成4年3月31日現在  
一人暮らし老人、老人世帯数、寝たきり老人は平成三年福祉調査による  
二木島里の一人暮らし、老人夫婦世帯、寝たきり老人は二木島を含む

### 高齢化のすすんだ 須野・波田須など

熊野市の高齢者を町別に見たのが表2です。

高齢化率が三十%を超え二世帯あたりの人数の少ない地域、それが須野・波田須・磯崎・育生・神川です。

一方高齢化率が一〇%代の、比較的若い世代の多いのが久生屋・井戸・有馬です。

それ以外の地域は先の二つのグループの中間に位置しますが、後十年もすればその多くが須野、育生等のような地域になっていくことは十分考えられます。

### 圧倒的に多い 一人暮らし老人

一人暮らし老人は1、052人、全世帯の十一、六%となっています。全国の一人暮らし老人は全世帯の四、〇%になっていますから、熊野市の場合いかに一人暮らしのお年寄りの世帯が多いかがわかります。

一人暮らし老人世帯と老人夫婦世帯を併せると、全老人数の七二、八%になります。

こうした今、安心して老後を迎えられる社会をつくっていくことは急務とも言えます。



# 第2回 ボランティアふれあいひろば

みんな集まれ!

と き：平成4年9月20日 午前10時

と ころ：井戸小学校グラウンド

(雨天のとき 井戸小学校体育館)

## チャリティーコーナー

- わた菓子・ドーナツ  
ジュースの販売
- サンマ・たかな寿司  
の販売
- チャリティーバザー

## 交 流 ひ ろ ば

- 風船わり
- 紅白玉入れ
- ふれあいゲートボール
- ふれあいベースボール
- 車椅子体験など

「しあわせいっぱい 夢いっぱい」を  
テーマに子供から大人まで誰もがボラン  
ティアとして参加できる楽しいひろばを  
計画しました。  
市民のみなさん多数ご参加下さい。

## 展 示 販 売

- グリーンプラザの  
製品
- 介護・介助用品  
(老人障害者等)

## 展 示 コ ー ナ ー

- 福祉パネル
- 入浴巡回車
- パトカー
- 消防自動車
- 介護福祉機器など



昨年のボランティアひろば

「みなさまにお願い」  
チャリティーバザーの物品につ  
いて社協支部や婦人会等にも呼び  
かけ、ご協力をいただいています  
が、市社会福祉センターでも受付  
けますので、日用品などがありま  
したらご提供下さい。

## そ の 他 の 催 し

- 婦人会の踊り
- 紀南ひかり園鼓笛隊  
「アチルミエール」
- 松原龍宮太鼓
- 熊野神太鼓
- ヨーヨーつり



## ボランティアスクール修了生 虹の会を結成

第一期ボランティアスクール修了生三十二名が中心となって、スクールで習得した知識や経験を生かして、ボランティアグループ「虹の会」を結成しました。

主な活動内容は、一人暮らし老人及び重度障害者宅等への慰問や福祉施設の慰問、福祉イベントへの参加協力など幅広い。

この五月二十日には紀南ひかり園で、園生と会員らによる花づくりを行い、この花を施設などに寄贈します。(写真左)

松田美賀会長は「私たちの会が地域の中で、虹のようなかけ橋になれば」と、抱負を語ってくれました。



## ひかり園で一日 福祉体験教室

施設での福祉を体験しようとして紀州地区の小・中学生が紀南ひかり園に集い、七月二十七日に一日福祉体験教室が開催されました。

熊野市からも福祉協力校の指定を受けている四校の児童、生徒が参加しました。

午前中は、園生とのふれあいを深めるため、ひかり園グラウンドでミニ運動会、午後は車椅子、目かくし歩行の体験、施設見学と、中身の濃い体験をしました。

参加した生徒らは、「すばらしい体験をしました。このことを学校や地域で役立てていきたい」と感想を話していました。

## 高齢者住宅整備 資金のご利用を

六十歳以上の高齢者と同居しているか、又は同居しようとする親族で居室等を増築、改築などするために必要な資金を受付けます。

### 【受付期間】

九月一日から十四日まで

### 【貸付限度額】

増改築の場合 二百十万円  
改造の場合 百万円

### 【利息】

年三・五パーセント

### 【償還方法】

元利均等の半年賦

### 【償還回数】

二十回  
申請に必要な書類の作成など

資金の貸付について詳しいことは、市社会福祉協議会(電話九局三〇五三番)へおたずねください。

## 広がる

## 給食サービス

一人暮らしのお年寄りにお弁当を作って届ける給食サービスの実施地区がさらに広がりました。

この五月から大泊、新鹿地区でも始まり、ボランティアの協力によるふれあい弁当が届けられています。

これで現在、実施している地区は十一地区となっています。

なお、二、三地区でも実施にむけての準備が社協支部を中心に着々と進められており、全地区実施の方向へと進んでいます。

## 新職員紹介



ホームヘルパー  
きたやま 北山理恵子  
(41才)

北山さんは、五月一日付で採用された、ホヤホヤのヘルパーさんです。

世話好きで、さっぱりしているのが自分のいいところ。どうぞよろしく願います。